



# 埼玉県報

第 3068 号  
平成 31 年(2019 年)  
1 月 4 日  
金曜日

## 目次

### 規則

- 埼玉県男女共同参画推進センター管理規則の一部を改正する規則（男女共同参画課）

### 告示

- 予算の公表（財政課）
- 決算の公表（財政課）
- 川越都市計画生産緑地地区の変更に係る図書の写しの縦覧（みどり自然課）
- 測量法に基づく公共測量の実施（用地課）
- 測量法に基づく公共測量の実施（用地課）
- 埼玉県教育委員会定例会の招集（教委・総務課）
- 不在者投票を行うことができる施設の指定解除（選挙管理委員会）
- 不在者投票を行うことができる施設の指定（選挙管理委員会）

## 規則

埼玉県男女共同参画推進センター管理規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成三十一年一月四日

埼玉県知事 上田清司

### 埼玉県規則第一号

埼玉県男女共同参画推進センター管理規則の一部を改正する規則

埼玉県男女共同参画推進センター管理規則（平成十四年埼玉県規則第六十号）の一部を次のように改正する。

別表中表の部分を次のように改める。

附属設備の名称	単位	使用料の額（円） （一回につき）	備考
マイクセット	一式	七九〇	
プロジェクターワゴン	同	七二〇	スクリーンを含む。
パーソナルコンピュータ	一台	三〇〇	
グループロッカー	一個	二〇〇	

#### 附則

- この規則は、公布の日から施行する。
- 改正後の別表の規定は、この規則の施行の日（以下この項において「施行日」という。）以後の申請に係る利用で当該利用が平成三十一年四月一日以後のものに係る使用料について適用し、施行日以後の申請に係る利用で当該利用が平成三十一年四月一日前のものに係る使用料及び施行日前の申請に係る利用で当該利用が施行日以後のものに係る使用料については、なお従前の例による。

# 告 示

## 埼玉県告示第一号

埼玉県議会平成三十年十二月定例会において議決された平成三十年度埼玉県一般会計補正予算（第二号）及び平成三十年度埼玉県国民健康保険事業特別会計補正予算（第一号）を地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百十九条第二項の規定により、次のとおり公表する。

平成三十一年一月四日

埼玉県知事 上 田 清 司

平成30年度埼玉県一般会計補正予算（第2号）

平成30年度埼玉県一般会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（繰越明許費の補正）

第1条 繰越明許費の追加は、「第1表繰越明許費補正」による。

（債務負担行為の補正）

第2条 債務負担行為の追加及び変更は、「第2表債務負担行為補正」による。

第1表 繰越明許費補正

追 加

(単位 千円)

款	項	事業名	金額
8 土 木 費	2 道 路 橋 り よ う 費	電線地中化（道路）整備費	90,000
		自転車歩行者道整備費	83,000
		道路安全施設費	150,000
		社会資本整備総合交付金（交通安全）事業費	100,000
		社会資本整備総合交付金（改築）事業費	540,000
		橋りょう修繕費	336,000
		橋りょう架換費	144,000
		社会資本整備総合交付金（橋りょう整備）事業費	79,000
	3 河 川 費	排水機場等維持修繕費	55,000
		河川改修費	670,000
社会資本整備総合交付金（河川）事業費		2,026,000	

		川の国埼玉はっらっプロジェクト推進費	210,000
		砂防施設費	25,000
		急傾斜地崩壊対策費	30,000
	4 都 市 計 画 費	街路整備費	120,000

第2表 債務負担行為補正

追 加

(単位 千円)

事 項	期 間	限 度	額
舗装道整備	平成31年度		1,611,000
道路環境整備	平成31年度		18,000
災害防除	平成31年度		90,000
自転車歩行者道整備	平成31年度		40,000
道路安全施設	平成31年度		123,000
排水機場等維持修繕	平成31年度		8,000
河川維持修繕	平成31年度		132,000

河川改修	平成 3 1 年 度	240,000
川の国埼玉はっらっプロジェクト推進	平成 3 1 年 度	126,000
砂防維持修繕	平成 3 1 年 度	20,000
街路整備	平成 3 1 年 度	250,000



変 更

(単位 千円)

事 項	補 正 前		補 正 後	
	期 間	限 度 額	期 間	限 度 額
道路改築	平成 3 1 年 度	70,000	平成 3 1 年 度	120,000
社会資本整備総合交付金（改築）事業	平成 3 1 年 度 から 平成 3 2 年 度 まで	1,480,000	平成 3 1 年 度 から 平成 3 2 年 度 まで	2,560,000
橋りょう修繕	平成 3 1 年 度	180,000	平成 3 1 年 度	392,000
社会資本整備総合交付金（橋りょう整備）事業	平成 3 1 年 度	340,000	平成 3 1 年 度	535,000
社会資本整備総合交付金（河川）事業	平成 3 1 年 度	1,577,000	平成 3 1 年 度	1,807,000

平成30年度埼玉県国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

平成30年度埼玉県国民健康保険事業特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,750,842千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ630,609,411千円とする。

第2条 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「別表歳入歳出予算補正」による。

別表 歳入歳出予算補正

歳 入

（単位 千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
2 国庫支出金		171,342,047	26,466	171,368,513
	1 国庫負担金	131,445,641	26,466	131,472,107
7 繰入金		43,574,268	3,724,376	47,298,644
	2 基金繰入金	1,314,934	3,724,376	5,039,310
歳入合計		626,858,569	3,750,842	630,609,411

歳 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2 保険給付費等交付金		492,697,965	3,700,000	496,397,965
	1 保険給付費等交付金	492,697,965	3,700,000	496,397,965
7 共同事業拠出金		726,625	50,842	777,467
	1 共同事業拠出金	726,625	50,842	777,467
歳 出 合 計		626,858,569	3,750,842	630,609,411

# 告 示

## 埼玉県告示第二号

埼玉県議会平成三十年十二月定例会において認定の議決を経た平成二十九年  
度埼玉県の一般会計及び特別会計決算並びに平成二十九年  
度埼玉県公営企業会計決算並びにこれらに係る埼玉県監査委員の審査意見を  
地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百三十三  
条第六項及び地方公営企業法（昭和二十七年法律第二百九十二号）第三十  
条第七項の規定により、次のとおり公表する。

平成三十一年一月四日

埼玉県知事 上 田 清 司

# 平成29年度埼玉県一般会計歳入歳出決算書

総括(歳入)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
① 県 税	円 780,600,000,000	円 802,158,351,308	円 784,504,123,665	円 2,793,856,036	円 14,860,371,607	円 3,904,123,665
② 地方消費税清算金	219,245,000,000	219,245,985,429	219,245,985,429	0	0	985,429
③ 地方譲与税	97,838,000,000	97,944,795,000	97,944,795,000	0	0	106,795,000
④ 地方特例交付金	3,633,550,000	3,633,550,000	3,633,550,000	0	0	0
⑤ 地方交付税	204,750,088,000	204,551,448,000	204,551,448,000	0	0	△198,640,000
⑥ 交通安全対策特別交付金	1,751,000,000	1,764,197,000	1,764,197,000	0	0	13,197,000
⑦ 分担金及び負担金	2,833,284,486	2,946,835,596	2,773,831,817	3,706,896	169,296,883	△59,452,669
⑧ 使用料及び手数料	28,679,991,000	28,131,491,285	28,121,218,092	2,105,710	8,167,483	△558,772,908
⑨ 国庫支出金	175,755,689,508	161,383,344,409	161,383,344,409	0	0	△14,372,345,099
⑩ 財産収入	8,537,526,000	8,264,560,948	8,261,341,059	0	3,219,889	△276,184,941
⑪ 寄附金	125,858,000	113,453,882	113,453,882	0	0	△12,404,118
⑫ 繰入金	31,767,467,000	24,979,045,277	24,979,045,277	0	0	△6,788,421,723
⑬ 繰越金	8,509,644,221	8,509,644,536	8,509,644,536	0	0	315
⑭ 諸収入	42,036,794,046	41,227,993,298	39,642,292,664	68,727,955	1,516,972,679	△2,394,501,382
⑮ 県債	292,328,000,000	252,315,000,000	252,315,000,000	0	0	△40,013,000,000
歳入合計	1,898,391,892,261	1,857,169,695,968	1,837,743,270,830	2,868,396,597	16,558,028,541	△60,648,621,431

(歳出)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
① 議会費	円 3,085,479,000	円 3,021,471,407	円 0	円 64,007,593	円 64,007,593
② 総務費	81,241,527,660	76,857,627,070	236,270,614	4,147,629,976	4,383,900,590
③ 民生費	346,880,748,418	341,216,961,263	943,369,000	4,720,418,155	5,663,787,155
④ 衛生費	61,468,176,870	58,460,247,720	7,983,000	2,999,946,150	3,007,929,150
⑤ 労働費	5,432,758,000	4,954,785,226	0	477,972,774	477,972,774
⑥ 農林水産業費	24,017,003,865	20,825,554,742	2,557,598,690	633,850,433	3,191,449,123
⑦ 商工費	14,675,436,000	13,676,039,809	415,199,000	584,197,191	999,396,191
⑧ 土木費	155,766,930,801	113,609,785,020	40,720,467,260	1,436,678,521	42,157,145,781
⑨ 警察費	149,022,755,431	147,598,258,236	401,406,729	1,023,090,466	1,424,497,195
⑩ 教育費	482,713,616,000	476,724,638,984	2,062,927,722	3,926,049,294	5,988,977,016
⑪ 災害復旧費	657,127,492	258,737,524	242,824,098	155,565,870	398,389,968
⑫ 公債費	276,721,424,000	276,719,430,492	0	1,993,508	1,993,508
⑬ 諸支出金	296,295,184,000	295,570,248,191	0	724,935,809	724,935,809
⑭ 予備費	413,724,724	0	0	413,724,724	413,724,724
歳出合計	1,898,391,892,261	1,829,493,785,684	47,588,046,113	21,310,060,464	68,898,106,577

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 県 税		円 780,600,000,000	円 802,158,351,308	円 784,504,123,665	円 2,793,856,036	円 14,860,371,607	円 3,904,123,665
	1 県 民 税	346,806,000,000	362,757,078,612	347,109,433,234	2,446,908,509	13,200,736,869	303,433,234
	2 事 業 税	147,710,000,000	149,961,021,260	149,443,744,768	140,493,205	376,783,287	1,733,744,768
	3 地 方 消 費 税	112,038,000,000	114,185,439,172	114,185,439,172	0	0	2,147,439,172
	4 不 動 産 取 得 税	18,988,000,000	19,109,334,539	18,697,590,482	37,256,078	374,487,979	△290,409,518
	5 県 た ば こ 税	7,767,000,000	7,438,966,214	7,438,966,214	0	0	△328,033,786
	6 ゴ ル フ 場 利 用 税	2,201,000,000	2,180,640,232	2,180,640,232	0	0	△20,359,768
	7 自 動 車 取 得 税	10,179,000,000	10,291,711,700	10,291,711,700	0	0	112,711,700
	8 軽 油 引 取 税	49,545,835,000	50,150,964,814	49,921,038,930	0	229,925,884	375,203,930
	9 自 動 車 税	85,339,000,000	86,056,614,565	85,208,978,733	169,198,244	678,437,588	△130,021,267
	10 鉦 区 税	4,927,000	4,914,800	4,914,800	0	0	△12,200
	11 狩 猟 税	21,238,000	21,665,400	21,665,400	0	0	427,400
② 地方消費税清算金		219,245,000,000	219,245,985,429	219,245,985,429	0	0	985,429
	1 地方消費税清算金	219,245,000,000	219,245,985,429	219,245,985,429	0	0	985,429

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
		円	円	円	円	円	円
③ 地方譲与税		97,838,000,000	97,944,795,000	97,944,795,000	0	0	106,795,000
	1 地方法人特別譲与税	93,931,000,000	93,971,788,000	93,971,788,000	0	0	40,788,000
	2 地方揮発油譲与税	3,699,000,000	3,782,924,000	3,782,924,000	0	0	83,924,000
	3 石油ガス譲与税	207,000,000	190,083,000	190,083,000	0	0	△16,917,000
	4 地方道路譲与税	1,000,000	0	0	0	0	△1,000,000
④ 地方特例交付金		3,633,550,000	3,633,550,000	3,633,550,000	0	0	0
	1 地方特例交付金	3,633,550,000	3,633,550,000	3,633,550,000	0	0	0
⑤ 地方交付税		204,750,088,000	204,551,448,000	204,551,448,000	0	0	△198,640,000
	1 地方交付税	204,750,088,000	204,551,448,000	204,551,448,000	0	0	△198,640,000
⑥ 交通安全対策特別交付金		1,751,000,000	1,764,197,000	1,764,197,000	0	0	13,197,000
	1 交通安全対策特別交付金	1,751,000,000	1,764,197,000	1,764,197,000	0	0	13,197,000
⑦ 分担金及び負担金		2,833,284,486	2,946,835,596	2,773,831,817	3,706,896	169,296,883	△59,452,669
	1 分 担 金	221,764,000	137,084,640	137,084,640	0	0	△84,679,360
	2 負 担 金	2,611,520,486	2,809,750,956	2,636,747,177	3,706,896	169,296,883	25,226,691
⑧ 使用料及び手数料		28,679,991,000	28,131,491,285	28,121,218,092	2,105,710	8,167,483	△558,772,908



	1 使 用 料	17,926,014,000	17,863,451,600	17,853,275,567	2,096,770	8,079,263	△72,738,433
	2 手 数 料	10,753,977,000	10,268,039,685	10,267,942,525	8,940	88,220	△486,034,475
⑨ 国 庫 支 出 金		175,755,689,508	161,383,344,409	161,383,344,409	0	0	△14,372,345,099
	1 国 庫 負 担 金	118,876,017,000	117,323,285,562	117,323,285,562	0	0	△1,552,731,438
	2 国 庫 補 助 金	51,460,013,508	39,156,838,896	39,156,838,896	0	0	△12,303,174,612
	3 委 託 金	5,419,659,000	4,903,219,951	4,903,219,951	0	0	△516,439,049
⑩ 財 産 収 入		8,537,526,000	8,264,560,948	8,261,341,059	0	3,219,889	△276,184,941
	1 財 産 運 用 収 入	6,627,768,000	6,569,892,452	6,566,876,899	0	3,015,553	△60,891,101
	2 財 産 売 払 収 入	1,909,758,000	1,694,668,496	1,694,464,160	0	204,336	△215,293,840
⑪ 寄 附 金		125,858,000	113,453,882	113,453,882	0	0	△12,404,118
	1 寄 附 金	125,858,000	113,453,882	113,453,882	0	0	△12,404,118
⑫ 繰 入 金		31,767,467,000	24,979,045,277	24,979,045,277	0	0	△6,788,421,723
	1 特 別 会 計 繰 入 金	2,787,740,000	2,787,740,189	2,787,740,189	0	0	189
	2 基 金 繰 入 金	28,979,727,000	22,191,305,088	22,191,305,088	0	0	△6,788,421,912
⑬ 繰 越 金		8,509,644,221	8,509,644,536	8,509,644,536	0	0	315
	1 繰 越 金	8,509,644,221	8,509,644,536	8,509,644,536	0	0	315

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
⑭ 諸 収 入		円 42,036,794,046	円 41,227,993,298	円 39,642,292,664	円 68,727,955	円 1,516,972,679	円 △2,394,501,382
	1 延滞金、加算金及び過料等	2,109,182,000	2,892,053,213	2,557,099,419	44,952,268	290,001,526	447,917,419
	2 預 金 利 子	9,300,000	9,625,256	9,625,256	0	0	325,256
	3 貸付金元利収入	7,140,327,000	7,117,051,438	7,078,397,658	0	38,653,780	△61,929,342
	4 受託事業収入	3,894,906,046	2,836,986,777	2,836,986,777	0	0	△1,057,919,269
	5 収益事業収入	17,590,920,000	13,259,703,490	13,259,703,490	0	0	△4,331,216,510
	6 利子割精算金収入	1,000,000	24,528	24,528	0	0	△975,472
	7 雑 入	11,291,159,000	15,112,548,596	13,900,455,536	23,775,687	1,188,317,373	2,609,296,536
⑮ 県 債		292,328,000,000	252,315,000,000	252,315,000,000	0	0	△40,013,000,000
	1 県 債	292,328,000,000	252,315,000,000	252,315,000,000	0	0	△40,013,000,000
歳 入 合 計		1,898,391,892,261	1,857,169,695,968	1,837,743,270,830	2,868,396,597	16,558,028,541	△60,648,621,431

## 歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 議 会 費		円 3,085,479,000	円 3,021,471,407	円 0	円 64,007,593	円 64,007,593
	1 議 会 費	3,085,479,000	3,021,471,407	0	64,007,593	64,007,593
② 総 務 費		81,241,527,660	76,857,627,070	236,270,614	4,147,629,976	4,383,900,590
	1 総 務 管 理 費	21,384,518,204	19,590,480,345	0	1,794,037,859	1,794,037,859
	2 企 画 費	3,962,884,088	3,582,115,369	29,685,000	351,083,719	380,768,719
	3 県 民 費	8,857,974,165	8,463,856,050	206,585,614	187,532,501	394,118,115
	4 環 境 費	9,444,383,240	8,636,879,912	0	807,503,328	807,503,328
	5 徴 税 費	25,069,961,335	24,598,809,201	0	471,152,134	471,152,134
	6 市 町 村 振 興 費	4,545,004,279	4,532,489,559	0	12,514,720	12,514,720
	7 選 挙 費	2,936,128,324	2,714,364,232	0	221,764,092	221,764,092
	8 防 災 費	3,706,061,025	3,460,214,748	0	245,846,277	245,846,277
	9 統 計 調 査 費	733,880,000	688,713,207	0	45,166,793	45,166,793
	10 人 事 委 員 会 費	295,821,000	288,192,400	0	7,628,600	7,628,600
11 監 査 委 員 費	304,912,000	301,512,047	0	3,399,953	3,399,953	
③ 民 生 費		346,880,748,418	341,216,961,263	943,369,000	4,720,418,155	5,663,787,155

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
		円	円	円	円	円
	1 社会福祉費	261,125,075,418	258,481,563,770	931,543,000	1,711,968,648	2,643,511,648
	2 児童福祉費	73,816,514,000	71,013,574,313	11,826,000	2,791,113,687	2,802,939,687
	3 生活保護費	11,728,540,000	11,518,095,486	0	210,444,514	210,444,514
	4 災害救助費	210,619,000	203,727,694	0	6,891,306	6,891,306
④	衛生費	61,468,176,870	58,460,247,720	7,983,000	2,999,946,150	3,007,929,150
	1 公衆衛生費	27,921,288,000	25,584,298,050	7,983,000	2,329,006,950	2,336,989,950
	2 環境衛生費	2,871,698,000	2,797,981,505	0	73,716,495	73,716,495
	3 保健所費	3,735,039,000	3,723,385,290	0	11,653,710	11,653,710
	4 医薬費	15,624,567,870	15,200,632,875	0	423,934,995	423,934,995
	5 公営企業支出金	11,315,584,000	11,153,950,000	0	161,634,000	161,634,000
⑤	労働費	5,432,758,000	4,954,785,226	0	477,972,774	477,972,774
	1 労政費	2,004,952,000	1,895,076,340	0	109,875,660	109,875,660
	2 職業訓練費	3,268,378,000	2,904,169,769	0	364,208,231	364,208,231
	3 労働委員会費	159,428,000	155,539,117	0	3,888,883	3,888,883
⑥	農林水産業費	24,017,003,865	20,825,554,742	2,557,598,690	633,850,433	3,191,449,123
	1 農業費	7,740,119,998	7,007,570,542	372,793,600	359,755,856	732,549,456

	2 蚕糸特産及び水産業費	766,138,000	758,185,638	0	7,952,362	7,952,362
	3 畜産業費	1,269,374,000	1,212,467,849	0	56,906,151	56,906,151
	4 林業費	4,362,268,267	3,759,597,470	514,878,490	87,792,307	602,670,797
	5 農地費	9,879,103,600	8,087,733,243	1,669,926,600	121,443,757	1,791,370,357
⑦ 商工費		14,675,436,000	13,676,039,809	415,199,000	584,197,191	999,396,191
	1 商工業費	14,477,173,000	13,485,925,924	415,199,000	576,048,076	991,247,076
	2 観光費	198,263,000	190,113,885	0	8,149,115	8,149,115
⑧ 土木費		155,766,930,801	113,609,785,020	40,720,467,260	1,436,678,521	42,157,145,781
	1 土木管理費	10,705,107,000	10,436,469,077	0	268,637,923	268,637,923
	2 道路橋りょう費	65,364,272,337	48,535,567,125	16,481,431,904	347,273,308	16,828,705,212
	3 河川費	40,041,528,213	26,680,369,374	13,251,748,491	109,410,348	13,361,158,839
	4 都市計画費	38,365,562,251	26,713,501,507	10,987,286,865	664,773,879	11,652,060,744
	5 住宅費	1,290,461,000	1,243,877,937	0	46,583,063	46,583,063
⑨ 警察費		149,022,755,431	147,598,258,236	401,406,729	1,023,090,466	1,424,497,195
	1 警察管理費	137,892,713,971	136,694,832,377	401,406,729	796,474,865	1,197,881,594
	2 警察活動費	11,130,041,460	10,903,425,859	0	226,615,601	226,615,601
⑩ 教育費		482,713,616,000	476,724,638,984	2,062,927,722	3,926,049,294	5,988,977,016

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
		円	円	円	円	円
	1 教育総務費	59,621,774,000	56,755,806,663	1,647,482,383	1,218,484,954	2,865,967,337
	2 小学校費	138,116,407,000	137,979,094,804	0	137,312,196	137,312,196
	3 中学校費	84,202,125,000	84,097,166,424	0	104,958,576	104,958,576
	4 高等学校費	102,842,386,000	102,189,441,463	394,161,839	258,782,698	652,944,537
	5 特別支援学校費	39,356,060,000	39,218,885,242	0	137,174,758	137,174,758
	6 大学費	2,234,511,000	2,228,897,597	0	5,613,403	5,613,403
	7 私立学校費	51,045,468,000	49,053,847,029	0	1,991,620,971	1,991,620,971
	8 社会教育費	4,277,385,000	4,206,358,655	21,283,500	49,742,845	71,026,345
	9 保健体育費	1,017,500,000	995,141,107	0	22,358,893	22,358,893
⑩	災害復旧費	657,127,492	258,737,524	242,824,098	155,565,870	398,389,968
	1 民生施設災害復旧費	2,916,000	2,782,000	0	134,000	134,000
	2 農林水産施設災害復旧費	60,872,000	33,687,090	0	27,184,910	27,184,910
	3 土木施設災害復旧費	593,339,492	222,268,434	242,824,098	128,246,960	371,071,058
⑪	公債費	276,721,424,000	276,719,430,492	0	1,993,508	1,993,508
	1 公債費	276,721,424,000	276,719,430,492	0	1,993,508	1,993,508
⑫	諸支出金	296,295,184,000	295,570,248,191	0	724,935,809	724,935,809

	1 公営企業支出金	16,603,170,000	16,489,038,575	0	114,131,425	114,131,425
	2 地方消費税清算金	108,226,000,000	108,225,394,429	0	605,571	605,571
	3 所得割交付金	30,395,000,000	30,356,086,000	0	38,914,000	38,914,000
	4 利子割交付金	1,700,000,000	1,570,514,000	0	129,486,000	129,486,000
	5 配当割交付金	5,460,000,000	5,398,039,000	0	61,961,000	61,961,000
	6 株式等譲渡所得割交付金	5,958,000,000	5,900,083,000	0	57,917,000	57,917,000
	7 地方消費税交付金	112,348,000,000	112,347,201,000	0	799,000	799,000
	8 ゴルフ場利用税交付金	1,619,000,000	1,539,034,411	0	79,965,589	79,965,589
	9 自動車取得税交付金	7,431,014,000	7,303,400,660	0	127,613,340	127,613,340
	10 軽油引取税交付金	6,554,000,000	6,441,422,616	0	112,577,384	112,577,384
	11 利子割精算金	1,000,000	34,500	0	965,500	965,500
⑭ 予備費		413,724,724	0	0	413,724,724	413,724,724
	1 予備費	413,724,724	0	0	413,724,724	413,724,724
歳出合計		1,898,391,892,261	1,829,493,785,684	47,588,046,113	21,310,060,464	68,898,106,577

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

8,249,485,146円  
8,249,485,146円

## 平成29年度埼玉県特別会計歳入歳出決算書

総括(歳入)

会 計 名	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入済額との比較
	円	円	円	円	円	円
埼玉県公債費特別会計	540,651,810,000	540,651,802,499	540,651,802,499	0	0	△7,501
埼玉県証紙特別会計	17,812,199,000	18,257,780,502	18,257,780,502	0	0	445,581,502
埼玉縣市町村振興事業特別会計	12,882,731,000	12,714,710,609	12,714,710,609	0	0	△168,020,391
埼玉県災害救助事業特別会計	418,971,000	14,476,886	14,476,886	0	0	△404,494,114
埼玉県母子父子寡婦福祉資金特別会計	900,924,000	1,497,632,218	1,161,145,452	3,482,280	333,004,486	260,221,452
埼玉県中小企業高度化資金特別会計	447,567,000	442,419,417	442,419,417	0	0	△5,147,583
埼玉県就農支援資金貸付事業特別会計	22,914,000	160,202,291	146,710,500	0	13,491,791	123,796,500
埼玉県林業・木材産業改善資金特別会計	20,680,000	91,390,042	87,050,661	0	4,339,381	66,370,661
本多静六博士育英事業特別会計	49,541,000	49,932,682	49,183,203	0	749,479	△357,797
埼玉県用地事業特別会計	1,381,358,000	1,379,440,606	1,379,440,606	0	0	△1,917,394
埼玉県県営住宅事業特別会計	13,720,897,990	11,475,163,296	11,403,245,183	3,499,859	68,418,254	△2,317,652,807
埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計	543,354,000	579,309,428	526,766,943	0	52,542,485	△16,587,057
埼玉県公営競技事業特別会計	29,299,338,000	29,077,036,852	29,077,036,852	0	0	△222,301,148
歳 入 合 計	618,152,284,990	616,391,297,328	615,911,769,313	6,982,139	472,545,876	△2,240,515,677



(歳出)

会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
埼玉県公債費特別会計	円 540,651,810,000	円 540,651,802,499	円 0	円 7,501	円 7,501
埼玉県証紙特別会計	17,812,199,000	17,014,028,360	0	798,170,640	798,170,640
埼玉県市町村振興事業特別会計	12,882,731,000	12,714,710,609	0	168,020,391	168,020,391
埼玉県災害救助事業特別会計	418,971,000	14,476,886	0	404,494,114	404,494,114
埼玉県母子父子寡婦福祉資金特別会計	900,924,000	645,937,065	0	254,986,935	254,986,935
埼玉県中小企業高度化資金特別会計	447,567,000	340,419,417	0	107,147,583	107,147,583
埼玉県就農支援資金貸付事業特別会計	22,914,000	22,175,546	0	738,454	738,454
埼玉県林業・木材産業改善資金特別会計	20,680,000	20,052,095	0	627,905	627,905
本多静六博士育英事業特別会計	49,541,000	40,315,115	0	9,225,885	9,225,885
埼玉県用地事業特別会計	1,381,358,000	1,308,865,693	70,058,000	2,434,307	72,492,307
埼玉県県営住宅事業特別会計	13,720,897,990	10,974,146,221	2,452,866,764	293,885,005	2,746,751,769
埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計	543,354,000	519,555,825	0	23,798,175	23,798,175
埼玉県公営競技事業特別会計	29,299,338,000	25,875,505,536	0	3,423,832,464	3,423,832,464
歳 出 合 計	618,152,284,990	610,141,990,867	2,522,924,764	5,487,369,359	8,010,294,123

## 平成29年度埼玉県公債費特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 繰 入 金		円 321,510,810,000	円 321,510,802,499	円 321,510,802,499	円 0	円 0	円 △7,501
	1 一般会計繰入金	198,254,522,000	198,254,518,734	198,254,518,734	0	0	△3,266
	2 特別会計繰入金	1,658,288,000	1,658,283,765	1,658,283,765	0	0	△4,235
	3 基金繰入金	121,598,000,000	121,598,000,000	121,598,000,000	0	0	0
② 県 債		219,141,000,000	219,141,000,000	219,141,000,000	0	0	0
	1 県 債	219,141,000,000	219,141,000,000	219,141,000,000	0	0	0
歳 入 合 計		540,651,810,000	540,651,802,499	540,651,802,499	0	0	△7,501

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 公 債 費		円 540,651,810,000	円 540,651,802,499	円 0	円 7,501	円 7,501
	1 公 債 費	540,651,810,000	540,651,802,499	0	7,501	7,501
歳 出 合 計		540,651,810,000	540,651,802,499	0	7,501	7,501

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

0円  
0円

## 平成29年度埼玉県証紙特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 証 紙 収 入		円 17,812,198,000	円 17,098,065,905	円 17,098,065,905	円 0	円 0	円 △714,132,095
	1 証 紙 収 入	17,812,198,000	17,098,065,905	17,098,065,905	0	0	△714,132,095
② 繰 越 金		1,000	1,159,714,597	1,159,714,597	0	0	1,159,713,597
	1 繰 越 金	1,000	1,159,714,597	1,159,714,597	0	0	1,159,713,597
歳 入 合 計		17,812,199,000	18,257,780,502	18,257,780,502	0	0	445,581,502

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 繰 出 金		円 17,804,199,000	円 17,009,233,735	円 0	円 794,965,265	円 794,965,265
	1 一般会計繰出金	17,804,199,000	17,009,233,735	0	794,965,265	794,965,265
② 返 還 金		8,000,000	4,794,625	0	3,205,375	3,205,375
	1 返 還 金	8,000,000	4,794,625	0	3,205,375	3,205,375
歳 出 合 計		17,812,199,000	17,014,028,360	0	798,170,640	798,170,640

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

1, 243, 752, 142円  
1, 243, 752, 142円

## 平成29年度埼玉県市町村振興事業特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 財 産 収 入		円 32,479,000	円 31,852,104	円 31,852,104	円 0	円 0	円 △626,896
	1 財 産 運 用 収 入	32,479,000	31,852,104	31,852,104	0	0	△626,896
② 繰 入 金		6,657,602,000	6,490,210,000	6,490,210,000	0	0	△167,392,000
	1 基 金 繰 入 金	6,657,602,000	6,490,210,000	6,490,210,000	0	0	△167,392,000
③ 繰 越 金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 繰 越 金	1,000	0	0	0	0	△1,000
④ 諸 収 入		6,192,649,000	6,192,648,505	6,192,648,505	0	0	△495
	1 貸 付 金 元 利 収 入	6,192,649,000	6,192,648,505	6,192,648,505	0	0	△495
歳 入 合 計		12,882,731,000	12,714,710,609	12,714,710,609	0	0	△168,020,391

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 市町村振興事業費		円 12,882,731,000	円 12,714,710,609	円 0	円 168,020,391	円 168,020,391
	1 市町村振興事業費	12,882,731,000	12,714,710,609	0	168,020,391	168,020,391
歳 出 合 計		12,882,731,000	12,714,710,609	0	168,020,391	168,020,391

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

0円  
0円

# 平成29年度埼玉県災害救助事業特別会計歳入歳出決算書

## 歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 国庫支出金		円 202,103,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 △202,103,000
	1 国庫負担金	202,103,000	0	0	0	0	△202,103,000
② 財産収入		14,762,000	14,476,886	14,476,886	0	0	△285,114
	1 財産運用収入	14,762,000	14,476,886	14,476,886	0	0	△285,114
③ 繰入金		202,104,000	0	0	0	0	△202,104,000
	1 基金繰入金	202,104,000	0	0	0	0	△202,104,000
④ 繰越金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 繰越金	1,000	0	0	0	0	△1,000
⑤ 諸収入		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 雑入	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳 入 合 計		418,971,000	14,476,886	14,476,886	0	0	△404,494,114



歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 災害救助事業費		円 418,971,000	円 14,476,886	円 0	円 404,494,114	円 404,494,114
	1 救 助 費	404,208,000	0	0	404,208,000	404,208,000
	2 基 金 積 立 金	14,763,000	14,476,886	0	286,114	286,114
歳 出 合 計		418,971,000	14,476,886	0	404,494,114	404,494,114

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

0円  
0円

# 平成29年度埼玉県母子父子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 繰 入 金		円 25,913,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 △25,913,000
	1 繰 入 金	25,913,000	0	0	0	0	△25,913,000
② 繰 越 金		416,837,000	625,836,521	625,836,521	0	0	208,999,521
	1 繰 越 金	416,837,000	625,836,521	625,836,521	0	0	208,999,521
③ 諸 収 入		458,174,000	870,275,697	533,788,931	3,482,280	333,004,486	75,614,931
	1 貸付金元利収入	454,779,000	806,219,430	529,319,826	2,959,169	273,940,435	74,540,826
	2 預 金 利 子	9,000	28,853	28,853	0	0	19,853
	3 雑 入	3,386,000	64,027,414	4,440,252	523,111	59,064,051	1,054,252
④ 国 庫 支 出 金		0	1,520,000	1,520,000	0	0	1,520,000
	1 国 庫 補 助 金	0	1,520,000	1,520,000	0	0	1,520,000
歳 入 合 計		900,924,000	1,497,632,218	1,161,145,452	3,482,280	333,004,486	260,221,452

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 母子父子寡婦福祉資金貸付費		円 900,924,000	円 645,937,065	円 0	円 254,986,935	円 254,986,935
	1 母子父子寡婦福祉資金貸付費	900,924,000	645,937,065	0	254,986,935	254,986,935
歳 出 合 計		<b>900,924,000</b>	<b>645,937,065</b>	<b>0</b>	<b>254,986,935</b>	<b>254,986,935</b>

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

515,208,387円  
515,208,387円

## 平成29年度埼玉県中小企業高度化資金特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 繰 入 金		円 6,762,000	円 1,615,391	円 1,615,391	円 0	円 0	円 △5,146,609
	1 繰 入 金	6,762,000	1,615,391	1,615,391	0	0	△5,146,609
② 繰 越 金		102,000,000	102,000,000	102,000,000	0	0	0
	1 繰 越 金	102,000,000	102,000,000	102,000,000	0	0	0
③ 諸 収 入		338,805,000	338,804,026	338,804,026	0	0	△974
	1 預 金 利 子	10,000	10,506	10,506	0	0	506
	2 貸 付 金 元 利 収 入	338,792,000	338,792,000	338,792,000	0	0	0
	3 雑 入	3,000	1,520	1,520	0	0	△1,480
歳 入 合 計		447,567,000	442,419,417	442,419,417	0	0	△5,147,583

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 中小企業高度化資金		円 445,567,000	円 340,419,417	円 0	円 105,147,583	円 105,147,583
	1 資金貸付費	445,567,000	340,419,417	0	105,147,583	105,147,583
② 予 備 費		2,000,000	0	0	2,000,000	2,000,000
	1 予 備 費	2,000,000	0	0	2,000,000	2,000,000
歳 出 合 計		447,567,000	340,419,417	0	107,147,583	107,147,583

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

102,000,000円  
102,000,000円

# 平成29年度埼玉県就農支援資金貸付事業特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 就農支援資金貸付勘定収入		円 13,391,000	円 130,776,658	円 130,776,658	円 0	円 0	円 117,385,658
	1 繰 入 金	0	0	0	0	0	0
	2 繰 越 金	0	95,833,658	95,833,658	0	0	95,833,658
	3 諸 収 入	13,391,000	34,943,000	34,943,000	0	0	21,552,000
② 就農支援資金業務勘定収入		289,000	293,649	293,649	0	0	4,649
	1 繰 入 金	115,000	115,000	115,000	0	0	0
	2 繰 越 金	172,000	172,217	172,217	0	0	217
	3 諸 収 入	2,000	6,432	6,432	0	0	4,432
③ 農業改良資金貸付勘定収入		7,925,000	25,901,089	12,953,089	0	12,948,000	5,028,089
	1 繰 越 金	7,925,000	7,925,089	7,925,089	0	0	89
	2 諸 収 入	0	17,976,000	5,028,000	0	12,948,000	5,028,000
④ 農業改良資金業務勘定収入		1,309,000	3,230,895	2,687,104	0	543,791	1,378,104
	1 繰 入 金	0	0	0	0	0	0
	2 繰 越 金	1,305,000	1,833,744	1,833,744	0	0	528,744
	3 諸 収 入	4,000	1,397,151	853,360	0	543,791	849,360
歳 入	合 計	22,914,000	160,202,291	146,710,500	0	13,491,791	123,796,500

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 就農支援資金貸付勘定		円 13,391,000	円 13,391,000	円 0	円 0	円 0
	1 就農支援資金貸付費	13,391,000	13,391,000	0	0	0
② 就農支援資金業務勘定		289,000	127,893	0	161,107	161,107
	1 管理指導事務費	279,000	127,893	0	151,107	151,107
	2 予 備 費	10,000	0	0	10,000	10,000
③ 農業改良資金貸付勘定		7,925,000	7,924,000	0	1,000	1,000
	1 農業改良資金貸付費	7,925,000	7,924,000	0	1,000	1,000
④ 農業改良資金業務勘定		1,309,000	732,653	0	576,347	576,347
	1 管理指導事務費	1,109,000	732,653	0	376,347	376,347
	2 予 備 費	200,000	0	0	200,000	200,000
歳 出 合 計		22,914,000	22,175,546	0	738,454	738,454

歳入歳出差引残額

124,534,954円

翌年度へ繰越額

124,534,954円

# 平成29年度埼玉県林業・木材産業改善資金特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 貸付勘定収入		円 20,000,000	円 87,762,000	円 85,495,000	円 0	円 2,267,000	円 65,495,000
	1 繰 入 金	50,000	0	0	0	0	△50,000
	2 繰 越 金	8,505,000	77,817,000	77,817,000	0	0	69,312,000
	3 諸 収 入	11,445,000	9,945,000	7,678,000	0	2,267,000	△3,767,000
② 業務勘定収入		680,000	3,628,042	1,555,661	0	2,072,381	875,661
	1 繰 越 金	590,000	1,550,845	1,550,845	0	0	960,845
	2 諸 収 入	90,000	2,077,197	4,816	0	2,072,381	△85,184
歳 入 合 計	20,680,000	91,390,042	87,050,661	0	4,339,381	66,370,661	



歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 貸 付 勘 定		円 20,000,000	円 20,000,000	円 0	円 0	円 0
	1 林業・木材産業改善資金貸付費	20,000,000	20,000,000	0	0	0
② 業 務 勘 定		680,000	52,095	0	627,905	627,905
	1 管理指導事務費	660,000	52,095	0	607,905	607,905
	2 予 備 費	20,000	0	0	20,000	20,000
歳 出 合 計		20,680,000	20,052,095	0	627,905	627,905

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

66,998,566円  
66,998,566円

## 平成29年度本多静六博士育英事業特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 財 産 収 入		円 671,000	円 710,681	円 710,681	円 0	円 0	円 39,681
	1 財 産 運 用 収 入	671,000	710,681	710,681	0	0	39,681
② 繰 入 金		13,253,000	0	0	0	0	△13,253,000
	1 繰 入 金	13,253,000	0	0	0	0	△13,253,000
③ 繰 越 金		1,000	2,265,950	2,265,950	0	0	2,264,950
	1 繰 越 金	1,000	2,265,950	2,265,950	0	0	2,264,950
④ 諸 収 入		35,616,000	46,956,051	46,206,572	0	749,479	10,590,572
	1 貸 付 金 元 利 収 入	35,615,000	46,955,572	46,206,093	0	749,479	10,591,093
	2 雑 入	1,000	479	479	0	0	△521
歳 入 合 計		49,541,000	49,932,682	49,183,203	0	749,479	△357,797

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 本多静六博士育英事業費		円 48,541,000	円 40,315,115	円 0	円 8,225,885	円 8,225,885
	1 本多静六博士育英事業費	48,541,000	40,315,115	0	8,225,885	8,225,885
② 予 備 費		1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
	1 予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
歳 出 合 計		49,541,000	40,315,115	0	9,225,885	9,225,885

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

8,868,088円  
8,868,088円

## 平成29年度埼玉県用地事業特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 財 産 収 入		円 535,863,000	円 534,547,990	円 534,547,990	円 0	円 0	円 △1,315,010
	1 財 産 運 用 収 入	68,171,000	66,856,255	66,856,255	0	0	△1,314,745
	2 財 産 売 払 収 入	467,692,000	467,691,735	467,691,735	0	0	△265
② 繰 入 金		732,570,000	731,615,811	731,615,811	0	0	△954,189
	1 繰 入 金	732,570,000	731,615,811	731,615,811	0	0	△954,189
③ 繰 越 金		112,924,000	112,924,701	112,924,701	0	0	701
	1 繰 越 金	112,924,000	112,924,701	112,924,701	0	0	701
④ 使用料及び手数料		1,000	352,104	352,104	0	0	351,104
	1 使 用 料	1,000	352,104	352,104	0	0	351,104
歳 入 合 計		1,381,358,000	1,379,440,606	1,379,440,606	0	0	△1,917,394

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 用 地 事 業 費		円 1,381,358,000	円 1,308,865,693	円 70,058,000	円 2,434,307	円 72,492,307
	1 用 地 事 業 費	1,381,358,000	1,308,865,693	70,058,000	2,434,307	72,492,307
歳 出 合 計		1,381,358,000	1,308,865,693	70,058,000	2,434,307	72,492,307

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

70,574,913円  
70,574,913円

# 平成29年度埼玉県県営住宅事業特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
		円	円	円	円	円	円
① 使 用 料		8,100,246,000	8,251,668,259	8,186,887,490	3,499,859	61,280,910	86,641,490
	1 住 宅 使 用 料	8,100,246,000	8,251,668,259	8,186,887,490	3,499,859	61,280,910	86,641,490
② 国 庫 支 出 金		2,060,117,000	934,728,000	934,728,000	0	0	△1,125,389,000
	1 国 庫 補 助 金	2,060,117,000	934,728,000	934,728,000	0	0	△1,125,389,000
③ 財 産 収 入		41,652,000	41,297,785	41,297,785	0	0	△354,215
	1 財 産 運 用 収 入	41,652,000	41,297,785	41,297,785	0	0	△354,215
④ 繰 入 金		891,802,000	886,136,192	886,136,192	0	0	△5,665,808
	1 繰 入 金	891,802,000	886,136,192	886,136,192	0	0	△5,665,808
⑤ 繰 越 金		332,130,990	332,131,131	332,131,131	0	0	141
	1 繰 越 金	332,130,990	332,131,131	332,131,131	0	0	141
⑥ 諸 収 入		25,950,000	54,201,929	47,064,585	0	7,137,344	21,114,585
	1 敷 金 運 用 収 入	33,000	33,000	33,000	0	0	0
	2 雑 入	25,917,000	54,168,929	47,031,585	0	7,137,344	21,114,585
⑦ 県 債		2,269,000,000	975,000,000	975,000,000	0	0	△1,294,000,000
	1 県 債	2,269,000,000	975,000,000	975,000,000	0	0	△1,294,000,000
歳 入 合 計		13,720,897,990	11,475,163,296	11,403,245,183	3,499,859	68,418,254	△2,317,652,807

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 住 宅 事 業 費		円 10,035,330,990	円 7,298,583,658	円 2,452,866,764	円 283,880,568	円 2,736,747,332
	1 住 宅 管 理 費	5,685,350,000	5,553,788,841	0	131,561,159	131,561,159
	2 住 宅 建 設 費	4,349,980,990	1,744,794,817	2,452,866,764	152,319,409	2,605,186,173
② 繰 出 金		2,649,364,000	2,649,364,000	0	0	0
	1 繰 出 金	2,649,364,000	2,649,364,000	0	0	0
③ 公 債 費		1,026,203,000	1,026,198,563	0	4,437	4,437
	1 公 債 費	1,026,203,000	1,026,198,563	0	4,437	4,437
④ 予 備 費		10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000
	1 予 備 費	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000
歳 出 合 計		13,720,897,990	10,974,146,221	2,452,866,764	293,885,005	2,746,751,769

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

429,098,962円  
429,098,962円

# 平成29年度埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 財 産 収 入		円 5,709,000	円 5,598,653	円 5,598,653	円 0	円 0	円 △110,347
	1 財 産 運 用 収 入	5,709,000	5,598,653	5,598,653	0	0	△110,347
② 繰 入 金		451,010,000	434,941,764	434,941,764	0	0	△16,068,236
	1 繰 入 金	451,010,000	434,941,764	434,941,764	0	0	△16,068,236
③ 繰 越 金		28,404,000	28,404,608	28,404,608	0	0	608
	1 繰 越 金	28,404,000	28,404,608	28,404,608	0	0	608
④ 諸 収 入		58,231,000	110,364,403	57,821,918	0	52,542,485	△409,082
	1 貸 付 金 元 利 収 入	55,729,000	105,154,200	55,514,300	0	49,639,900	△214,700
	2 預 金 利 子	12,000	24,548	24,548	0	0	12,548
	3 雑 入	2,490,000	5,185,655	2,283,070	0	2,902,585	△206,930
歳 入 合 計		543,354,000	579,309,428	526,766,943	0	52,542,485	△16,587,057



歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 高等学校等奨学金事業費		円 543,354,000	円 519,555,825	円 0	円 23,798,175	円 23,798,175
	1 高等学校等奨学金事業費	543,354,000	519,555,825	0	23,798,175	23,798,175
歳 出 合 計		543,354,000	519,555,825	0	23,798,175	23,798,175

歳入歳出差引残額

7,211,118円

翌年度へ繰越額

7,211,118円

# 平成29年度埼玉県公営競技事業特別会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
① 入 場 料 収 入		円 33,467,000	円 32,967,800	円 32,967,800	円 0	円 0	円 △499,200
	1 入 場 料 収 入	33,466,000	32,967,800	32,967,800	0	0	△498,200
	2 入 場 券 発 売 副 収 入	1,000	0	0	0	0	△1,000
② 投 票 券 発 売 収 入		25,456,001,000	25,231,096,750	25,231,096,750	0	0	△224,904,250
	1 投 票 券 発 売 収 入	25,400,000,000	25,191,644,800	25,191,644,800	0	0	△208,355,200
	2 投 票 券 発 売 副 収 入	56,001,000	39,451,950	39,451,950	0	0	△16,549,050
③ 財 産 収 入		237,394,000	236,922,791	236,922,791	0	0	△471,209
	1 財 産 運 用 収 入	237,393,000	236,922,791	236,922,791	0	0	△470,209
	2 財 産 売 払 収 入	1,000	0	0	0	0	△1,000
④ 繰 越 金		3,036,755,000	3,036,754,997	3,036,754,997	0	0	△3
	1 繰 越 金	3,036,755,000	3,036,754,997	3,036,754,997	0	0	△3
⑤ 諸 収 入		535,721,000	539,294,514	539,294,514	0	0	3,573,514
	1 預 金 利 子	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2 収 益 事 業 収 入	300,000,000	300,000,000	300,000,000	0	0	0
	3 雑 収 入	235,720,000	239,294,514	239,294,514	0	0	3,574,514
歳 入 合 計		29,299,338,000	29,077,036,852	29,077,036,852	0	0	△222,301,148

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出 済額との比較
① 公営競技総務費		円 219,169,000	円 202,636,009	円 0	円 16,532,991	円 16,532,991
	1 公営競技総務費	219,169,000	202,636,009	0	16,532,991	16,532,991
② 公営競技事業費		25,483,249,000	25,257,832,527	0	225,416,473	225,416,473
	1 公営競技事業費	25,483,249,000	25,257,832,527	0	225,416,473	225,416,473
③ 繰 出 金		3,590,920,000	415,037,000	0	3,175,883,000	3,175,883,000
	1 繰 出 金	3,590,920,000	415,037,000	0	3,175,883,000	3,175,883,000
④ 予 備 費		6,000,000	0	0	6,000,000	6,000,000
	1 予 備 費	6,000,000	0	0	6,000,000	6,000,000
歳 出 合 計		29,299,338,000	25,875,505,536	0	3,423,832,464	3,423,832,464

歳入歳出差引残額  
翌年度へ繰越額

3,201,531,316円  
3,201,531,316円

# 平成29年度埼玉県工業用水道事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24 条第3項の規定による 支出額に係る財源 充当額	合 計			
第1款 事業収益	円 2,029,080,000	円 △ 7,478,000	円 0	円 2,021,602,000	円 2,019,961,695	円 △ 1,640,305	
第1項 営業収益	1,724,671,000	△ 7,478,000	0	1,717,193,000	1,728,103,256	10,910,256	(うち仮受消費税及び地方 消費税 127,957,626円)
第2項 営業外収益	207,972,000	0	0	207,972,000	189,448,239	△ 18,523,761	(うち仮受消費税及び地方 消費税 545円)
第3項 特別利益	96,437,000	0	0	96,437,000	102,410,200	5,973,200	

支 出

区 分	予 算 額								決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予備費 支出額	流 用 増減額	地方公営企 業法第24条 第3項の規定による支 出額	小 計	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	合 計				
第1款 事業費	円 1,991,970,000	円 △ 52,624,000	円 0	円 0	円 0	円 1,939,346,000	円 0	円 1,939,346,000	円 1,632,933,612	円 0	円 306,412,388	
第1項 営業費用	1,712,752,000	△ 51,073,000	0	0	0	1,661,679,000	0	1,661,679,000	1,451,253,686	0	210,425,314	(うち仮払消費税及び地方 消費税 58,277,993円)
第2項 営業外費用	90,787,000	0	0	0	0	90,787,000	0	90,787,000	45,222,319	0	45,564,681	
第3項 特別損失	184,431,000	△ 1,551,000	0	0	0	182,880,000	0	182,880,000	136,457,607	0	46,422,393	(うち仮払消費税及び地方 消費税 12,834円)
第4項 予備費	4,000,000	0	0	0	0	4,000,000	0	4,000,000	0	0	4,000,000	

## (2) 資本的収入及び支出

## 収 入

区 分	予 算 額						決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額に係る財源 充当額	継続費遞次繰 越額に係る財 源充当額	合 計			
第1款 資本的収入	円 871,464,000	円 △ 16,196,000	円 855,268,000	円 162,600,000	円 0	円 1,017,868,000	円 1,014,191,766	円 △ 3,676,234	
第1項 建設補助金	27,700,000	0	27,700,000	162,600,000	0	190,300,000	189,247,800	△ 1,052,200	
第2項 長期貸付金償還金	804,000,000	0	804,000,000	0	0	804,000,000	804,000,000	0	
第3項 他会計補助金	792,000	0	792,000	0	0	792,000	650,000	△ 142,000	
第4項 負担金	38,970,000	△ 16,196,000	22,774,000	0	0	22,774,000	19,823,400	△ 2,950,600	(うち仮受消費税及び 地方消費税1,468,400円)
第5項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	
第6項 雑収入	1,000	0	1,000	0	0	1,000	470,566	469,566	(うち仮受消費税及び 地方消費税 34,839円)

## 支 出

区 分	予 算 額							決 算 額	翌年度繰越額			不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	継 続 費 遞 次 繰 越 額	合 計		地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	継 続 費 遞 次 繰 越 額	合 計		
第1款 資本的支出	円 621,067,000	円 △ 198,562,000	円 0	円 422,505,000	円 785,864,234	円 113,453	円 1,208,482,687	円 1,102,885,002	円 0	円 119,299	円 119,299	円 105,478,386	
第1項 建設改良費	479,739,000	△ 198,562,000	0	281,177,000	785,864,234	113,453	1,067,154,687	961,557,548	0	119,299	119,299	105,477,840	(うち仮払消費税 及び地方消費税 68,714,425円)
第2項 企業債償還金	141,328,000	0	0	141,328,000	0	0	141,328,000	141,327,454	0	0	0	546	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額88,693,236円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額53,192,831円及び減債積立金35,500,405円で補填した。

## 平成29年度埼玉県工業用水道事業損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

区 分	金	額
1 営業収益		
(1) 給水収益	1,579,145,810	
(2) 受託工事収益	19,091,000	
(3) その他営業収益	1,908,820	1,600,145,630
2 営業費用		
(1) 原水及び浄水費	418,057,918	
(2) 配水及び給水費	293,713,880	
(3) 受託工事費	19,185,232	
(4) 総係費	79,579,840	
(5) 減価償却費	567,976,702	
(6) 資産減耗費	14,462,121	1,392,975,693
営業利益		207,169,937
3 営業外収益		
(1) 受取利息及び配当金	9,571,495	
(2) 他会計補助金	1,458,000	
(3) 長期前受金戻入	176,458,772	
(4) 雑収益	1,959,427	189,447,694
4 営業外費用		
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	27,836,119	
(2) 雑支出	1,118,087	28,954,206
經常利益		160,493,488
5 特別利益		367,663,425
(1) その他特別利益	102,410,200	102,410,200
6 特別損失		
(1) その他特別損失	136,444,773	136,444,773
当年度純利益		△ 34,034,573
前年度繰越利益剰余金		333,628,852
その他未処分利益剰余金変動額		788,909,430
当年度未処分利益剰余金		141,327,454
		1,263,865,736

# 平成29年度埼玉県工業用水道事業剰余金計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金									資本合計
		資本剰余金				利益剰余金					
		受贈財産 評価額	国庫補助金	他会計補助金	資本剰余金 合計	減債積立金	利益積立金	建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	13,121,633,997	26,904,384	45,492,371	306,007,824	378,404,579	816,122,760	604,212,128	5,056,958,100	929,506,760	7,406,799,748	20,906,838,324
前年度処分額	140,597,330	0	0	0	0	0	0	0	△ 140,597,330	△ 140,597,330	0
議会の議決による処分額	140,597,330	0	0	0	0	0	0	0	△ 140,597,330	△ 140,597,330	0
資本金の増加	140,597,330				0				△ 140,597,330	△ 140,597,330	0
処分後残高	13,262,231,327	26,904,384	45,492,371	306,007,824	378,404,579	816,122,760	604,212,128	5,056,958,100	(繰越利益剰余金) 788,909,430	7,266,202,418	20,906,838,324
当年度変動額	0	0	0	0	0	△ 141,327,454	0	0	474,956,306	333,628,852	333,628,852
減債積立金の使用額					0	△ 141,327,454			141,327,454	0	0
当年度純利益					0				333,628,852	333,628,852	333,628,852
当年度末残高	13,262,231,327	26,904,384	45,492,371	306,007,824	378,404,579	674,795,306	604,212,128	5,056,958,100	(当年度未処分利益剰余金) 1,263,865,736	7,599,831,270	21,240,467,176

(注)この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

## 平成29年度埼玉県工業用水道事業剰余金処分計算書（案）

（単位 円）

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	13,262,231,327	378,404,579	1,263,865,736
議会の議決による処分数額	141,327,454	0	△ 141,327,454
資本金の増加	141,327,454		△ 141,327,454
処分後残高	13,403,558,781	378,404,579	（繰越利益剰余金） 1,122,538,282

（注）この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。



平成29年度埼玉県工業用水道事業貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位 円)

区 分	金 額	
資 産 の 部		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地		437,820,277
ロ 建物	2,034,164,863	
減価償却累計額	△ 850,944,105	1,183,220,758
ハ 構築物	20,752,435,165	
減価償却累計額	△ 15,332,878,268	5,419,556,897
ニ 機械及び装置	9,599,866,807	
減価償却累計額	△ 5,831,095,977	3,768,770,830
ホ 車両運搬具		1,470,000
ヘ 船舶	159,000	
減価償却累計額	△ 151,050	7,950
ト 工具、器具及び備品	43,427,938	
減価償却累計額	△ 36,314,694	7,113,244
チ リース資産	2,303,040	
減価償却累計額	△ 1,254,208	1,048,832
リ 建設仮勘定		407,551,926
有形固定資産合計		11,226,560,714
(2) 無形固定資産		
イ ダム使用权		30,026,928
ロ 水利権		763,174,518
ハ 電話加入権		942,236
ニ ソフトウェア		5,309,135
無形固定資産合計		799,452,817
(3) 投資その他の資産		
イ 長期貸付金		957,000,000
投資その他の資産合計		957,000,000
固定資産合計		12,983,013,531
2 流動資産		
(1) 現金預金		12,159,141,830
(2) 未収金		238,624,070
貸倒引当金		△ 13,074
(3) 貯蔵品		238,610,996
(4) 短期貸付金		14,905,076
		305,000,000
流動資産合計		12,717,657,902
資産合計		25,700,671,433

負債の部				
3	固定負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	529,175,961		
	企業債合計		529,175,961	
(2)	リース債務		635,268	
(3)	引当金			
	イ 退職給付引当金	208,134,631		
	ロ 修繕引当金	381,226,570		
	引当金合計		589,361,201	
	固定負債合計			1,119,172,430
4	流動負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	145,619,345		
	企業債合計		145,619,345	
(2)	リース債務		497,460	
(3)	未払金		88,323,331	
(4)	引当金			
	イ 賞与引当金	17,535,400		
	引当金合計		17,535,400	
(5)	その他流動負債		15,921,475	
	流動負債合計			267,897,011
5	繰延収益			
(1)	受贈財産評価額長期前受金 収益化累計額	304,581,923 △ 125,262,648	179,319,275	
(2)	寄附金長期前受金 収益化累計額	5,050,000 △ 4,797,500	252,500	
(3)	工事負担金長期前受金 収益化累計額	109,842,671 △ 86,913,287	22,929,384	
(4)	国庫補助金長期前受金 収益化累計額	10,118,450,143 △ 7,583,590,191	2,534,859,952	
(5)	他会計補助金長期前受金 収益化累計額	3,206,774,924 △ 2,871,001,219	335,773,705	
	繰延収益合計			3,073,134,816
	負債合計			4,460,204,257

区 分	金 額	
資 本 の 部		
6 資本金		13,262,231,327
7 剰余金		
(1) 資本剰余金		
イ 受贈財産評価額	26,904,384	
ロ 国庫補助金	45,492,371	
ハ 他会計補助金	306,007,824	
資本剰余金合計		378,404,579
(2) 利益剰余金		
イ 減債積立金	674,795,306	
ロ 利益積立金	604,212,128	
ハ 建設改良積立金	5,056,958,100	
ニ 当年度未処分利益剰余金	1,263,865,736	
利益剰余金合計		7,599,831,270
剰余金合計		7,978,235,849
資本合計		21,240,467,176
負債資本合計		25,700,671,433

注記（工業用水道事業会計）

1 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

ア たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、先入先出法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

定額法によっている。

イ 無形固定資産

定額法によっている。

ウ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

イ 修繕引当金

地方公営企業法施行規則等の一部を改正する省令（平成24年総務省令第6号）附則第4条（引当金に関する経過措置）の規定に基づき、平成25年度末の修繕引当金を引き続き計上しているが、使用用途及び時期に明確な計画がないため、総額を全て固定負債に計上している。

なお、平成25年度までの計上基準は、以下のとおりとなっている。

あらかじめ定めた予定基準額と修繕費執行額との差額を計上している。

ウ 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

エ 貸倒引当金

債権の貸倒れに備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理方法

ア 決算報告書については税込処理方式によっている。

イ 財務諸表については税抜処理方式によっている。

なお、特定収入をもって賄われた資本的支出に係る控除対象外消費税等については特定収入と相殺し、それ以外の控除対象外消費税等については営業外費用として処理している。

2 キャッシュ・フロー計算書関連

該当事項はない。

3 貸借対照表関連

該当事項はない。

4 セグメント情報の開示

単一の事業を運営しているため、開示すべきセグメント情報はない。

5 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額（他の事業会計と共同で行うリース取引にあっては、その合計額）が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(2) リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内	146,248円
1年超	0円
計	146,248円

6 その他

(1) 引当金の取崩し

ア 修繕引当金

当年度において、修繕引当金135,713,560円を取り崩している。

イ 賞与引当金

当年度において、期末・勤勉手当として24,541,715円を支給するため、賞与引当金14,747,022円を取り崩している。

(2) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは以下の金額である。

短期リース債務	497,460円
長期リース債務	635,268円
計	1,132,728円

# 平成29年度埼玉県水道用水供給事業決算報告書

## (1) 収益的収入及び支出

### 収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24 条第3項の規定による 支出額に係る財源 充当額	合 計			
第1款 事業収益	円 47,461,979,000	円 △ 22,954,000	円 0	円 47,439,025,000	円 47,410,736,186	円 △ 28,288,814	
第1項 営業収益	42,247,252,000	△ 14,491,000	0	42,232,761,000	42,103,224,087	△ 129,536,913	(うち仮受消費税及び地方 消費税 3,117,995,778円) (うち仮受消費税及び地方 消費税 154,625円)
第2項 営業外収益	5,152,677,000	△ 8,463,000	0	5,144,214,000	5,144,108,783	△ 105,217	
第3項 特別利益	62,050,000	0	0	62,050,000	163,403,316	101,353,316	

### 支 出

区 分	予 算 額								決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予備費 支出額	流 用 増減額	地方公営企 業法第24条 第3項の規定による支 出額	小 計	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	合 計				
第1款 事業費	円 46,123,547,000	円 △ 2,119,855,000	円 0	円 0	円 0	円 44,003,692,000	円 38,508,480	円 44,042,200,480	円 41,763,831,392	円 0	円 2,278,369,088	
第1項 営業費用	40,814,915,000	△ 2,362,967,000	0	0	0	38,451,948,000	38,508,480	38,490,456,480	37,153,573,136	0	1,336,883,344	(うち仮払消費税及び地方 消費税 1,044,119,502円)
第2項 営業外費用	4,738,173,000	291,624,000	0	0	0	5,029,797,000	0	5,029,797,000	4,496,075,184	0	533,721,816	
第3項 特別損失	530,459,000	△ 48,512,000	0	0	0	481,947,000	0	481,947,000	114,183,072	0	367,763,928	(うち仮払消費税及び地方 消費税 401,166円)
第4項 予備費	40,000,000	0	0	0	0	40,000,000	0	40,000,000	0	0	40,000,000	

## (2) 資本的収入及び支出

## 収 入

区 分	予 算 額						決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額に係る財 源充当額	継続費通次 繰越額に係 る財源充当 額	合 計			
第1款 資本的収入	円 23,922,938,000	円 △ 3,452,289,000	円 20,470,649,000	円 0	円 0	円 20,470,649,000	円 19,898,431,624	円 △ 572,217,376	
第1項 建設補助金	4,163,928,000	△ 212,880,000	3,951,048,000	0	0	3,951,048,000	3,794,817,420	△ 156,230,580	
第2項 企業債	11,900,000,000	△ 2,600,000,000	9,300,000,000	0	0	9,300,000,000	8,835,000,000	△ 465,000,000	
第3項 他会計出資金	7,640,569,000	△ 634,000,000	7,006,569,000	0	0	7,006,569,000	7,006,568,552	△ 448	
第4項 他会計補助金	218,315,000	△ 5,409,000	212,906,000	0	0	212,906,000	211,684,226	△ 1,221,774	
第5項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	
第6項 雑収入	125,000	0	125,000	0	0	125,000	50,361,426	50,236,426	(うち仮受消費税及び 地方消費税 138,811円)

## 支 出

区 分	予 算 額									決 算 額	翌年度繰越額			備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予備費 支出額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰 越額	継 続 費 通次繰越額	合 計	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額		継 続 費 通次繰越額	合 計	不用額	
第1款 資本的支出	円 41,553,967,000	円 △ 3,583,911,000	円 0	円 0	円 37,970,056,000	円 54,648,680	円 1,669,063,007	円 39,693,767,687	円 37,423,007,882	円 103,470,840	円 718,708,393	円 822,179,233	円 1,448,580,572	
第1項 建設改良費	25,062,231,000	△ 3,333,153,000	0	0	21,729,078,000	54,648,680	1,669,063,007	23,452,789,687	21,222,031,579	103,470,840	718,708,393	822,179,233	1,408,578,875	(うち仮払消費税 及び地方消費税 1,431,298,757円)
第2項 企業債償還金	10,592,814,000	△ 274,933,000	0	0	10,317,881,000	0	0	10,317,881,000	10,317,880,385	0	0	0	615	
第3項 他会計からの長期借入金償還金	804,000,000	0	0	0	804,000,000	0	0	804,000,000	804,000,000	0	0	0	0	
第4項 機構負担年賦金	5,054,922,000	0	0	0	5,054,922,000	0	0	5,054,922,000	5,054,921,567	0	0	0	433	(うち仮払消費税 及び地方消費税 235,982,455円)
第5項 予備費	40,000,000	0	0	0	40,000,000	0	0	40,000,000	0	0	0	0	40,000,000	
第6項 過年度国庫補助金返還金	0	24,175,000	0	0	24,175,000	0	0	24,175,000	24,174,351	0	0	0	649	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額17,524,576,258円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,386,972,256円、減債積立金4,264,779,594円及び過年度分損益勘定留保資金11,872,824,408円で補填した。

# 平成29年度埼玉県水道用水供給事業損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

区 分	金	額	
1 営業収益			
(1) 給水収益	38,911,656,423		
(2) 受託工事収益	8,031,001		
(3) その他営業収益	65,540,885	38,985,228,309	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	9,223,457,606		
(2) 配水及び給水費	4,727,757,323		
(3) 受託工事費	8,072,026		
(4) 総係費	571,648,353		
(5) 減価償却費	21,268,683,783		
(6) 資産減耗費	309,834,543	36,109,453,634	
営業利益			2,875,774,675
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	4,078,356		
(2) 他会計補助金	562,283,568		
(3) 補助金	49,651,580		
(4) 長期前受金戻入	4,522,933,165		
(5) 雑収益	5,007,489	5,143,954,158	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	3,803,641,057		
(2) 雑支出	6,251,488	3,809,892,545	1,334,061,613
経常利益			4,209,836,288
5 特別利益			
(1) その他特別利益	163,403,316	163,403,316	
6 特別損失			
(1) その他特別損失	113,781,906	113,781,906	49,621,410
当年度純利益			4,259,457,698
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			4,264,779,594
当年度未処分利益剰余金			8,524,237,292



# 平成29年度埼玉県水道用水供給事業剰余金計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金									資本合計
		資本剰余金					利益剰余金				
		受贈財産額 評価額	寄附金	国庫補助金	他会計補助金	資本剰余金 合計	減債積立金	利益積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	253,726,463,555	9,877,107	7,964,000	6,295,174,232	1,900,729,098	8,213,744,437	0	1,260,000,000	8,990,588,589	10,250,588,589	272,190,796,581
前年度処分額	4,725,808,995	0	0	0	0	0	4,264,779,594	0	△ 8,990,588,589	△ 4,725,808,995	0
議会の議決による処分額	4,725,808,995	0	0	0	0	0	4,264,779,594	0	△ 8,990,588,589	△ 4,725,808,995	0
資本金の増加	4,725,808,995					0			△ 4,725,808,995	△ 4,725,808,995	0
減債積立金の積立						0	4,264,779,594		△ 4,264,779,594	0	0
処分後残高	258,452,272,550	9,877,107	7,964,000	6,295,174,232	1,900,729,098	8,213,744,437	4,264,779,594	1,260,000,000	(繰越利益剰余金) 0	5,524,779,594	272,190,796,581
当年度変動額	7,006,568,552	0	0	9,563,839	0	9,563,839	△ 4,264,779,594	0	8,524,237,292	4,259,457,698	11,275,590,089
他会計出資金の受入	7,006,568,552					0				0	7,006,568,552
国庫補助金の受入				9,563,839		9,563,839				0	9,563,839
減債積立金の使用額						0	△ 4,264,779,594		4,264,779,594	0	0
当年度純利益						0			4,259,457,698	4,259,457,698	4,259,457,698
当年度末残高	265,458,841,102	9,877,107	7,964,000	6,304,738,071	1,900,729,098	8,223,308,276	0	1,260,000,000	(当年度末処分利益剰余金) 8,524,237,292	9,784,237,292	283,466,386,670

(注) この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

平成29年度埼玉県水道用水供給事業剰余金処分計算書（案）

（単位 円）

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	265,458,841,102	8,223,308,276	8,524,237,292
議会の議決による処分額	4,264,779,594	0	△ 8,524,237,292
資本金の増加	4,264,779,594		△ 4,264,779,594
減債積立金の積立			△ 4,259,457,698
処分後残高	269,723,620,696	8,223,308,276	（繰越利益剰余金） 0

（注）この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

平成29年度埼玉県水道用水供給事業貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位 円)

区 分	金 額	
資 産 の 部		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地		35,779,406,652
ロ 建物	41,447,666,108	
減価償却累計額	△ 22,080,602,742	19,367,063,366
ハ 構築物	404,780,309,414	
減価償却累計額	△ 215,123,290,627	189,657,018,787
ニ 機械及び装置	130,022,858,677	
減価償却累計額	△ 86,129,550,597	43,893,308,080
ホ 車両運搬具	113,250,813	
減価償却累計額	△ 96,902,564	16,348,249
ヘ 船舶	2,993,944	
減価償却累計額	△ 2,673,015	320,929
ト 工具、器具及び備品	1,156,350,627	
減価償却累計額	△ 720,018,644	436,331,983
チ リース資産	35,034,720	
減価償却累計額	△ 17,896,744	17,137,976
リ 建設仮勘定		108,041,891,363
有形固定資産合計		397,208,827,385
(2) 無形固定資産		
イ ダム使用権		128,354,750,714
ロ 水利権		21,413,138,278
ハ 地上権		1,562,185
ニ 施設利用権		83,099,315
ホ 電話加入権		10,477,339
ヘ ソフトウェア		51,677,533
無形固定資産合計		149,914,705,364
(3) 投資その他の資産		
イ 出資金		120,368,000
投資その他の資産合計		120,368,000
固定資産合計		547,243,900,749
2 流動資産		
(1) 現金預金		53,981,297,849
(2) 未収金		3,555,688,242
(3) 貯蔵品		87,155,203
流動資産合計		57,624,141,294
資産合計		604,868,042,043

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

121,666,967,878

企業債合計

121,666,967,878

(2) 他会計借入金

イ 建設改良費等の財源に  
充てるための長期借入金

844,000,000

ロ その他の長期借入金

113,000,000

他会計借入金合計

957,000,000

(3) リース債務

10,941,513

(4) 引当金

イ 退職給付引当金

2,376,390,909

ロ 修繕引当金

215,465,027

引当金合計

2,591,855,936

(5) 年賦未払金

イ 機構負担年賦金

56,265,693,792

ロ 施設購入年賦金

1,481,735,868

年賦未払金合計

57,747,429,660

固定負債合計

182,974,194,987

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

10,162,787,833

企業債合計

10,162,787,833

(2) 他会計借入金

イ 建設改良費等の財源に  
充てるための長期借入金

192,000,000

ロ その他の長期借入金

113,000,000

他会計借入金合計

305,000,000

(3) リース債務

7,567,500

(4) 未払金

7,885,878,297

(5) 引当金

イ 賞与引当金

200,036,683

引当金合計

200,036,683

(6) 年賦未払金

イ 機構負担年賦金

4,865,286,919

ロ 施設購入年賦金

159,383,072

年賦未払金合計

5,024,669,991

(7) その他流動負債

264,630,715

流動負債合計

23,850,571,019

区 分	金 額	
5 繰延収益		
(1) 受贈財産評価額長期前受金 収益化累計額	28,938,000 △ 16,928,730	12,009,270
(2) 工事負担金長期前受金 収益化累計額	568,673,000 △ 503,629,737	65,043,263
(3) 国庫補助金長期前受金 収益化累計額	191,511,826,926 △ 87,024,611,116	104,487,215,810
(4) 他会計補助金長期前受金 収益化累計額	42,631,100,352 △ 32,618,479,328	10,012,621,024
繰延収益合計		114,576,889,367
負債合計		321,401,655,373
資 本 の 部		
6 資本金		265,458,841,102
7 剰余金		
(1) 資本剰余金		
イ 受贈財産評価額	9,877,107	
ロ 寄附金	7,964,000	
ハ 国庫補助金	6,304,738,071	
ニ 他会計補助金	1,900,729,098	
資本剰余金合計		8,223,308,276
(2) 利益剰余金		
イ 利益積立金	1,260,000,000	
ロ 当年度未処分利益剰余金	8,524,237,292	
利益剰余金合計		9,784,237,292
剰余金合計		18,007,545,568
資本合計		283,466,386,670
負債資本合計		604,868,042,043

## 注記（水道用水供給事業会計）

### 1 重要な会計方針

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ア たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、先入先出法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

定額法によっている。

##### イ 無形固定資産

定額法によっている。

##### ウ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上方法

##### ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

##### イ 修繕引当金

地方公営企業法施行規則等の一部を改正する省令（平成24年総務省令第6号）附則第4条（引当金に関する経過措置）の規定に基づき、平成25年度末の修繕引当金を引き続き計上しているが、使用用途及び時期に明確な計画がないため、総額を全て固定負債に計上している。

なお、平成25年度までの計上基準は、以下のとおりとなっている。

あらかじめ定めた予定基準額と修繕費執行額との差額を計上している。

##### ウ 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理方法

##### ア 決算報告書については税込処理方式によっている。

##### イ 財務諸表については税抜処理方式によっている。

なお、特定収入をもって賄われた資本的支出に係る控除対象外消費税等については特定収入と相殺し、それ以外の控除対象外消費税等については営業外費用として処理している。

### 2 キャッシュ・フロー計算書関連

該当事項はない。

### 3 貸借対照表関連

#### (1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は300,883,759円である。

### 4 セグメント情報の開示

単一の事業を運営しているため、開示すべきセグメント情報はない。

### 5 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額（他の事業会計と共同で行うリース取引にあつては、その合計額）が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(2) リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によつてゐる。

(3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内	1,279,674円
<u>1年超</u>	<u>0円</u>
計	1,279,674円

6 その他

(1) 引当金の取崩し

ア 退職給付引当金

当年度において、退職手当として267,275,128円を支給するため、退職給付引当金267,275,128円を取り崩している。また退職給付引当金余剰額53,405,751円を取り崩している。

イ 修繕引当金

当年度において、修繕引当金1,169,789,703円を取り崩している。

ウ 賞与引当金

当年度において、期末・勤勉手当として304,152,516円を支給するため、賞与引当金189,657,032円を取り崩している。

(2) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは以下の金額である。

短期リース債務	7,567,500円
<u>長期リース債務</u>	<u>10,941,513円</u>
計	18,509,013円

(3) 年賦未払金の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている機構負担年賦金（1年内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は20,393,906,375円である。

# 平成29年度埼玉県地域整備事業決算報告書

## (1) 収益的収入及び支出

### 収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	合 計			
	円	円	円	円	円	円	
第1款 事業収益	11,919,150,000	0	0	11,919,150,000	20,672,542,235	8,753,392,235	
第1項 営業収益	11,753,045,000	0	0	11,753,045,000	20,447,623,943	8,694,578,943	(うち仮受消費税及び地方消費税 34,690,664円) (うち仮受消費税及び地方消費税 512円))
第2項 営業外収益	68,700,000	0	0	68,700,000	72,311,757	3,611,757	
第3項 特別利益	97,405,000	0	0	97,405,000	152,606,535	55,201,535	

### 支 出

区 分	予 算 額								決 算 額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小 計	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合 計				
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
第1款 事業費	7,667,675,000	0	0	0	0	7,667,675,000	40,430,160	7,708,105,160	16,223,213,186	0	△ 8,515,108,026	
第1項 営業費用	7,623,243,000	0	0	0	0	7,623,243,000	0	7,623,243,000	16,166,157,426	0	△ 8,542,914,426	(うち仮払消費税及び地方消費税 16,009,975円)
第2項 営業外費用	24,431,000	0	0	0	0	24,431,000	0	24,431,000	16,625,600	0	7,805,400	
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0	1,000	40,430,160	40,431,160	40,430,160	0	1,000	(うち仮払消費税及び地方消費税 2,994,827円)
第4項 予備費	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000	0	20,000,000	0	0	20,000,000	



## (2) 資本的収入及び支出

## 収 入

区 分	予 算 額						決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額に係る財源 充当額	継続費通 次繰越額 に係る財源 充当額	合 計			
第1款 資本的収入	円 1,519,911,000	円 0	円 1,519,911,000	円 0	円 0	円 1,519,911,000	円 1,518,804,756	円 △ 1,106,244	
第1項 長期貸付金償還金	1,515,110,000	0	1,515,110,000	0	0	1,515,110,000	1,515,109,194	△ 806	
第2項 他会計補助金	4,799,000	0	4,799,000	0	0	4,799,000	3,591,768	△ 1,207,232	
第3項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	
第4項 雑 収 入	1,000	0	1,000	0	0	1,000	103,794	102,794	(うち仮受消費税及び 地方消費税 1,436円)

## 支 出

区 分	予 算 額								決 算 額	翌年度繰越額			不用額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予備費 支出額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	継 続 費 通次繰越額	合 計		地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	継 続 費 通次繰越額	合 計		
第1款 資本的支出	円 14,927,153,000	円 △ 2,010,000,000	円 0	円 0	円 12,917,153,000	円 1,127,309,802	円 663,159,679	円 14,707,622,481	円 10,220,432,071	円 14,522,000	円 4,039,461,546	円 4,053,983,546	円 433,206,864	
第1項 建設改良費	10,542,462,000	0	0	0	10,542,462,000	1,127,309,802	663,159,679	12,332,931,481	8,054,782,235	14,522,000	4,039,461,546	4,053,983,546	224,165,700	(うち仮払消費税 及び地方消費税 2,383,973円)
第2項 建設準備費	184,691,000	△ 10,000,000	0	0	174,691,000	0	0	174,691,000	165,649,836	0	0	0	9,041,164	
第3項 投資有価証券	4,000,000,000	△ 2,000,000,000	0	0	2,000,000,000	0	0	2,000,000,000	2,000,000,000	0	0	0	0	
第4項 予 備 費	200,000,000	0	0	0	200,000,000	0	0	200,000,000	0	0	0	0	200,000,000	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額8,701,627,315円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,382,537円及び過年度分損益勘定留保資金8,699,244,778円で補填した。

平成29年度埼玉県地域整備事業損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

区 分	金	額
1 営業収益		
(1) 産業団地売却収益	19,342,411,780	
(2) 産業団地貸付収益	623,544,492	
(3) ゴルフ場施設貸付収益	314,244,202	
(4) 受託工事収益	109,008,926	
(5) その他営業収益	23,723,879	20,412,933,279
2 営業費用		
(1) 産業団地売却原価	15,519,292,097	
(2) 受託工事費	109,872,820	
(3) 一般管理費	455,253,727	
(4) 減価償却費	65,648,749	
(5) 資産減耗費	80,058	16,150,147,451
営業利益		4,262,785,828
3 営業外収益		
(1) 受取利息及び配当金	65,488,614	
(2) 他会計補助金	6,721,821	
(3) 長期前受金戻入	9,765	
(4) 雑収益	91,278	72,311,478
4 営業外費用		
(1) 雑支出	3,321,996	3,321,996
経常利益		4,331,775,310
5 特別利益		
(1) その他特別利益	152,606,535	152,606,535
6 特別損失		
(1) その他特別損失	37,435,333	37,435,333
当年度純利益		4,446,946,512
前年度繰越利益剰余金		1,059,892,161
当年度未処分利益剰余金		5,506,838,673

# 平成29年度埼玉県地域整備事業剰余金計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金			資本合計
		資本剰余金	利益剰余金		
		資本剰余金 合計	未処分利益剰余金 及び未処理欠損金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	89,074,128,052	0	1,059,892,161	1,059,892,161	90,134,020,213
前年度処分額	0	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0
処分後残高	89,074,128,052	0	(繰越利益剰余金) 1,059,892,161	1,059,892,161	90,134,020,213
当年度変動額	0	0	4,446,946,512	4,446,946,512	4,446,946,512
当年度純利益		0	4,446,946,512	4,446,946,512	4,446,946,512
当年度末残高	89,074,128,052	0	(当年度未処分利益剰余金) 5,506,838,673	5,506,838,673	94,580,966,725

(注) この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

## 平成29年度埼玉県地域整備事業剰余金処分計算書（案）

（単位 円）

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	89,074,128,052	0	5,506,838,673
議会の議決による処分数	0	0	0
処分後残高	89,074,128,052	0	(繰越利益剰余金) 5,506,838,673

（注）この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

平成29年度埼玉県地域整備事業貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位 円)

区 分	金 額	
資 産 の 部		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地		14,377,468,757
ロ 建物	1,739,389,945	
減価償却累計額	△ 461,611,501	1,277,778,444
ハ 構築物	1,811,767,254	
減価償却累計額	△ 228,585,075	1,583,182,179
ニ 機械及び装置	17,288,884	
減価償却累計額	△ 16,424,436	864,448
ホ 車両運搬具	1,800,000	
減価償却累計額	△ 1,710,000	90,000
ヘ 工具、器具及び備品	47,771,140	
減価償却累計額	△ 14,167,896	33,603,244
ト 建設仮勘定		72,367,008
有形固定資産合計		17,345,354,080
(2) 無形固定資産		
イ 電話加入権		1,175,600
無形固定資産合計		1,175,600
(3) 投資その他の資産		
イ 投資有価証券		4,005,652,118
ロ 長期貸付金		8,949,593,908
投資その他の資産合計		12,955,246,026
固定資産合計		30,301,775,706
2 事業資産		
(1) 未成資産		9,903,046,630
事業資産合計		9,903,046,630
3 流動資産		
(1) 現金預金		54,400,030,876
(2) 未収金		117,729,640
(3) 短期貸付金		1,520,224,080
(4) 未収収益		2,815,274
流動資産合計		56,040,799,870
資産合計		96,245,622,206

負債の部				
4	固定負債			
	(1) リース債務		177,075	
	(2) 引当金			
	イ 退職給付引当金	342,978,139		
	引当金合計		342,978,139	
	固定負債合計			343,155,214
5	流動負債			
	(1) リース債務		193,152	
	(2) 未払金		665,629,548	
	(3) 前受金		133,514,622	
	(4) 引当金			
	イ 賞与引当金	22,685,835		
	引当金合計		22,685,835	
	(5) その他流動負債		498,941,994	
	流動負債合計			1,320,965,151
6	繰延収益			
	(1) 受贈財産評価額長期前受金	299,787		
	収益化累計額	△ 284,797	14,990	
	(2) 他会計補助金長期前受金	529,891		
	収益化累計額	△ 9,765	520,126	
	繰延収益合計			535,116
	負債合計			1,664,655,481
資本の部				
7	資本金			89,074,128,052
8	剰余金			
	(1) 利益剰余金			
	イ 当年度未処分利益剰余金	5,506,838,673		
	利益剰余金合計		5,506,838,673	
	剰余金合計			5,506,838,673
	資本合計			94,580,966,725
	負債資本合計			96,245,622,206

注記（地域整備事業会計）

1 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

ア 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券

償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券

時価のないもの 原価法によっている。

イ たな卸資産の評価基準及び評価方法

事業資産は、個別法による低価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

定額法によっている。

イ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

イ 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(4) 消費税等の会計処理方法

ア 決算報告書については税込処理方式によっている。

イ 財務諸表については税抜処理方式によっている。

なお、控除対象外消費税等については、収益的支出に係るものは営業外費用とし、資本的支出に係るものは資産の取得原価に含めて処理している。

2 キャッシュ・フロー計算書関連

該当事項はない。

3 貸借対照表関連

該当事項はない。

4 セグメント情報の開示

(1) 報告セグメントの概要

地域整備事業会計は、土地造成事業及びゴルフ場施設貸付事業を運営している。運営方針や業績評価等はこれら事業別に行っていることから、両事業を報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントの事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
土地造成事業	産業団地等の造成及び供給
ゴルフ場施設貸付事業	ゴルフ場施設の貸付

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位 千円）

区 分	土地造成事業	ゴルフ場施設貸付事業	計
営業収益	20,098,689	314,244	20,412,933
営業費用	15,977,010	173,137	16,150,147
営業損益	4,121,679	141,107	4,262,786
経常損益	4,190,658	141,117	4,331,775
セグメント資産	93,019,747	3,225,875	96,245,622
セグメント負債	1,662,264	2,391	1,664,655
その他の項目			
他会計繰入金	6,722		6,722
減価償却費	1,862	63,787	65,649
特別利益	152,607		152,607
特別損失		37,435	37,435
有形固定資産の増加額	△8,501,435	△34,039	△8,535,474

5 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額（他の事業会計と共同で行うリース取引にあっては、その合計額）が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(2) リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内	402,181円
1年超	0円
計	402,181円



6 その他

(1) 引当金の取崩し

ア 退職給付引当金

当年度において、退職給付引当金余剰額55,201,535円を取り崩している。

イ 賞与引当金

当年度において、期末・勤勉手当として36,612,895円を支給するため、賞与引当金23,469,230円を取り崩している。

(2) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは以下の金額である。

短期リース債務	193,152円
長期リース債務	<u>177,075円</u>
計	370,227円

## 平成29年度埼玉県病院事業決算報告書

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法 第24条第3項 の 規 定 に よ る 支 出 額 に 係 る 財 源 充 当 額	合 計			
第1款 病院事業収益	円 55,125,385,000	円 0	円 0	円 55,125,385,000	円 50,621,502,286	円 △ 4,503,882,714	
第1項 医業収益	43,196,614,000	0	0	43,196,614,000	39,112,900,786	△ 4,083,713,214	（うち受贈税及び地方消費税 80,358,660円）
第2項 医業外収益	11,764,954,000	0	0	11,764,954,000	11,305,975,588	△ 458,978,412	（うち受贈税及び地方消費税 23,572,781円）
第3項 特別利益	163,817,000	0	0	163,817,000	202,625,912	38,808,912	

#### 支 出

区 分	予 算 額						決 算 額	地方公営 企業法第 26条第 2項の規 定による 繰越額	不 用 額	備 考		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営 企業法第 24条第 3項の規 定による 支 出 額	小 計					地方公営 企業法第 26条第 2項の規 定による 繰 越 額	合 計
第1款 病院事業費用	円 60,401,218,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 60,401,218,000	円 27,540,000	円 60,428,758,000	円 56,202,078,480	円 0	円 4,226,679,520	
第1項 医業費用	58,943,286,000	0	0	0	0	58,943,286,000	0	58,943,286,000	54,791,887,689	0	4,151,398,311	（うち繰上償還税及び地方消費税 1,715,197,405円）
第2項 医業外費用	1,327,847,000	0	0	0	0	1,327,847,000	0	1,327,847,000	1,253,589,298	0	74,257,702	（うち繰上償還税及び地方消費税 2,788円）
第3項 特別損失	110,085,000	0	0	0	0	110,085,000	27,540,000	137,625,000	156,601,493	0	△ 18,976,493	（うち繰上償還税及び地方消費税 7,202,857円）
第4項 予備費	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000	0	20,000,000	0	0	20,000,000	

特別損失のうち用途廃止施設の処分に要する経費51,670,770円の財源に充てるため、企業債51,000,000円を借り入れた。

## (2) 資本的収入及び支出

## 収 入

区 分	予 算 額						決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業 法第26条の 規定による 繰越額に係る 財源充当額	継続費遷次 繰越額に係る 財源充当額	合 計			
第1款 資本的収入	円 5,626,678,000	円 0	円 5,626,678,000	円 0	円 476,000,000	円 6,102,678,000	円 4,519,872,032	円 △ 1,582,805,968	
第1項 企業債	2,580,000,000	0	2,580,000,000	0	476,000,000	3,056,000,000	1,726,000,000	△ 1,330,000,000	
第2項 他会計負担金	2,107,083,000	0	2,107,083,000	0	0	2,107,083,000	1,951,463,000	△ 155,620,000	
第3項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	
第4項 補助金	885,157,000	0	885,157,000	0	0	885,157,000	840,078,252	△ 45,078,748	
第5項 国庫補助金	52,070,000	0	52,070,000	0	0	52,070,000	0	△ 52,070,000	
第6項 寄附金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	
第7項 受託金	2,365,000	0	2,365,000	0	0	2,365,000	2,330,780	△ 34,220	(うち受託費及び地方消費税 172,649円)
第8項 その他収入	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	

## 支 出

区 分	予 算 額							決 算 額	翌年度繰越額			備 考	
	当初予算額	補正予算額	流用 増減額	小 計	地方公営 企業法第 26条の 規定によ る繰越額	継 続 費 遷 越 額	合 計		地方公営 企業法第 26条の 規定によ る繰越額	継 続 費 遷 越 額	合 計		不用額
第1款 資本的支出	円 7,599,579,000	円 0	円 0	円 7,599,579,000	円 0	円 876,221,393	円 8,475,800,393	円 6,342,831,389	円 312,343,020	円 0	円 312,343,020	円 1,820,625,984	
第1項 建設改良費	3,657,296,000	0	0	3,657,296,000	0	876,221,393	4,533,517,393	2,697,151,300	312,343,020	0	312,343,020	1,524,023,073	(うち流出費及び地方消費税 192,197,094円)
第2項 企業債償還金	3,942,283,000	0	0	3,942,283,000	0	0	3,942,283,000	3,645,680,089	0	0	0	296,602,911	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,822,959,357円は、減債積立金7,500,753円及び過年度分損益勘定留保資金1,815,458,604円で補填した。

# 平成29年度埼玉県病院事業損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

区 分		金 額	
1	医 業 収 益		
(1)	入 院 収 益	25,825,584,680	
(2)	外 来 収 益	12,015,473,991	
(3)	そ の 他 医 業 収 益	1,191,483,455	39,032,542,126
2	医 業 費 用		
(1)	給 与 費	24,283,275,864	
(2)	材 料 費	13,542,414,449	
(3)	経 費	8,642,706,413	
(4)	減 価 償 却 費	6,112,823,399	
(5)	資 産 減 耗 費	45,368,751	
(6)	研 究 研 修 費	397,811,278	53,024,400,154
	医 業 損 失		13,991,858,028
3	医 業 外 収 益		
(1)	受 取 利 息 配 当 金	74,776	
(2)	補 助 金	137,546,877	
(3)	負 担 金 交 付 金	9,202,487,000	
(4)	長 期 前 受 金 戻 入	1,438,677,024	

(5) その他医業外収益	503,617,130	11,282,402,807	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	612,270,142		
(2) 長期前払消費税勘定償却	586,292,536		
(3) 雑損失	1,672,719,170	2,871,281,848	8,411,120,959
経常損失			5,580,737,069
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	28,773,980		
(2) その他特別利益	173,851,932	202,625,912	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	28,767,240		
(2) その他特別損失	120,631,396	149,398,636	53,227,276
当年度純損失			5,527,509,793
前年度繰越欠損金			11,124,207,334
その他未処分利益剰余金変動額			7,500,753
当年度未処理欠損金			16,644,216,374

平成29年度埼玉県病院事業剰余金計算書  
 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金								資本合計
		資本剰余金					利益剰余金			
		受贈財産 評価額	寄附金	国庫補助金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	減債積立金	未処理欠損金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	29,886,286,582	417,565,948	750,000	304,182,221	4,332,938,359	5,055,436,528	7,500,753	△11,124,207,334	△11,116,706,581	23,825,016,529
前年度処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処分後残高	29,886,286,582	417,565,948	750,000	304,182,221	4,332,938,359	5,055,436,528	7,500,753	(繰越欠損) △11,124,207,334	△11,116,706,581	23,825,016,529
当年度変動額	0	0	0	0	0	0	△7,500,753	△5,520,009,040	△5,527,509,793	△5,527,509,793
減債積立金の使用額						0	△7,500,753	7,500,753	0	0
当年度純損失						0		△5,527,509,793	△5,527,509,793	△5,527,509,793
当年度末残高	29,886,286,582	417,565,948	750,000	304,182,221	4,332,938,359	5,055,436,528	0	(当年度末欠損) △16,644,216,374	△16,644,216,374	18,297,506,736

(注) この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

平成29年度埼玉県病院事業欠損金処理計算書（案）

（単位 円）

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	29,886,286,582	5,055,436,528	△ 16,644,216,374
議会の議決による処分額	0	0	0
処分後残高	29,886,286,582	5,055,436,528	(繰越欠損金) △ 16,644,216,374

（注） この計算書における△表記は、減少又は欠損を示すものであること。

# 平成29年度埼玉県病院事業貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位 円)

区 分	金 額			
<u>資 産 の 部</u>				
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産				
イ 土 地			15,136,732,737	
ロ 建 物	96,217,841,500			
減 価 償 却 累 計 額	△ 30,276,016,959		65,941,824,541	
ハ 構 築 物	6,405,403,409			
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,805,346,021		3,600,057,388	
ニ 器 械 備 品	26,688,076,658			
減 価 償 却 累 計 額	△ 15,820,755,664		10,867,320,994	
ホ 車 両	62,467,122			
減 価 償 却 累 計 額	△ 45,495,104		16,972,018	
ヘ リ ー ス 資 産	558,583,960			
減 価 償 却 累 計 額	△ 145,968,469		412,615,491	
ト 建 設 仮 勘 定			15,893,130	
チ その他有形固定資産			11,490,000	
有 形 固 定 資 産 合 計			96,002,906,299	
(2) 無 形 固 定 資 産				
イ 電 話 加 入 権			8,492,402	
ロ ソ フ ト ウ ェ ア			1,035,797,523	
ハ その他無形固定資産			1,076,660	
無 形 固 定 資 産 合 計			1,045,366,585	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産				
イ 長 期 前 払 消 費 税			4,359,303,874	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計			4,359,303,874	
固 定 資 産 合 計				101,407,576,758



2	流	動	資	産	
(1)	現	金	預	金	
(2)	未	収	金		
	貸	倒	引	当	金
(3)	貯	蔵	品		
(4)	前	払	費	用	
	流	動	資	産	合
	資	産	合		計

負債の部

3	固	定	負	債	
(1)	企	業	債		
	イ	建	設	改	良
		充	て	る	た
		め	の	企	業
	ロ	そ	の	他	の
		企	業	債	
		債	合		計
(2)	リ	ー	ス	債	務
(3)	引	当	金		
	イ	退	職	給	付
		引	当	金	
		金	合		計
	固	定	負	債	合
					計

4	流	動	負	債	
(1)	企	業	債		
	イ	建	設	改	良
		充	て	る	た
		め	の	企	業
	ロ	そ	の	他	の
		企	業	債	
		債	合		計
(2)	リ	ー	ス	債	務
(3)	未	払	金		
(4)	引	当	金		
	イ	賞	与	引	当
		引	当	金	
		金	合		計
(5)	そ	の	他	流	動
	流	動	負	債	合
					計

		8,005,343,199	
	7,711,428,976		
	△ 234,848,003	7,476,580,973	
		156,784,352	
		11,226,800	
			15,649,935,324
			117,057,512,082
	79,403,206,205		
	45,900,000		
		79,449,106,205	
		341,036,998	
	4,078,648,478		
		4,078,648,478	
			83,868,791,681
	4,347,824,477		
	5,100,000		
		4,352,924,477	
		104,587,716	
		3,495,347,219	
	1,483,892,787		
		1,483,892,787	
		265,393,472	
			9,702,145,671

5	繰延収益				
(1)	受贈財産評価額長期前受金 収益化累計額	184,564,969 △ 76,351,169		108,213,800	
(2)	補助金長期前受金 収益化累計額	197,993,729 △ 4,633,053		193,360,676	
(3)	国庫補助金長期前受金 収益化累計額	2,111,345,178 △ 512,754,630		1,598,590,548	
(4)	他会計補助金長期前受金 収益化累計額	871,587,022 △ 16,561,280		855,025,742	
(5)	他会計負担金長期前受金 収益化累計額	11,778,480,371 △ 9,344,603,143		2,433,877,228	
	繰延収益合計				5,189,067,994
	負債合計				98,760,005,346
<u>資本の部</u>					
6	資本金				29,886,286,582
7	剰余金				
(1)	資本金剰余金				
イ	受贈財産評価額	417,565,948			
ロ	寄附金	750,000			
ハ	国庫補助金	304,182,221			
ニ	その他資本剰余金	4,332,938,359			
	資本剰余金合計			5,055,436,528	
(2)	利益剰余金				
イ	当年度未処理欠損金	16,644,216,374			
	利益剰余金合計			△ 16,644,216,374	
	剰余金合計				△ 11,588,779,846
	資本合計				18,297,506,736
	負債資本合計				117,057,512,082

## 注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ア たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、先入先出法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

定額法によっている。

##### イ 無形固定資産

定額法によっている。

##### ウ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上方法

##### ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

なお、会計基準変更時の差異（5,798,260,803円）については、平成26年度から職員の退職までの平均残余勤務年数（15年）にわたり、均等額を費用処理している。

##### イ 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

##### ウ 貸倒引当金

債権の貸倒れに備えるため、貸倒実績率等により、回収不能見込額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理方法

##### ア 決算報告書については税込処理方式によっている。

##### イ 財務諸表については税抜処理方式によっている。

なお、特定収入をもって賄われた資本的支出に係る控除対象外消費税等については特定収入と相殺し、それ以外の控除対象外消費税等については、収益的支出に係るものは医業外費用とし、資本的支出に係るものは長期前払消費税に計上し、10年間で均等償却を行っている。

(5) 会計上の見積りの変更

ア 貸倒引当金の計上方法の変更

貸倒引当金は、従来、特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上していたが、埼玉県債権の適正な管理に関する条例（平成二十六年三月二十七日条例第四号）の施行から4年が経過し、債権の経過年数別のデータ蓄積及び整備が進んだことを契機に、当年度より、貸倒実績率等を用いて回収不能見込額を計上する方法に変更した。

なお、変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、医業損失、経常損失及び当年度純損失は、それぞれ183,114,092円増加している。

2 キャッシュ・フロー計算書関連

当年度、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、103,890,960円及び112,202,220円である。

3 貸借対照表関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は42,841,812,819円である。

4 セグメント情報の開示

(1) 報告セグメントの概要

病院事業会計は、4病院及び病院局を運営している。運営方針や業績評価等はこれら事業別に行っていることから、4病院及び病院局を報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントの事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
循環器・呼吸器病センター	循環器系及び呼吸器系の疾病に関し必要な医療の提供
がんセンター	悪性新生物の疾病に関し必要な医療の提供
小児医療センター	小児の疾病に関し必要な医療の提供及び小児保健に関する相談、指導等の実施
精神医療センター	精神障害に関し必要な医療の提供
病院局	4病院の経営

## (2) 報告セグメントごとの営業収益等

平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位 千円）

区 分	循環器・呼吸器病 センター	がんセンター	小児医療センター	精神医療センター	病院局	計
医業収益	8,472,744	16,583,006	11,841,730	2,135,062	0	39,032,542
医業費用	11,876,849	19,844,363	17,554,333	3,246,253	502,602	53,024,400
医業損益	△ 3,404,105	△ 3,261,357	△ 5,712,603	△ 1,111,191	△ 502,602	△ 13,991,858
経常損益	△ 1,074,719	△ 866,393	△ 3,056,699	△ 99,176	△ 483,750	△ 5,580,737
セグメント資産	25,651,153	33,792,203	52,789,537	5,181,867	△ 357,248	117,057,512
セグメント負債	16,768,223	27,362,419	51,663,788	2,839,073	126,502	98,760,005
その他の項目						
負担金交付金	2,652,248	2,751,325	2,836,616	941,704	20,594	9,202,487
減価償却費	1,094,207	2,128,558	2,587,143	302,130	785	6,112,823
特別利益	68,215	48,777	82,519	3,115	0	202,626
特別損失	80,148	0	69,251	0	0	149,399
有形固定資産及び 無形固定資産増加額	△ 36,535	△ 2,070,670	△ 1,292,970	△ 275,156	△ 785	△ 3,676,116

## 5 リース契約により使用する固定資産

## (1) リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(2) リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内	27,816,866円
1年超	819,000円
計	28,635,866円

6 その他

(1) 引当金の取崩し

ア 賞与引当金

当年度において、期末・勤勉手当として2,026,135,415円を支給するため、賞与引当金1,381,877,845円を取り崩している。

イ 貸倒引当金

当年度において、不納欠損処分に係るものとして、貸倒引当金5,075,792円を取り崩している。

(2) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは以下の金額である。

短期リース債務	104,587,716円
長期リース債務	341,036,998円
計	445,624,714円

## 平成29年度埼玉県流域下水道事業決算報告書

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支出 額に係る財源充当額	合 計			
第1款 事業収益	円 51,517,825,000	円 △248,795,000	円 0	円 51,269,030,000	円 50,585,737,310	円 △683,292,690	
第1項 営業収益	30,560,418,000	△38,296,000	0	30,522,122,000	30,288,628,858	△233,493,142	(うち仮受消費税及び地方消費税 1,875,005,924円)
第2項 営業外収益	20,957,406,000	△210,499,000	0	20,746,907,000	20,297,108,452	△449,798,548	(うち仮受消費税及び地方消費税 558,860円)
第3項 特別利益	1,000	0	0	1,000	0	△1,000	

#### 支 出

区 分	予 算 額						合 計	決 算 額	地方公営企業 法第26条第2 項の規定によ る繰越額	不 用 額	備 考	
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流 用 増減額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定による 支出額	小 計						
第1款 事業費	円 51,494,508,000	円 △335,808,000	円 0	円 0	円 0	円 51,158,700,000	円 20,021,200	円 51,178,721,200	円 48,946,031,226	円 0	円 2,232,689,974	
第1項 営業費用	49,722,578,000	△158,187,000	0	0	0	49,564,391,000	20,021,200	49,584,412,200	47,472,121,511	0	2,112,290,689	(うち仮払消費税 及び地方消費税 1,728,419,080円)
第2項 営業外費用	1,710,929,000	△177,621,000	0	0	0	1,533,308,000	0	1,533,308,000	1,473,909,715	0	59,398,285	(うち仮払消費税 及び地方消費税 311,304円)
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0	0	1,000	
第4項 予備費	61,000,000	0	0	0	0	61,000,000	0	61,000,000	0	0	61,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額						決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考	
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に 係る財源充当額	継続費通次繰 越額に係る財 源充当額	合 計				
第1款 資本的収入	24,932,067,000	△4,492,841,000	20,439,226,000	13,090,535,447	0	33,529,761,447	22,803,481,302	△10,726,280,145		
第1項 建設補助金	12,081,516,000	△2,597,516,000	9,484,000,000	9,288,454,000	0	18,772,454,000	10,822,133,000	△7,950,321,000	(うち仮受消費税 及び地方消費税 311,886,610円)	
第2項 建設負担金	5,231,883,000	△937,493,000	4,294,390,000	1,081,447	0	4,295,471,447	4,210,470,514	△85,000,933		
第3項 企業債	6,884,000,000	△942,000,000	5,942,000,000	3,801,000,000	0	9,743,000,000	6,876,000,000	△2,867,000,000		
第4項 他会計出資金	630,870,000	0	630,870,000	0	0	630,870,000	807,244,679	176,374,679		
第5項 他会計補助金	103,726,000	△15,832,000	87,894,000	0	0	87,894,000	87,529,253	△364,747		
第6項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	56,001	55,001		(うち仮受消費税 及び地方消費税4,147円)
第7項 雑収入	71,000	0	71,000	0	0	71,000	47,855	△23,145		(うち仮受消費税 及び地方消費税225円)

支 出

区 分	予 算 額							決 算 額	翌年度繰越額			不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続 費通 次繰 越額	合 計		地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	継続 費通 次繰 越額	合 計		
第1款 資本的支出	30,186,566,000	△4,492,841,000	0	25,693,725,000	16,852,977,230	0	42,546,702,230	28,890,594,621	13,291,007,947	0	13,291,007,947	365,099,662	(うち仮払消費税 及び地方消費税 1,549,006,376円)
第1項 建設改良費	22,733,039,000	△4,492,841,000	0	18,240,198,000	16,852,977,230	0	35,093,175,230	21,437,068,002	13,291,007,947	0	13,291,007,947	365,099,281	
第2項 企業債償還金	7,453,527,000	0	0	7,453,527,000	0	0	7,453,527,000	7,453,526,619	0	0	0	381	

資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 2,340,415,921円を除く。）が資本的支出額に不足する額 8,427,529,240円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額434,834,833円、

繰越工事資金3,372,318,757円、減債積立金298,035,689円、建設改良積立金21,037,100円、過年度分損益勘定留保資金683,551,141円及び当年度分損益勘定留保資金3,617,751,720円で補填した。



平成29年度埼玉県流域下水道事業損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

区 分	金	額
1 営業収益		
(1) 維持管理負担金	23,167,797,004	
(2) 他会計補助金	4,968,515,539	
(3) その他営業収益	277,310,391	28,413,622,934
2 営業費用		
(1) 管渠費	600,610,637	
(2) ポンプ場費	2,113,615,350	
(3) 処理場費	18,410,973,473	
(4) 雨水幹線管理費	57,742,547	
(5) 再生水事業管理費	131,930,020	
(6) 総係費	996,445,916	
(7) 減価償却費	23,065,113,490	
(8) 資産減耗費	367,270,998	45,743,702,431
営業損失		17,330,079,497
3 営業外収益		
(1) 受取利息及び配当金	2,056,156	
(2) 他会計補助金	1,264,797,334	
(3) 長期前受金戻入	18,756,868,636	
(4) 雑収益	7,830,566	20,031,552,692
4 営業外費用		
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,473,423,322	
(2) 雑支出	23,178,622	1,496,601,944
経常利益		1,204,871,251
当年度純利益		1,204,871,251
前年度繰越利益剰余金		7,611,018,465
その他未処分利益剰余金変動額		319,072,789
当年度未処分利益剰余金		9,134,962,505

平成29年度埼玉県流域下水道事業剰余金計算書  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金										資本合計
		資本剰余金						利益剰余金				
		国庫補助金	工事負担金	受贈財産 評価額	他会計 補助金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	減債積立金	建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	6,334,711,259	36,923,757,602	12,650,033,146	2,889,661,354	0	15,237,011,647	67,700,463,749	0	0	8,223,434,570	8,223,434,570	82,258,609,578
前年度処分類	293,343,316	0	0	0	0	0	0	298,035,689	21,037,100	△612,416,105	△293,343,316	0
議会の議決による処分類 (資本金)	293,343,316	0	0	0	0	0	0	0	0	△293,343,316	△293,343,316	0
資本金の増加	293,343,316						0			△293,343,316	△293,343,316	0
議会の議決による処分類 (未処分利益剰余金)	0	0	0	0	0	0	0	298,035,689	21,037,100	△319,072,789	0	0
減債積立金の積立							0	298,035,689		△298,035,689	0	0
建設改良積立金の積立							0		21,037,100	△21,037,100	0	0
処分後残高	6,628,054,575	36,923,757,602	12,650,033,146	2,889,661,354	0	15,237,011,647	67,700,463,749	298,035,689	21,037,100	(繰越利益剰余金) 7,611,018,465	7,930,091,254	82,258,609,578
当年度変動額	807,244,679	0	0	0	0	0	0	△298,035,689	△21,037,100	1,523,944,040	1,204,871,251	2,012,115,930
他会計出資金の受入	807,244,679						0				0	807,244,679
減債積立金の使用額							0	△298,035,689		298,035,689	0	0
建設改良積立金の使用額							0		△21,037,100	21,037,100	0	0
当年度純利益							0			1,204,871,251	1,204,871,251	1,204,871,251
当年度末残高	7,435,299,254	36,923,757,602	12,650,033,146	2,889,661,354	0	15,237,011,647	67,700,463,749	0	0	(当年度末処分利益剰余金) 9,134,962,505	9,134,962,505	84,270,725,508

(注) この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものである。

平成29年度埼玉県流域下水道事業剰余金処分計算書(案)

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	7,435,299,254	67,700,463,749	9,134,962,505
議会の議決による処分数額	319,072,789	0	△ 696,706,534
資本金の増加	319,072,789		△ 319,072,789
減債積立金の積立			△ 332,539,145
建設改良積立金の積立			△ 45,094,600
処分後残高	7,754,372,043	67,700,463,749	(繰越利益剰余金) 8,438,255,971

(注)この計算書における△表記は、減少又は欠損を示すものである。

平成29年度埼玉県流域下水道事業貸借対照表  
(平成30年3月31日)

(単位 円)

区 分	金	額
<u>資 産 の 部</u>		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地		65,730,738,028
ロ 建物	47,251,267,302	
減価償却累計額	△ 15,997,505,949	31,253,761,353
ハ 構築物	385,453,309,176	
減価償却累計額	△ 86,361,399,730	299,091,909,446
ニ 機械及び装置	167,109,346,025	
減価償却累計額	△ 83,296,832,828	83,812,513,197
ホ 車両運搬具	67,769,533	
減価償却累計額	△ 43,579,590	24,189,943
ヘ 工具、器具及び備品	166,278,389	
減価償却累計額	△ 81,484,649	84,793,740
ト 建設仮勘定		34,962,387,883
有形固定資産合計		514,960,293,590
(2) 無形固定資産		
イ 地上権		4,980,335
ロ 電話加入権		1,726,700
無形固定資産合計		6,707,035
(3) 投資その他の資産		
イ 出資金		84,370,000
投資その他の資産合計		84,370,000
固定資産合計		515,051,370,625
2 流動資産		
(1) 現金預金		17,977,681,142
(2) 未収金		6,410,036,067
流動資産合計		24,387,717,209
資産合計		539,439,087,834
<u>負 債 の 部</u>		
3 固定負債		
(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		78,554,396,899
企業債合計		78,554,396,899
(2) 引当金		
イ 退職給付引当金		666,774,075

引当金合計		666,774,075	
固定負債合計			79,221,170,974
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	7,280,650,303		
企業債合計		7,280,650,303	
(2) 未払金		6,945,138,850	
(3) 維持管理負担金繰越金		642,050,196	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	84,088,491		
ロ 修繕引当金	3,754,425,100		
引当金合計		3,838,513,591	
(5) その他流動負債		105,213,141	
流動負債合計			18,811,566,081
5 繰延収益			
(1) 国庫補助金長期前受金	365,551,152,286		
収益化累計額	△ 109,316,966,623	256,234,185,663	
(2) 工事負担金長期前受金	132,646,404,096		
収益化累計額	△ 36,797,783,571	95,848,620,525	
(3) 受贈財産評価額長期前受金	6,250,766,846		
収益化累計額	△ 2,261,034,752	3,989,732,094	
(4) 他会計補助金長期前受金	1,378,022,132		
収益化累計額	△ 314,935,143	1,063,086,989	
繰延収益合計			357,135,625,271
負債合計			455,168,362,326
<u>資 本 の 部</u>			
6 資本金			7,435,299,254
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫補助金	36,923,757,602		
ロ 工事負担金	12,650,033,146		
ハ 受贈財産評価額	2,889,661,354		
ニ その他資本剰余金	15,237,011,647		
資本剰余金合計		67,700,463,749	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	9,134,962,505		
利益剰余金合計		9,134,962,505	
剰余金合計			76,835,426,254
資本合計			84,270,725,508
負債資本合計			539,439,087,834

注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ア 有形固定資産  
定額法によっている。
- イ 無形固定資産  
定額法によっている。

(2) 引当金の計上方法

- ア 退職給付引当金  
職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。  
なお、会計基準変更時の差異（1,113,892,992円）については、平成26年度から職員の退職までの平均残余勤務年数（13年）にわたり、均等額を費用処理している。
- イ 修繕引当金  
地方公営企業法施行規則等の一部を改正する省令（平成24年総務省令第6号）附則第4条（引当金に関する経過措置）の規定に基づき、平成25年度末の修繕引当金を引き続き計上している。  
なお、平成25年度までの計上基準は、以下のとおりとなっている。  
あらかじめ定めた予定基準額の全額を計上している。
- ウ 賞与引当金  
職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(3) 消費税等の会計処理方法

- ア 決算報告書については税込処理方式によっている。
- イ 財務諸表については税抜処理方式によっている。  
なお、特定収入をもって賄われた資本的支出に係る控除対象外消費税等については特定収入と相殺し、それ以外の控除対象外消費税等については営業外費用として処理している。

2 キャッシュ・フロー計算書関連

該当事項はない。

3 貸借対照表関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、71,404,229,737円である。

4 セグメント情報の開示

単一の事業を運営しているため、開示すべきセグメント情報はない。

5 リース契約により使用する固定資産

(1) リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内	106,480,364円
1年超	1,846,250,000円
計	1,952,730,364円

6 その他

(1) 引当金の取崩し

ア 退職給付引当金

当年度において、退職手当として 558,195 円を支給するため、退職給付引当金 558,195 円を取り崩している。

イ 賞与引当金

当年度において、期末・勤勉手当として 109,943,957 円を支給するため、賞与引当金 77,102,848 円を取り崩している。

平成29年度

埼玉県歳入歳出決算審査意見書

埼玉県監査委員



# 埼玉県歳入歳出決算

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成29年度埼玉県歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）

### 2 審査の期間

平成30年8月6日から平成30年9月13日まで

### 3 審査の方法

平成29年度埼玉県歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）の審査に当たっては、決算計数に誤りはないか、予算の執行は関係法令及び予算議決の趣旨に沿って、適正かつ効率的に執行されたか、収入及び支出の事務並びに財産の取得、管理及び処分は、適正に処理されたか等について慎重に審査した。

## 第2 審査の結果

### 1 審査意見

平成29年度埼玉県歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）については、決算書及び同附属書類並びに関係諸帳簿及び証拠書類等を照合審査した結果、符合していることを確認した。

また、予算の執行等に当たっては、関係法令及び予算議決の趣旨に沿って、おおむね適正に行われているものと認めた。

なお、次のとおり一部に留意又は改善を要する事項が認められた。

## 2 留意又は改善を要する事項

平成29年度の一般会計の決算額は、歳入総額及び歳出総額ともに、前年度比1.6%増加し、平成10年度、11年度に次ぐ過去3番目に大きい規模である。財政指標である実質公債費比率及び経常収支比率はそれぞれ0.1ポイント改善した。

平成29年度は、教職員給与費等の負担事務のさいたま市への移譲が歳入歳出構成に影響を与え、前年度に比べて、歳入では地方交付税及び国庫支出金の減少となり、歳出では教育費の減少及び諸支出金の増加となった。

自主財源は3年連続して6割を維持し、歳入全体の4割超を占める県税収入は7,845億余円で6年連続して増加した。納税率は97.8%と7年連続で上昇し、税務統計上(昭和29年度～)で最高記録を2年連続して更新した。

県税の収入未済額は148億余円で前年度比35億余円減少し、この4年間で135億余円圧縮した。収入未済額の約9割を占める個人県民税の徴収については、大規模市を中心にさらに効果的な支援を行うとともに、県が地方税法第48条に基づく直接徴収などの直接関与を行い納税率の向上を図られたい。また、個人県民税以外の県税については、県税事務所の各部門が一体となって早期に滞納整理に着手するとともに、滞納抑止効果を生む側面もある滞納処分の強化に引き続き積極的に取り組まれたい。

県債発行額は、前年度に比べて225億余円増加し、臨時財政対策債・減収補填債を含めた県債残高は、前年度より220億余円増加した。県民一人当たり約51万9千円である。しかし、県で発行をコントロールできる県債残高は15年連続で減少した。今後も持続可能な財政運営のため、県債の発行と残高の適正な管理に努められたい。また、臨時財政対策債については、関係自治体と連携して国に対して廃止を引き続き働きかけていく必要がある。

財政調整のための基金は、平成22年度から平成27年度まで900億円台を維持していたが、2年連続して減少して平成29年度末には770億余円となった。財政調整3基金は、予算編成上重要な役割を持つため残高の維持に努められたい。

すべての地方公共団体に対して平成29年度までに複式簿記の導入と固定資産台帳の整備を前提とした「統一的な基準」による財務諸表の作成を総務大臣から要請された。このため、県は平成28年度決算分を平成30年3月に公表した。団体間比較や経年比較を行うことで更なる分析が可能となるため、公表を継続し、県民にわかりやすく説明する努力をされたい。また、平成28年度決算分が公表されたのは、平成29年度末であるが、予算編成など財政運営への活用に向けて、より早期に財務諸表を作成・公表されたい。なお、資産には道路のように処分できない資産と処分できる資産があるので、丁寧に検討して処分の可否を区分して固定資産台帳を作成・公表する努力をされたい。

平成31年(2019年)のラグビーワールドカップ2019、平成32年(2020年)の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が県内の会場で開催予定であることから、これを契機として熊谷ラグビー場などの県有施設の整備が行われている。県有施設は次世代に引き継がれるものであることから、これらの大会後もさらに利用が活発となるようその後の活用を視野に入れ、県民の誇りとなるように整備をされたい。

[説明]

(1) 本県の財政の状況

平成29年度一般会計の決算額は、歳入1兆8,377億余円、歳出1兆8,294億余円だった。歳入・歳出は前年度に比べ増加し、平成10年度、11年度に次ぐ過去3番目に大きい規模となった。形式収支は82億余円の黒字となり、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源37億余円を差し引いた実質収支も45億余円の黒字となった。

歳入総額は、納税義務者が増加したことなどによる個人県民税の増収などにより県税収入が6年連続で増加したことや、地方消費税の清算基準が見直されたことなどにより地方消費税清算金などが増加したことにより、前年度比294億余円(1.6%)の増加となった。

県債は、前年度比225億余円(9.8%)増の2,523億余円を発行し、県債残高は前年度比220億余円増の3兆8,239億余円となった。

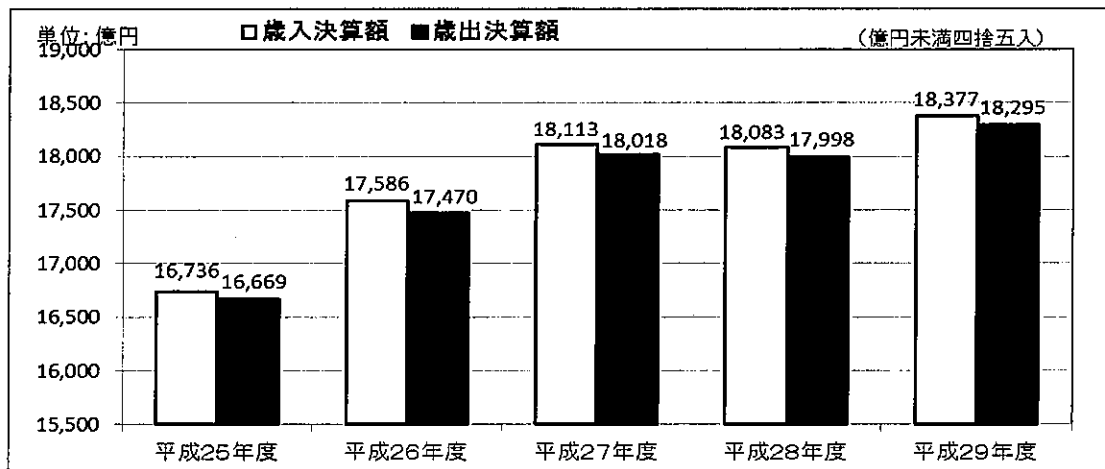
歳出総額は、教職員給与費等の負担事務を平成29年度に政令市であるさいたま市へ移譲した影響などにより教育費等の減少があったものの、民生費、土木費、諸支出金等の増加があり、前年度比296億余円(1.6%)の増加であった。

性質別では、扶助費等が増加したものの上述のさいたま市への事務の移譲により教職員の人件費が減少したため義務的経費が前年度比366億余円(4.0%)減少した。投資的経費は前年度比102億余円(7.3%)増加した。

なお、教職員給与費等の負担事務のさいたま市への移譲の影響は、歳入においては地方交付税及び国庫支出金の減少となった。事務の権限移譲に伴う税源移譲(さいたま市に住所を有する者の個人住民税所得割の市分割合の増加)が平成30年度から行われることから、平成29年度は県民税所得割指定都市交付金がさいたま市に交付されたため、歳出における諸支出金の増加となった。

財政指標は、実質公債費比率は11.7%で前年度より0.1ポイント改善し、經常収支比率も96.8%と0.1ポイント改善したが、依然として財政の硬直化の進行が懸念される。

歳入決算額・歳出決算額の推移



## (2) 県税収入の確保

平成29年度決算における自主財源の比率は3年連続で上昇し6割を維持した。自主財源のうち最も額が大きいのは県税で、歳入全体の4割超を占めている。

県税収入は7,845億余円で、6年連続して増加した。その主要な要因は、納税義務者の増加や株価上昇基調により株式売却益が増加したことなどによる個人県民税の増収などによるものである。

県税全体の納税率は、97.8%（前年度比+0.4ポイント）となり、7年連続で上昇した。これは税務統計上（昭和29年度～）で最高記録を2年連続して更新したことになる。納税率を個人県民税（均等割・所得割）とそれ以外の税目で見ると個人県民税（均等割・所得割）は95.1%（前年度比+0.9ポイント）であるが、それ以外の税目は99.6%（前年度比+0.1ポイント）と差があるものの双方とも過去最高となった。

県の納税率は、県税収入に占める個人住民税の構成比が大きいことから、8年連続で全国最下位であったが、6年連続で納税率のアップ率ベスト10に入り、平成29年度は順位を一つ上げ46位となった。「行財政改革プログラム2017-2019」では、早期に全国順位を30番台とすることを目標としていることから、さらなる取組が必要である。

県は、個人県民税の納税率向上のため、徹底した徴収対策と市町村職員の徴収スキル向上への取組を行っている。地方税法で原則とされている特別徴収は、長年徹底されていなかったが、平成27年度に個人住民税の給与からの特別徴収を徹底する「特別徴収全県一斉指定」を実施し、特別徴収義務者の割合は、平成29年度に82.8%、前年比1.2ポイントの増加となった。

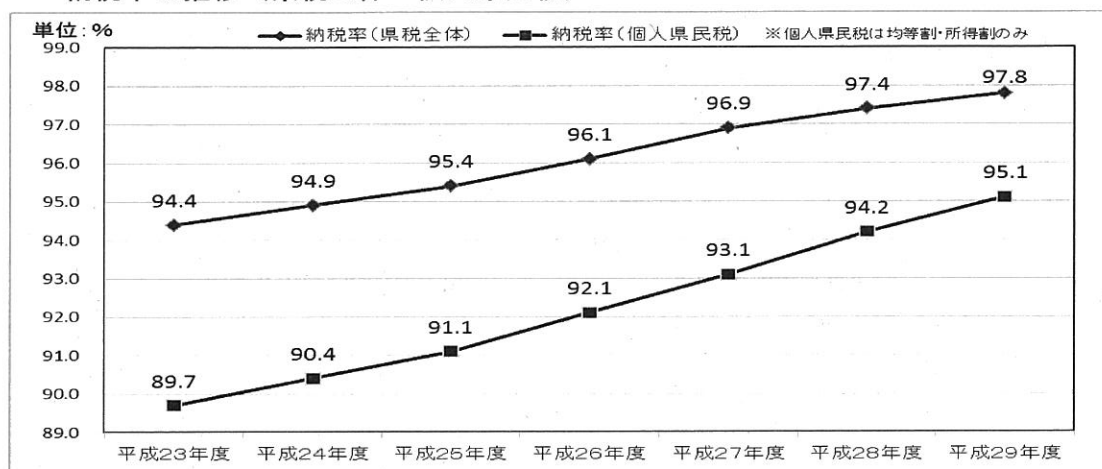
平成29年度における県税の収入未済額は、148億余円と、前年度よりも35億余円減少した。平成25年度の県税の収入未済額は283億余円であったので、この4年間で135億余円を圧縮した。

個人県民税は、個人市町村民税と併せて市町村が徴収している。徴収対策では、平成29年度は、県職員を収入未済額の大きい川口市など3市に派遣して当該市職員とチームを編成して高額滞納事案を中心に集中的に滞納整理を実施し、約25.5億円を取り扱い、整理率は68.1%で前年度比13.4ポイントの増であった。また、困難事案を有する51市町から地方税法第48条に基づき1,232軒、約11.6億円（前年度比+22.1%）を県が引き受け、約5.6億円（前年度比+41.5%）を徴収し、それを含めた約9.8億円（前年度比+27.6%）を整理した。これは、県職員と18市町から受け入れた実務研修職員20人による差押え、搜索、不動産公売などを実施した結果である。個人県民税の収入未済額は、平成25年度の246億余円に対して、平成29年度は131億余円と大幅に減少した。個人県民税の徴収については、納税率が低い大規模市を中心に効果的な支援を行うとともに県が直接徴収するなど直接関与して納税率の向上を図りたい。

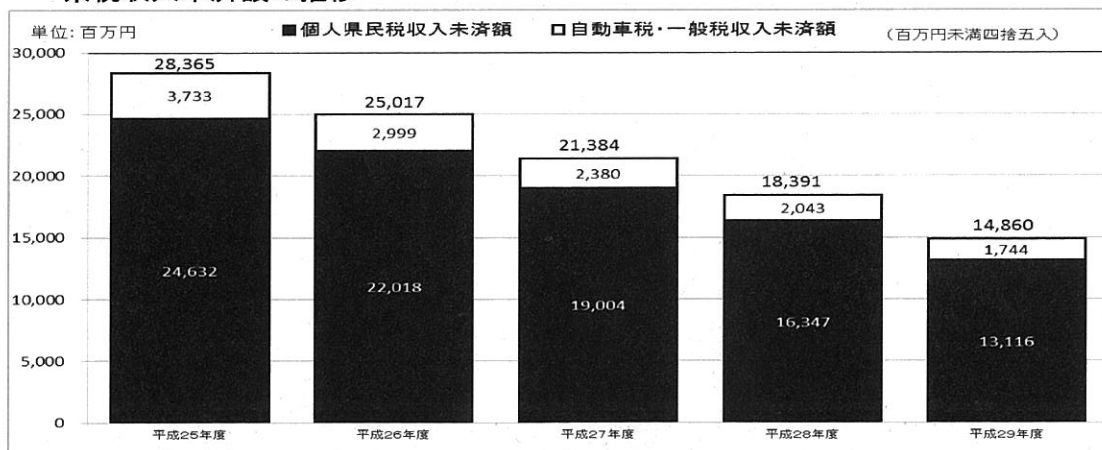
自動車税については、納期内に納税して領収書等を協賛店で提示するとキャンペーン期間中にガソリンの割引、粗品の進呈などの特典が受けられる「納めてプラス！」

キャンペーンを実施するなどの取組を行い、納期内納税率は 79.9%と過去最高であった。自動車税及び一般税の徴収対策では、現年度課税の段階からの積極的な滞納整理や高額滞納事案の早期完結のために、課税部門と納税部門との連携による効果的な催告や早期の財産調査及び差押えによって、滞納整理のスピードアップを図っている。県税事務所の各部門が一体となって早期に滞納整理に着手するとともに、滞納抑止効果を生む側面もある滞納処分の強化に引き続き積極的に取り組まれない。

### 納税率の推移（県税全体・個人県民税）



### 県税収入未済額の推移



### (3) 持続可能な財政運営のために

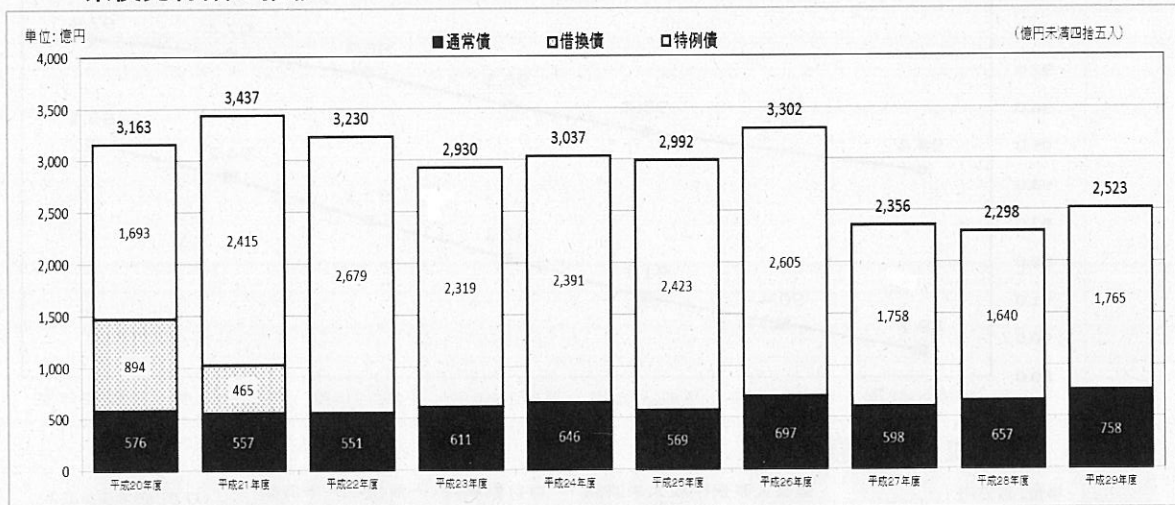
平成29年度の県債発行額は、2,523億余円で、前年度に比べて225億余円(9.8%)増加し、県債残高は平成29年度末時点で3兆8,239億余円となり、220億余円(0.6%)増加した。県債残高は、県民一人当たり約51万9千円に相当する額である。

このうち県でコントロール可能な県債の残高は、平成29年度末で2兆139億余円と、前年度比で493億余円(2.4%)の減となり、15年連続で減少している。「行財政改革プログラム2017-2019」では、県で発行をコントロールすることのできる県債の残高を平成28年度決算時と比較し平成31年度決算時に維持若しくは減少させるという目標を設定しており、今後も目標達成に向け県債の発行及び残高については、適正な管理に努められたい。

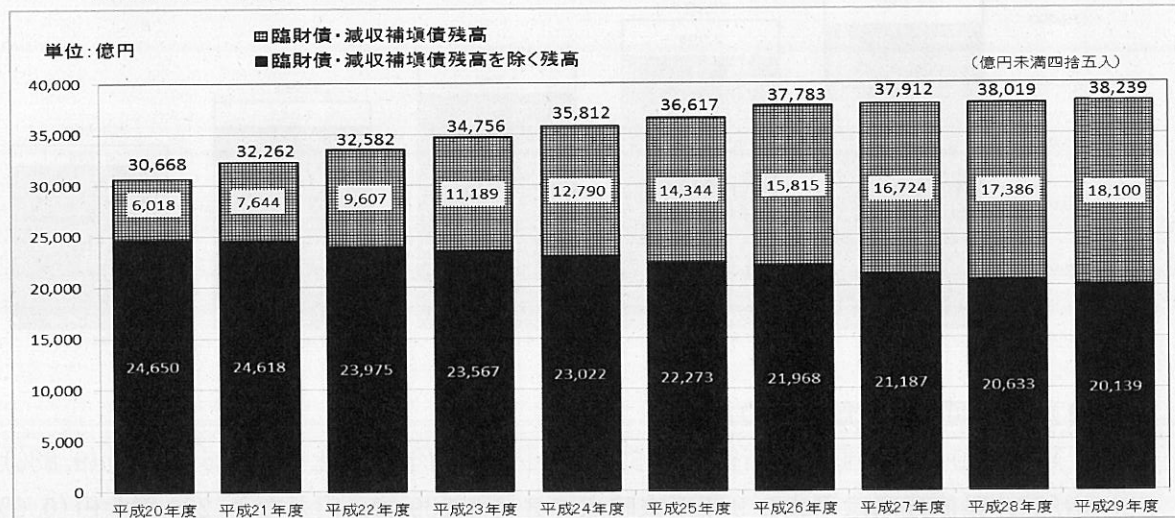
一方で県によるコントロールができない臨時財政対策債・減収補填債の平成29年度末残高は1兆8,099億余円と、平成20年度に比べて約3.0倍となった。

臨時財政対策債は、地方の財源不足を国・地方折半の借金で補填するためなどの地方債で、後年度に交付税措置がされることになっている。しかしながら、県債残高の増加は、経済情勢が大きく変動した場合のリスク要因になりかねない。財政基盤を強化するためにも、関係自治体と連携し、臨時財政対策債の廃止について、引き続き国へ働きかけていただきたい。

### 県債発行額の推移



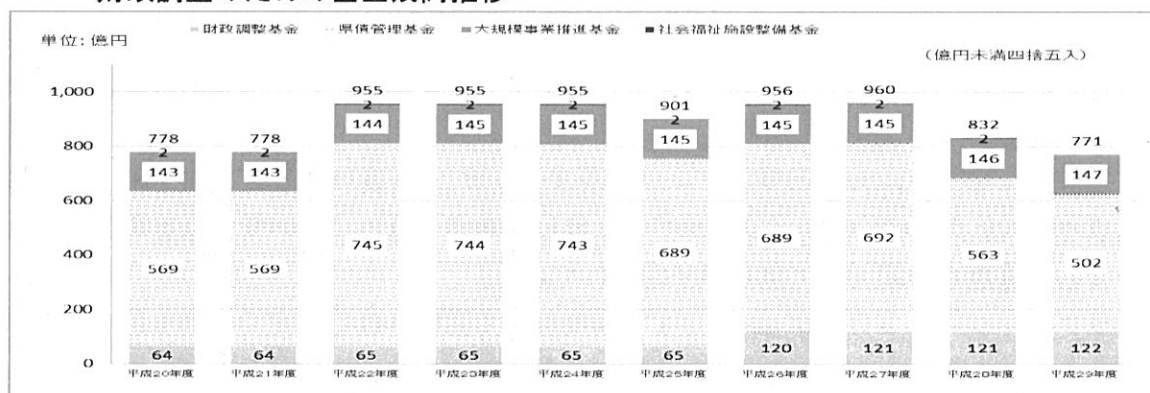
### 県債残高の推移



財政調整のための基金である財政調整基金、県債管理基金、大規模事業推進基金及び社会福祉施設整備基金（平成28年度末廃止）の残高は、平成22年度から平成27年度まで900億円台を維持してきたが、平成28年度に132億余円、平成29年度に63億余円取り崩しが行われ、平成29年度末には770億余円となった。財政調整3基金は、予算編成上重要な役割をもつため残高の維持に努められたい。また、財政調整3基金の外にも財政上特に必要と認めるときは、目的を妨げない範囲で取り崩すことができるのでその活用も必要である。



## 財政調整のための基金残高推移



※県債管理基金には、満期一括償還方式による県債の積立額は含んでいない。

※大規模事業推進基金には、地域活性化・公共投資臨時交付金及びさいたまスーパーアリーナの管理に関する年度別協定書に基づく負担金の積立額は含んでいない。

### (4) 統一的な基準による財務書類等の活用

県では、県民に財務状況を分かりやすく知らせるために、平成20年度決算分から総務省方式改訂モデルによる財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書）を作成・公表してきた。その後、平成29年度までにすべての地方公共団体に対して複式簿記の導入と固定資産台帳の整備を前提とした「統一的な基準」による財務書類の作成を総務大臣から要請された。

県は、平成30年3月に平成28年度決算分について「統一的な基準」による財務諸表を公表した。この特色は、①発生主義（資産の異動や費用が発生した事実に基づいて記録され、現金支出を伴わないコストが把握できる。）、②複式簿記（土地や建物等の現金以外の資産や借入金等の負債などのストック情報を把握できる。）、③固定資産台帳の整備（庁舎や道路などの有形固定資産に加え、特許権やソフトウェアなどの無形固定資産といったあらゆる資産について、取得価格・耐用年数等のデータが記載される。）、④比較可能性の確保（すべての地方公共団体で統一的な基準により作成されるため団体間比較ができる。）である。

一般会計等の貸借対照表によれば、資産合計は約5兆2,314億円（県民一人当たり約71万2,000円※）、負債合計は約5兆1,013億円（県民一人当たり約69万5,000円※）、純資産合計は約1,301億円（県民一人当たり約1万8,000円※）である。また、財務書類4表を活用して、①社会資本形成の世代間負担比率や②これまでに形成された資産が歳入の何年分に相当するかを見る資産形成規模、③資産の老朽化度などの分析を行った。

※平成29年1月1日現在の住民基本台帳人口により算出

今後は、団体間比較や経年比較を行うことで更なる分析が可能となるため、公表を継続するとともに、県民に対する説明責任をより適切に果たすためさらにわかりやすく説明する努力をされたい。

また、平成28年度決算分が公表されたのは、平成29年度末であるが、予算編成など財政運営への活用に向けて、より早期に財務諸表を作成・公表されたい。

固定資産台帳については、資産には道路のように処分できない資産と処分できる資産があるので、丁寧に検討して処分の可否を区分して作成・公表する努力をされたい。

#### (5) オリンピック・パラリンピックなどの国際大会を契機とした県有施設の整備について

平成31年(2019年)のラグビーワールドカップ2019及び平成32年(2020年)の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、県内においても県有施設3施設を含む5施設を会場として開催が予定されている。

ラグビーワールドカップ2019は12開催都市で開催される予定で、埼玉県・熊谷市もその一つとなった。試合会場となる熊谷スポーツ文化公園の熊谷ラグビー場はこの大会に向けて、平成28年度から平成30年度の事業期間で常設約24,000席のスタンド改修や大型映像装置、夜間照明設備の整備が行われている。東京2020オリンピック競技大会でバスケットボールの会場となるさいたまスーパーアリーナでは、トイレの洋式化が計画され、サッカーの会場となる埼玉スタジアム2002では、カフェテリアの設置や日除け設置工事などが計画され、工事が進められている。

また、会場となる3施設だけでなく、これらの大会を契機として埼玉の魅力を発信するために、県有施設のおもてなし環境の整備が進められている。県の文化施設である県立美術館・博物館では埼玉の魅力を発信とともに郷土や我が国の歴史・文化を誇りに思う心を醸成するために、展示や体験プログラムのための資料や施設の整備を行った。県営公園についてもラグビーワールドカップ2019の会場となる熊谷スポーツ文化公園のラグビー場までの観客動線に樹高10mの高木を植栽して木かげを創出するなどの事業に加え、平成30年度には、県営公園のトイレを洋式に改修し、平成32年度までに洋式化率を56%から約90%にする予定である。

おもてなし環境整備の中で重要な公衆Wi-Fi整備は、観光、防災及び施設利用サービス等の観点からも整備が求められる。平成29年度末までに図書館やげんきプラザなど8か所の県有施設で整備され、平成30年度には県庁舎や秩父高原牧場など5施設で整備が計画されている。オリンピックの会場となる埼玉スタジアム2002でも整備を計画している。

また、施設周辺の案内表示や施設内の説明表示などの多言語化もさいたまスーパーアリーナや美術館・博物館などで進められている。

これらの整備は、国内外からの来訪者に対するおもてなし向上のためだけでなく、日本語を母語としない県民に開かれた施設であることを示すものであり、県有施設の利用環境の向上に寄与する。

オリンピック等の大会を契機として整備される県有施設は次世代に引き継がれるものであることから、県民の誇りとなるように整備を進めていただきたい。

また、これらの施設が大会後もさらに利用が活発となるよう、その後の活用を視野に入れた整備をされたい。



### 第3 決算の状況等

#### 1 財政収支等全般

##### (1) 歳入歳出の概況について

###### ア 一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の状況

平成29年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算は、次のとおりである。

(表1)

(単位：円)

区 分	予算現額	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	予算現額に対する比率	
					歳入総額	歳出総額
一般会計	1,898,391,892,261	1,837,743,270,830	1,829,493,785,684	8,249,485,146	96.8%	96.4%
特別会計	618,152,284,990	615,911,769,313	610,141,990,867	5,769,778,446	99.6%	98.7%
合 計	2,516,544,177,251	2,453,655,040,143	2,439,635,776,551	14,019,263,592	97.5%	96.9%

一般会計の歳入総額は1兆8,377億4,327万余円で、予算現額に対する比率は96.8%となっており、歳出総額は1兆8,294億9,378万余円で、予算現額に対する比率は96.4%となっている。

また、歳入歳出差引額は、82億4,948万余円となっている。

特別会計の歳入総額は6,159億1,176万余円で、予算現額に対する比率は99.6%となっており、歳出総額は6,101億4,199万余円で、予算現額に対する比率は98.7%となっている。

また、歳入歳出差引額は、57億6,977万余円となっている。

##### イ 前年度との比較

次に、一般会計及び特別会計の決算を前年度と比べると、表2のとおりである。

一般会計及び特別会計の合計額は、前年度に比べて歳入総額で3億5,927万余円(0.0%)、歳出総額で4億3,481万余円(0.0%)の増加となっている。

これを会計別に見ると、前年度に比べて、一般会計は、歳入総額で294億959万余円(1.6%)、歳出総額で296億6,975万余円(1.6%)増加し、特別会計は、歳入総額で290億5,032万余円(4.5%)、歳出総額で292億3,494万余円(4.6%)の減少となっている。

実質収支額は、一般会計は45億4,890万余円の黒字、特別会計は55億8,227万余円の黒字となっている。

単年度収支額については、一般会計は2億7,552万余円の黒字、特別会計は2億2,328万余円の黒字となっている。

(表2)

(単位:円)

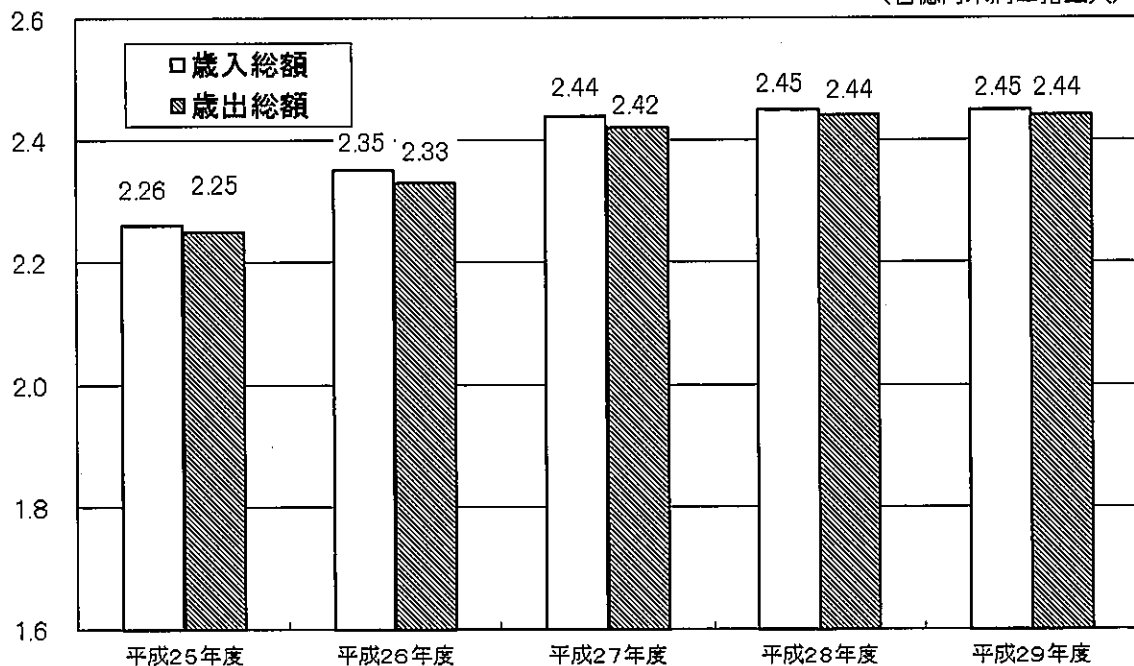
区 分		予算現額 A	歳入総額 B	歳出総額 C	歳入歳出差引額 B-C=D	翌年度へ繰り 越すべき財源 E	実質収支額 D-E=F
一般 会計	平成29年度	1,898,391,892,261	1,837,743,270,830	1,829,493,785,684	8,249,485,146	3,700,584,941	4,548,900,205
	平成28年度	1,865,967,522,482	1,808,333,672,892	1,799,824,028,356	8,509,644,536	4,236,265,221	4,273,379,315
	比較増減	32,424,369,779 1.7%	29,409,597,938 1.6%	29,669,757,328 1.6%	△260,159,390 △3.1%	△535,680,280 △12.6%	275,520,890 ※ 6.4%
特別 会計	平成29年度	618,152,284,990	615,911,769,313	610,141,990,867	5,769,778,446	187,506,764	5,582,271,682
	平成28年度	648,579,708,430	644,962,095,928	639,376,930,870	5,585,165,058	226,177,990	5,358,987,068
	比較増減	△30,427,423,440 △4.7%	△29,050,326,615 △4.5%	△29,234,940,003 △4.6%	184,613,388 3.3%	△38,671,226 △17.1%	223,284,614 ※ 4.2%
合 計	平成29年度	2,516,544,177,251	2,453,655,040,143	2,439,635,776,551	14,019,263,592	3,888,091,705	10,131,171,887
	平成28年度	2,514,547,230,912	2,453,295,768,820	2,439,200,959,226	14,094,809,594	4,462,443,211	9,632,366,383
	比較増減	1,996,946,339 0.1%	359,271,323 0.0%	434,817,325 0.0%	△75,546,002 △0.5%	△574,351,506 △12.9%	498,805,504 ※ 5.2%

(注) ※印は単年度収支額を表す。

## 一般・特別会計合計決算額の推移

単位:兆円

(百億円未満四捨五入)



## (2) 主要な財政指標について

### ア 普通会計における決算収支

健全な財政運営の要件は、収支の均衡を保持しながら経済変動や県民要望に対応し得る弾力性を持つことである。本県の普通会計の決算における財政構造の弾力性等については以下のとおりである。

普通会計における歳入歳出決算額は、表3のとおりであり、歳入総額が1兆7,531億9,694万余円、歳出総額が1兆7,436億2,296万余円となっている。前年度に比べて歳入総額が311億2,114万余円、歳出総額が314億4,550万余円増加し、対前年度増減率は、歳入が1.8%、歳出が1.8%となっている。

(表3)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減 額	増減率 (%)
歳入総額 ①	1,753,196,941	1,722,075,796	31,121,145	1.8
歳出総額 ②	1,743,622,960	1,712,177,456	31,445,504	1.8
形式収支 ③=①-②	9,573,981	9,898,340	△324,359	△3.3

※ 普通会計とは、財政運営の指針などに用いられる財政統計上の会計であり、埼玉県においては、一般会計と11の特別会計（埼玉県公債費特別会計、埼玉县市町村振興事業特別会計、埼玉県災害救助事業特別会計、埼玉県母子父子寡婦福祉資金特別会計、埼玉県中小企業高度化資金特別会計、埼玉県就農支援資金貸付事業特別会計、埼玉県林業・木材産業改善資金特別会計、本多静六博士育英事業特別会計、埼玉県用地事業特別会計、埼玉県県営住宅事業特別会計、埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計）が対象である。

金額については、団体間比較や時系列分析ができるように、一般会計及び11特別会計から、会計間、歳入歳出間及び年度間の重複分を控除しており、全自治体に共通する統一的な会計区分となっている。

### イ 財政指標の推移

普通会計における財政力の動向、財政構造の弾力性を判断する主要な財政指標の年度別推移は表4のとおりである。

#### (ア) 財政力指数

地方公共団体の財政力の強弱を示す指標として用いられるもので、普通交付税の算定に用いられる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3か年の平均値をいう。この指数が1以上の地方公共団体は、通常、普通交付税の不交付団体となる。

平成29年度は、0.76610で、前年度よりも0.00017ポイント上昇した。

(イ) 経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標の一つとして用いられるもので、経常的な経費に充当された一般財源の額が経常的に収入される一般財源総額に占める割合をいう。

人件費、扶助費、公債費等の義務的政策の経常経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、この数値が高いほど財政が硬直化していることになる。

平成29年度は、96.8%で、前年度に比べて0.1ポイント低下した。

(ウ) 実質公債費比率

財政構造の健全性を示す指標の一つとして用いられるもので、地方債を借り入れた際、定められた条件に従って、毎年度元金の償還及び利子の支払いが必要となるが、これに要する経費の総額を公債費といい、この公債費の標準財政規模に占める割合をいう。元利償還金には、公営企業が支払う元利償還金への一般会計からの繰出金、PFIや一部事務組合等の公債費類似経費が含まれる。

平成29年度は、11.7%で、前年度に比べて0.1ポイント低下した。

(エ) 人件費比率

経常収支比率の中の人件費の占める比率、すなわち、経常一般財源収入がどの程度、経常的な人件費に使われたかを示す割合をいうが、この数値が高いほど財政運営が硬直化していることになる。

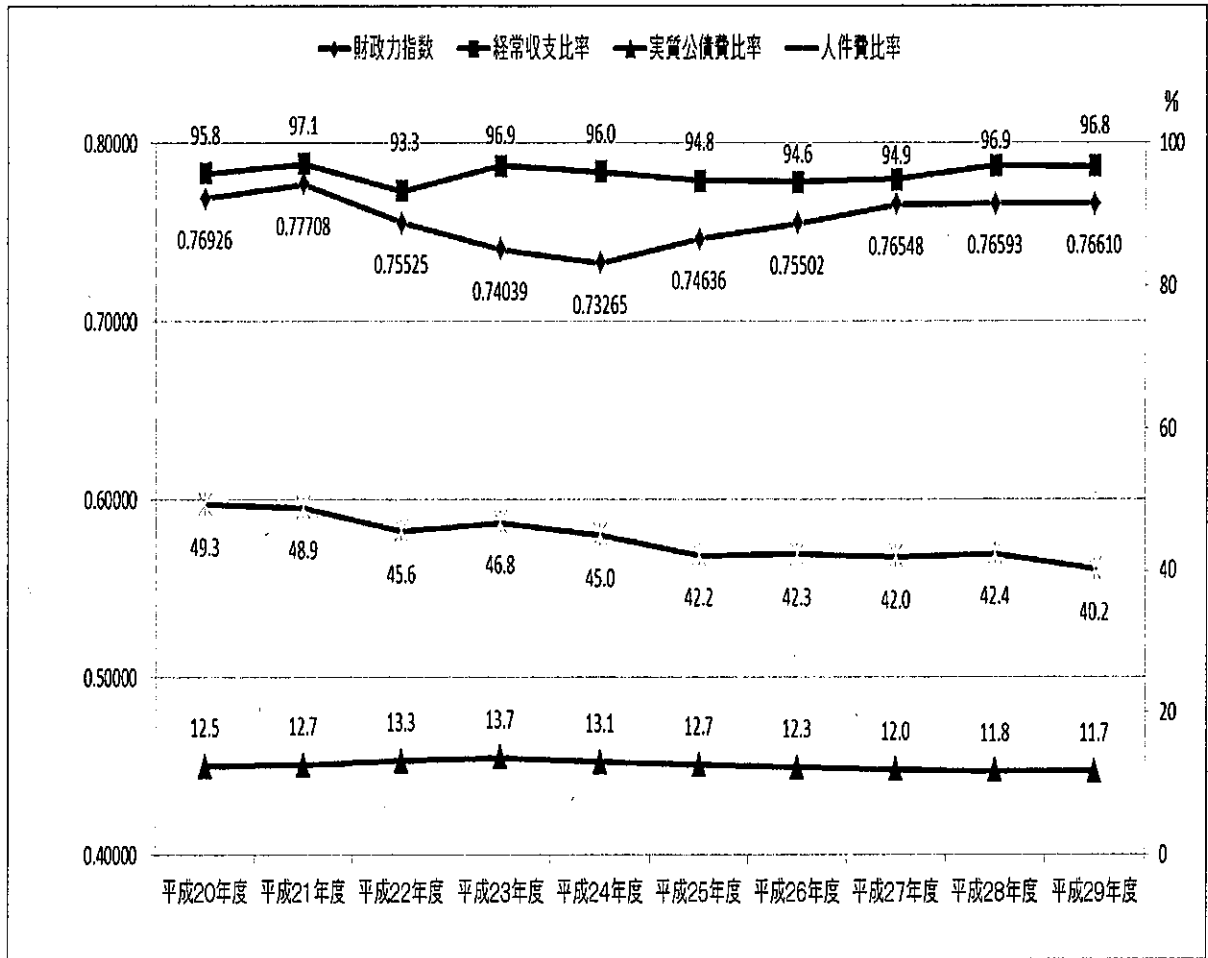
平成29年度は、40.2%で、前年度に比べて2.2ポイント低下した。

(表4)

(単位：%、財政力指数を除く。)

区 分	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率	人件費比率
平成20年度	0.76926	95.8	12.5	49.3
平成21年度	0.77708	97.1	12.7	48.9
平成22年度	0.75525	93.3	13.3	45.6
平成23年度	0.74039	96.9	13.7	46.8
平成24年度	0.73265	96.0	13.1	45.0
平成25年度	0.74636	94.8	12.7	42.2
平成26年度	0.75502	94.6	12.3	42.3
平成27年度	0.76548	94.9	12.0	42.0
平成28年度	0.76593	96.9	11.8	42.4
平成29年度	0.76610	96.8	11.7	40.2

### 主要な財政指標の年度別推移



### (3) 資金の運用（管理）状況について

平成29年度の一般会計及び特別会計の歳入総額は、2兆4,536億5,504万余円、歳出総額は、2兆4,396億3,577万余円で、差引き140億1,926万余円の収入超過となっている。（表1）

平成29年度の資金の運用状況を見ると、歳計現金及び歳入歳出外現金の運用益は975万余円で、運用額は増加し、運用利回りも上昇したため、前年度に比べ369万余円の増加となった。また、一括運用を行う基金の運用益は38億5,761万余円で、県債管理基金などの増加に伴い運用額は増加したものの、金利の低下により運用利回りは低下したため、前年度に比べ1億285万余円の減少となった。

なお、平成29年度は、一時的な支払資金不足を補うための一時借入れや基金からの繰替使用は行われなかった。

(4) 財産の管理について

平成29年度末における公有財産、物品、債権及び基金の現在高は、表5のとおりである。

公有財産、物品、債権及び基金の現在高

(表5)

区 分		平成29年度末現在高	平成28年度末現在高	比較増減高	
公 有 財 産	土 地	70,151,818.05 m <sup>2</sup>	70,150,716.88 m <sup>2</sup>	1,101.17 m <sup>2</sup>	
	建 物	6,141,317.81 m <sup>2</sup>	6,170,687.50 m <sup>2</sup>	△29,369.69 m <sup>2</sup>	
	山 林	面 積	9,082.51 ha	9,082.51 ha	0 ha
		立木の推定 蓄積量	754,763.26 m <sup>3</sup>	754,763.26 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	動 産	3 件	3 件	0 件	
	物 権	56,150,151.56 m <sup>2</sup>	56,150,151.56 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
	無 体 財 産 権	75 件	73 件	2 件	
	有 価 証 券	288,500 千円	288,500 千円	0 千円	
	出資による権利	188,360,330 千円	188,383,214 千円	△22,884 千円	
	物 品		10,879 件	10,812 件	67 件
債 権		78,361,180 千円	83,847,187 千円	△5,486,007 千円	
基 金	動 産	0 件	0 件	0 件	
	有 価 証 券	586,755,631 千円	558,425,315 千円	28,330,316 千円	
	債 権	50,838,508 千円	50,565,954 千円	272,554 千円	
現 金		371,200,853 千円	360,395,623 千円	10,805,230 千円	

平成29年度中に増減のあった主な公有財産のうち、土地の増加については、かんがい排水事業（川島南部地区）用地の寄附採納や、大学附属病院等整備予定地の取得などによるものである。

建物の減少については、旧玉川工業高等学校校舎の売払いや、朝霞警察署建設予定地の建物解体などによるものである。

債権の減少は、埼玉高速鉄道線整備事業費貸付金や常磐新線建設資金貸付金の償還などによるものである。

## 2 一般会計

### (1) 決算の特徴

平成29年度の一般会計決算の主な特徴は、次のとおりである。

#### ア 歳入・歳出総額

歳入総額は、県税や地方消費税清算金が増加したことなどにより、前年度に比べて294億余円(1.6%)、歳出総額は、民生費、土木費、諸支出金が増加したことなどにより、296億余円(1.6%)増加し、平成10年度、11年度に次ぐ過去3番目に大きい規模となった。

#### イ 県税収入

県税収入は、前年度に比べて144億余円(1.9%)増加した。これは、個人県民税が納税義務者の増加や株式売却益の増加などによって増加したことなどによる。

歳入総額に占める県税収入の割合は、42.7%で、前年度から0.1ポイント上昇した。

#### ウ 県債収入

県債収入は、臨時財政対策債の増加などにより、前年度に比べて225億余円(9.8%)増加した。

なお、県債残高は3兆8,239億余円で、前年度に比べて220億余円(0.6%)増加しているが、臨時財政対策債・減収補填債を除いた県債残高は15年連続で減少している。

(表6) 県債発行額及び年度末残高の推移 (単位：億円)

年 度	県債発行額	年度末残高	うち臨財債等を除く残高
平成20年度	3,163	30,668	24,650
平成21年度	3,437	32,262	24,618
平成22年度	3,230	33,582	23,975
平成23年度	2,930	34,756	23,567
平成24年度	3,037	35,812	23,022
平成25年度	2,992	36,617	22,273
平成26年度	3,302	37,783	21,968
平成27年度	2,356	37,912	21,187
平成28年度	2,298	38,019	20,633
平成29年度	2,523	38,239	20,139

(億円未満四捨五入)

## (2) 歳入の状況

平成29年度一般会計歳入決算の状況は、次のとおりである。

(表7)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額
	円	円	円	円
県 税	780,600,000,000	802,158,351,308	784,504,123,665	2,793,856,036
地方消費税清算金	219,245,000,000	219,245,985,429	219,245,985,429	0
地方譲与税	97,838,000,000	97,944,795,000	97,944,795,000	0
地方特例交付金	3,633,550,000	3,633,550,000	3,633,550,000	0
地方交付税	204,750,088,000	204,551,448,000	204,551,448,000	0
交通安全対策特別交付金	1,751,000,000	1,764,197,000	1,764,197,000	0
分担金及び負担金	2,833,284,486	2,946,835,596	2,773,831,817	3,706,896
使用料及び手数料	28,679,991,000	28,131,491,285	28,121,218,092	2,105,710
国庫支出金	175,755,689,508	161,383,344,409	161,383,344,409	0
財産収入	8,537,526,000	8,264,560,948	8,261,341,059	0
寄附金	125,858,000	113,453,882	113,453,882	0
繰入金	31,767,467,000	24,979,045,277	24,979,045,277	0
繰越金	8,509,644,221	8,509,644,536	8,509,644,536	0
諸収入	42,036,794,046	41,227,993,298	39,642,292,664	68,727,955
県 債	292,328,000,000	252,315,000,000	252,315,000,000	0
歳入合計	1,898,391,892,261	1,857,169,695,968	1,837,743,270,830	2,868,396,597



収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較	収入済額 の構成比	予算現額 に対する 収入率	調定額に 対する 収入率	前年度収入済額	収入済額の前年度対比	
						増減額	増減率
円	円	%	%	%	円	円	%
14,860,371,607	3,904,123,665	42.7	100.5	97.8	770,022,377,590	14,481,746,075	1.9
0	985,429	11.9	100.0	100.0	205,486,094,708	13,759,890,721	6.7
0	106,795,000	5.3	100.1	100.0	94,343,035,000	3,601,760,000	3.8
0	0	0.2	100.0	100.0	3,708,695,000	△ 75,145,000	△ 2.0
0	△ 198,640,000	11.1	99.9	100.0	215,261,512,000	△ 10,710,064,000	△ 5.0
0	13,197,000	0.1	100.8	100.0	1,827,946,000	△ 63,749,000	△ 3.5
169,296,883	△ 59,452,669	0.2	97.9	94.1	2,732,064,719	41,767,098	1.5
8,167,483	△ 558,772,908	1.5	98.1	100.0	28,177,723,204	△ 56,505,112	△ 0.2
0	△ 14,372,345,099	8.8	91.8	100.0	168,090,740,505	△ 6,707,396,096	△ 4.0
3,219,889	△ 276,184,941	0.4	96.8	100.0	8,060,029,190	201,311,869	2.5
0	△ 12,404,118	0.0	90.1	100.0	111,960,168	1,493,714	1.3
0	△ 6,788,421,723	1.4	78.6	100.0	31,037,212,092	△ 6,058,166,815	△ 19.5
0	315	0.5	100.0	100.0	9,466,871,735	△ 957,227,199	△ 10.1
1,516,972,679	△ 2,394,501,382	2.2	94.3	96.2	40,232,010,981	△ 589,718,317	△ 1.5
0	△ 40,013,000,000	13.7	86.3	100.0	229,775,400,000	22,539,600,000	9.8
16,558,028,541	△ 60,648,621,431	100.0	96.8	99.0	1,808,333,672,892	29,409,597,938	1.6

## ア 全体的状況

収入済額の合計は1兆8,377億4,327万余円で、予算現額に比べて606億4,862万余円下回っており、予算現額に対する収入率は96.8%、調定額に対する収入率は99.0%となっている。

収入済額の主なものは、県税7,845億412万余円(構成比42.7%)、県債2,523億1,500万円(構成比13.7%)、地方消費税清算金2,192億4,598万余円(構成比11.9%)、地方交付税2,045億5,144万余円(構成比11.1%)である。

また、収入済額の合計を見ると、前年度の1兆8,083億3,367万余円に比べて294億959万余円(1.6%)の増加となっている。

これは、主に、地方交付税が107億1,006万余円、国庫支出金が67億739万余円減少したものの、県債が225億3,960万円、県税が144億8,174万余円、地方消費税清算金が137億5,989万余円増加したことなどによるものである。

不納欠損額の合計は、28億6,839万余円で、前年度の23億5,081万余円に比べて5億1,758万余円(22.0%)の増加となっている。

なお、不納欠損額の内訳は、県税が27億9,385万余円、諸収入が6,872万余円などである。

収入未済額の合計は165億5,802万余円で、前年度の200億5,423万余円に比べて34億9,620万余円(17.4%)減少となっている。

なお、収入未済額の主なものは、県税が148億6,037万余円、諸収入が15億1,697万余円、分担金及び負担金が1億6,929万余円である。

## イ 自主財源と依存財源の比較

次に、収入済額を自主財源、依存財源別に前年度と比較すると、表8のとおりである。

収入済額に占める割合の高いものについて見ると、県税(構成比42.7%)の増減率は1.9%、県債(構成比13.7%)の増減率は9.8%、地方消費税清算金(構成比11.9%)の増減率は6.7%、地方交付税(構成比11.1%)の増減率は△5.0%となっている。

収入済額に占める自主財源の割合は60.7%、依存財源の割合は39.3%であり、前年度に比べて自主財源の割合が0.1ポイント上昇した。

### 自主財源・依存財源年度別比較表

(表8)

区 分	平成29年度			平成28年度			比較増減額
	収入済額	構成比	増減率	収入済額	構成比	増減率	
	円	%	%	円	%	%	円
自 主 財 源	1,116,150,936,421	60.7	1.9	1,095,326,344,387	60.6	0.3	20,824,592,034
県 税	784,504,123,665	42.7	1.9	770,022,377,590	42.6	2.2	14,481,746,075
地方消費税清算金	219,245,985,429	11.9	6.7	205,486,094,708	11.4	△ 10.1	13,759,890,721
分担金及び負担金	2,773,831,817	0.2	1.5	2,732,064,719	0.2	1.9	41,767,098
使用料及び手数料	28,121,218,092	1.5	△ 0.2	28,177,723,204	1.6	18.8	△ 56,505,112
財 産 収 入	8,261,341,059	0.4	2.5	8,060,029,190	0.4	△ 29.1	201,311,869
寄 附 金	113,453,882	0.0	1.3	111,960,168	0.0	△ 68.9	1,493,714
繰 入 金	24,979,045,277	1.4	△ 19.5	31,037,212,092	1.7	33.1	△ 6,058,166,815
繰 越 金	8,509,644,536	0.5	△ 10.1	9,466,871,735	0.5	△ 18.7	△ 957,227,199
諸 収 入	39,642,292,664	2.2	△ 1.5	40,232,010,981	2.2	9.8	△ 589,718,317
依 存 財 源	721,592,334,409	39.3	1.2	713,007,328,505	39.4	△ 0.9	8,585,005,904
地 方 譲 与 税	97,944,795,000	5.3	3.8	94,343,035,000	5.2	△ 14.2	3,601,760,000
地方特例交付金	3,633,550,000	0.2	△ 2.0	3,708,695,000	0.2	2.9	△ 75,145,000
地 方 交 付 税	204,551,448,000	11.1	△ 5.0	215,261,512,000	11.9	5.6	△ 10,710,064,000
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,764,197,000	0.1	△ 3.5	1,827,946,000	0.1	△ 3.5	△ 63,749,000
国 庫 支 出 金	161,383,344,409	8.8	△ 4.0	168,090,740,505	9.3	2.0	△ 6,707,396,096
県 債	252,315,000,000	13.7	9.8	229,775,400,000	12.7	△ 2.5	22,539,600,000
合 計	1,837,743,270,830	100.0	1.6	1,808,333,672,892	100.0	△ 0.2	29,409,597,938

※構成比については、端数処理により財源内訳とその内訳の計が合わない場合がある。

(ア) 自主財源について

自主財源の収入済額は1兆1,161億5,093万余円で、前年度に比べて208億2,459万余円の増加となっている。

これは、個人県民税の増加などによって県税収入が144億8,174万余円増加したことや、地方消費税の清算基準の見直しによって地方消費税清算金が137億5,989万余円増加したことなどによるものである。

自主財源の増減率は1.9%となっている。

(イ) 依存財源について

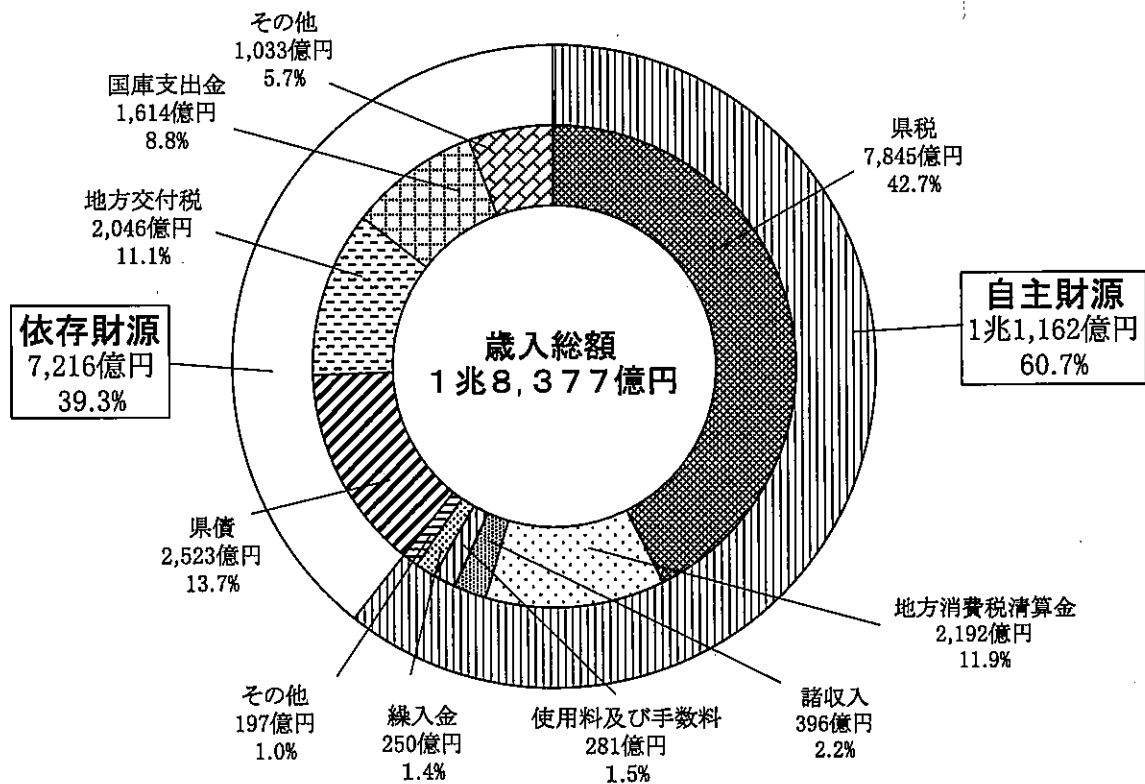
依存財源の収入済額は7,215億9,233万余円で、前年度に比べて85億8,500万余円の増加となっている。

これは、県債が225億3,960万円増加したほか、地方譲与税が36億176万円増加したことなどによるものである。

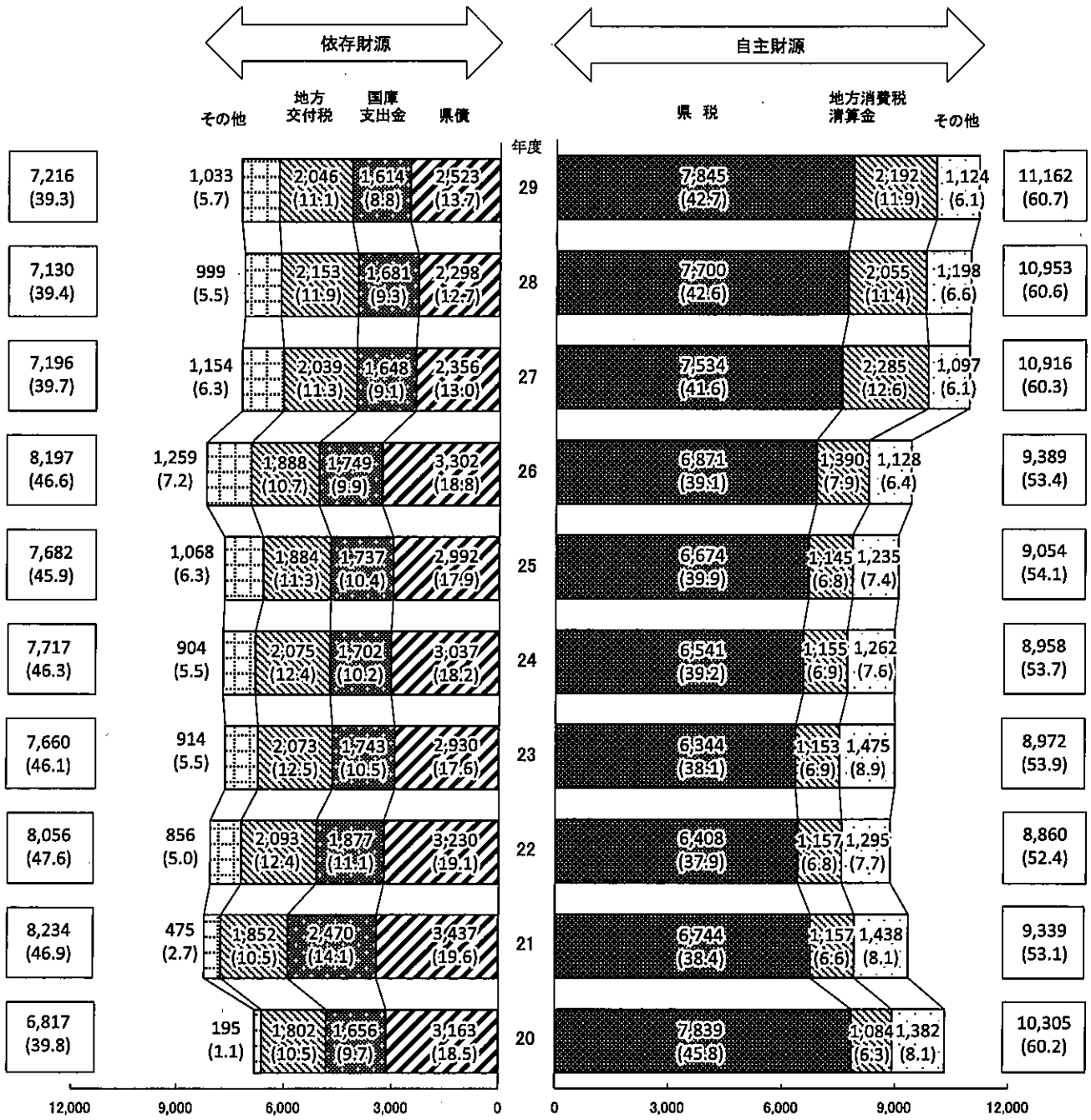
依存財源の増減率は1.2%となっている。

### 財源別収入状況

(注)単位:億円(億円未満四捨五入)



# 財源別歳入の構成と推移



(注) 単位：億円 (億円未満四捨五入)

( ) 内は構成比%

(3) 歳出の状況

ア 全体的状況

平成29年度一般会計歳出決算の状況は、次のとおりである。

(表9)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	予算現額と 支出済額と の比較	支出済 額の 構成比	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越し				
	円	円	円	円	円	円	円	%	%
議会費	3,085,479,000	3,021,471,407	0	0	0	64,007,593	64,007,593	0.2	97.9
総務費	81,241,527,660	76,857,627,070	206,585,614	29,685,000	0	4,147,629,976	4,383,900,590	4.2	94.6
民生費	346,880,748,418	341,216,961,263	0	943,369,000	0	4,720,418,155	5,663,787,155	18.6	98.4
衛生費	61,468,176,870	58,460,247,720	0	7,983,000	0	2,999,946,150	3,007,929,150	3.2	95.1
労働費	5,432,758,000	4,954,785,226	0	0	0	477,972,774	477,972,774	0.3	91.2
農林水産 業費	24,017,003,865	20,825,554,742	0	2,508,103,090	49,495,600	633,850,433	3,191,449,123	1.1	86.7
商工費	14,675,436,000	13,676,039,809	0	415,199,000	0	584,197,191	999,396,191	0.7	93.2
土木費	155,766,930,801	113,609,785,020	2,354,082,241	37,643,482,731	722,902,288	1,436,678,521	42,157,145,781	6.2	72.9
警察費	149,022,755,431	147,598,258,236	401,406,729	0	0	1,023,090,466	1,424,497,195	8.1	99.0
教育費	482,713,616,000	476,724,638,984	246,086,722	1,816,841,000	0	3,926,049,294	5,988,977,016	26.1	98.8
災害 復旧費	657,127,492	258,737,524	0	240,429,391	2,394,707	155,565,870	398,389,968	0.0	39.4
公債費	276,721,424,000	276,719,430,492	0	0	0	1,993,508	1,993,508	15.1	100.0
諸支 出金	296,295,184,000	295,570,248,191	0	0	0	724,935,809	724,935,809	16.2	99.8
予備費	413,724,724	0	0	0	0	413,724,724	413,724,724	0.0	0.0
合計	1,898,391,892,261	1,829,493,785,684	3,208,161,306	43,605,092,212	774,792,595	21,310,060,464	68,898,106,577	100.0	96.4

支出済額の合計は、1兆8,294億9,378万余円で、予算現額に比べて688億9,810万余円下回っており、執行率(予算現額に対する支出済額の割合)は96.4%となっている。

支出済額の主なものは、教育費が4,767億2,463万余円(構成比26.1%)、民生費が3,412億1,696万余円(構成比18.6%)、諸支出金が2,955億7,024万余円(構成比16.2%)である。

イ 前年度比較

支出済額を前年度と比べると、次のとおりである。

(表10)

款	平成29年度		平成28年度		比 較	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
	円	%	円	%	円	%
議 会 費	3,021,471,407	0.2	3,097,472,745	0.2	△ 76,001,338	△ 2.5
総 務 費	76,857,627,070	4.2	81,243,389,075	4.5	△ 4,385,762,005	△ 5.4
民 生 費	341,216,961,263	18.6	328,133,826,872	18.2	13,083,134,391	4.0
衛 生 費	58,460,247,720	3.2	57,678,189,623	3.2	782,058,097	1.4
労 働 費	4,954,785,226	0.3	4,884,070,313	0.3	70,714,913	1.4
農 林 水 産 業 費	20,825,554,742	1.1	19,978,711,453	1.1	846,843,289	4.2
商 工 費	13,676,039,809	0.7	14,809,266,316	0.8	△ 1,133,226,507	△ 7.7
土 木 費	113,609,785,020	6.2	101,502,654,156	5.7	12,107,130,864	11.9
警 察 費	147,598,258,236	8.1	140,794,546,432	7.8	6,803,711,804	4.8
教 育 費	476,724,638,984	26.1	523,874,441,625	29.1	△ 47,149,802,641	△ 9.0
災 害 復 旧 費	258,737,524	0.0	615,616,139	0.0	△ 356,878,615	△ 58.0
公 債 費	276,719,430,492	15.1	270,457,023,869	15.0	6,262,406,623	2.3
諸 支 出 金	295,570,248,191	16.2	252,754,819,738	14.1	42,815,428,453	16.9
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-
合 計	1,829,493,785,684	100.0	1,799,824,028,356	100.0	29,669,757,328	1.6

支出済額の合計は、前年度の1兆7,998億2,402万余円に比べて、296億6,975万余円（1.6%）の増加となっている。

これは諸支出金が428億1,542万余円、民生費が130億8,313万余円、土木費が121億713万余円増加したことなどによるものである。

### 3 特別会計

平成29年度の特別会計は、埼玉県公債費特別会計ほか12会計で、その歳入歳出決算の状況は次のとおりである。

#### (1) 歳入の状況

(表11)

会 計 名	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額
	円	円	円	円
埼玉県公債費特別会計	540,651,810,000	540,651,802,499	540,651,802,499	0
埼玉県証紙特別会計	17,812,199,000	18,257,780,502	18,257,780,502	0
埼玉県市町村振興事業特別会計	12,882,731,000	12,714,710,609	12,714,710,609	0
埼玉県災害救助事業特別会計	418,971,000	14,476,886	14,476,886	0
埼玉県母子父子寡婦福祉資金特別会計	900,924,000	1,497,632,218	1,161,145,452	3,482,280
埼玉県中小企業高度化資金特別会計	447,567,000	442,419,417	442,419,417	0
埼玉県就農支援資金貸付事業特別会計	22,914,000	160,202,291	146,710,500	0
埼玉県林業・木材産業改善資金特別会計	20,680,000	91,390,042	87,050,661	0
本多静六博士育英事業特別会計	49,541,000	49,932,682	49,183,203	0
埼玉県用地事業特別会計	1,381,358,000	1,379,440,606	1,379,440,606	0
埼玉県県営住宅事業特別会計	13,720,897,990	11,475,163,296	11,403,245,183	3,499,859
埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計	543,354,000	579,309,428	526,766,943	0
埼玉県公営競技事業特別会計	29,299,338,000	29,077,036,852	29,077,036,852	0
歳入合計	618,152,284,990	616,391,297,328	615,911,769,313	6,982,139



収入未済額	予算現額と 収入済額との 比較増減	予算現額 に対する 収入率	調定額に 対する 収入率	前年度収入済額	収入済額の前年度対比	
					増減額	増減率
円	円	%	%	円	円	%
0	△ 7,501	100.0	100.0	566,840,457,598	△ 26,188,655,099	△ 4.6
0	445,581,502	102.5	100.0	16,997,305,173	1,260,475,329	7.4
0	△ 168,020,391	98.7	100.0	12,632,282,394	82,428,215	0.7
0	△ 404,494,114	3.5	100.0	174,657,656	△ 160,180,770	△ 91.7
333,004,486	260,221,452	128.9	77.5	1,292,547,205	△ 131,401,753	△ 10.2
0	△ 5,147,583	98.8	100.0	469,244,835	△ 26,825,418	△ 5.7
13,491,791	123,796,500	640.3	91.6	131,821,786	14,888,714	11.3
4,339,381	66,370,661	420.9	95.3	118,452,745	△ 31,402,084	△ 26.5
749,479	△ 357,797	99.3	98.5	48,833,940	349,263	0.7
0	△ 1,917,394	99.9	100.0	857,088,807	522,351,799	60.9
68,418,254	△ 2,317,652,807	83.1	99.4	13,473,317,592	△ 2,070,072,409	△ 15.4
52,542,485	△ 16,587,057	96.9	90.9	461,813,285	64,953,658	14.1
0	△ 222,301,148	99.2	100.0	31,464,272,912	△ 2,387,236,060	△ 7.6
472,545,876	△ 2,240,515,677	99.6	99.9	644,962,095,928	△ 29,050,326,615	△ 4.5

## (2) 歳出の状況

(表12)

会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	
			継続費 遞次繰越	繰越明許費
	円	円	円	円
埼玉県公債費特別会計	540,651,810,000	540,651,802,499	0	0
埼玉県証紙特別会計	17,812,199,000	17,014,028,360	0	0
埼玉県市町村振興事業 特別会計	12,882,731,000	12,714,710,609	0	0
埼玉県災害救助事業 特別会計	418,971,000	14,476,886	0	0
埼玉県母子父子寡婦福祉 資金特別会計	900,924,000	645,937,065	0	0
埼玉県中小企業高度化 資金特別会計	447,567,000	340,419,417	0	0
埼玉県就農支援資金 貸付事業特別会計	22,914,000	22,175,546	0	0
埼玉県林業・木材産業 改善資金特別会計	20,680,000	20,052,095	0	0
本多静六博士 育英事業特別会計	49,541,000	40,315,115	0	0
埼玉県用地事業 特別会計	1,381,358,000	1,308,865,693	0	70,058,000
埼玉県県営住宅事業 特別会計	13,720,897,990	10,974,146,221	2,390,453,764	62,413,000
埼玉県高等学校等 奨学金事業特別会計	543,354,000	519,555,825	0	0
埼玉県公営競技事業 特別会計	29,299,338,000	25,875,505,536	0	0
<b>歳出合計</b>	<b>618,152,284,990</b>	<b>610,141,990,867</b>	<b>2,390,453,764</b>	<b>132,471,000</b>

事故繰越し	不用額	予算現額と 支出済額と の比較増減	執行 率	前年度支出済額	支出済額の前年度対比	
					増減額	増減率
円	円	円	%	円	円	%
0	7,501	7,501	100.0	566,840,457,598	△ 26,188,655,099	△ 4.6
0	798,170,640	798,170,640	95.5	15,837,590,576	1,176,437,784	7.4
0	168,020,391	168,020,391	98.7	12,632,282,394	82,428,215	0.7
0	404,494,114	404,494,114	3.5	174,657,656	△ 160,180,770	△ 91.7
0	254,986,935	254,986,935	71.7	666,710,684	△ 20,773,619	△ 3.1
0	107,147,583	107,147,583	76.1	367,244,835	△ 26,825,418	△ 7.3
0	738,454	738,454	96.8	26,057,078	△ 3,881,532	△ 14.9
0	627,905	627,905	97.0	39,084,900	△ 19,032,805	△ 48.7
0	9,225,885	9,225,885	81.4	46,567,990	△ 6,252,875	△ 13.4
0	2,434,307	72,492,307	94.8	744,164,106	564,701,587	75.9
0	293,885,005	2,746,751,769	80.0	13,141,186,461	△ 2,167,040,240	△ 16.5
0	23,798,175	23,798,175	95.6	433,408,677	86,147,148	19.9
0	3,423,832,464	3,423,832,464	88.3	28,427,517,915	△ 2,552,012,379	△ 9.0
0	5,487,369,359	8,010,294,123	98.7	639,376,930,870	△ 29,234,940,003	△ 4.6

### (3) 決算の状況

収入済額の合計は6,159億1,176万余円で、予算現額に比べて22億4,051万余円下回っており、予算現額に対する収入率は99.6%、調定額に対する収入率は99.9%となっている。

収入未済額の合計は4億7,254万余円で、埼玉県母子父子寡婦福祉資金特別会計が3億3,300万余円、埼玉県県営住宅事業特別会計が6,841万余円などとなっている。

また、不納欠損額の合計は698万余円で、埼玉県県営住宅事業特別会計が349万余円、埼玉県母子父子寡婦福祉資金特別会計が348万余円となっている。

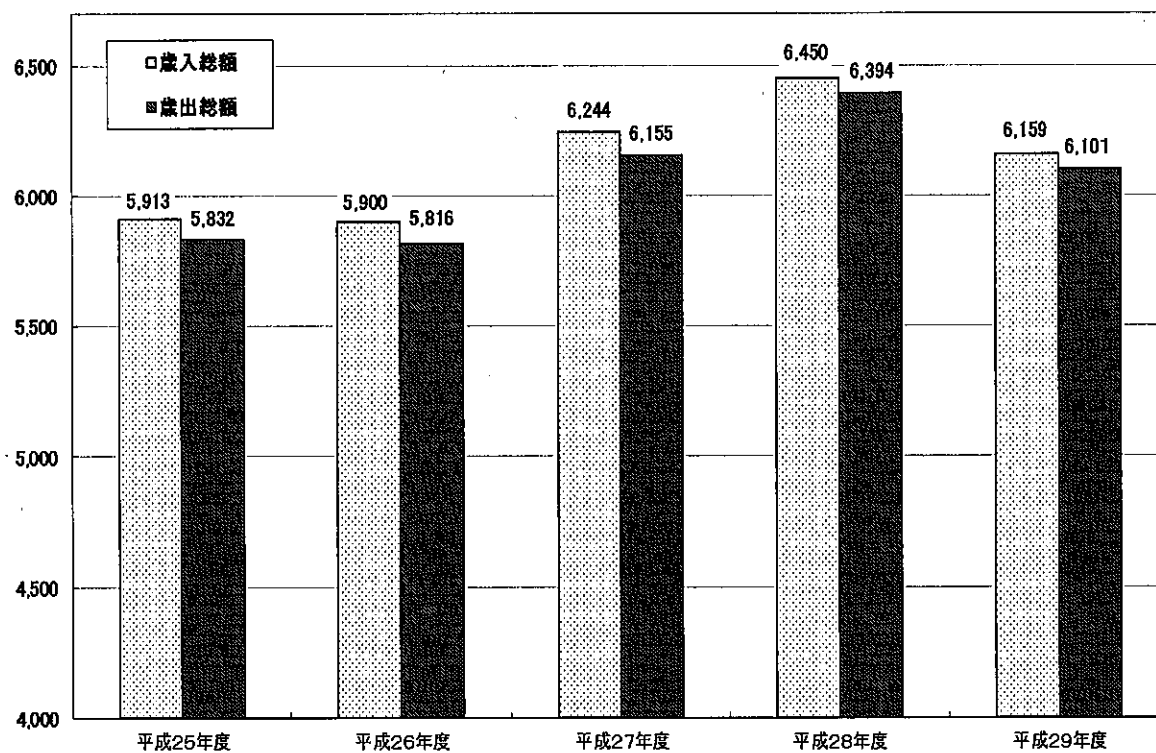
支出済額の合計は6,101億4,199万余円で、執行率は98.7%となっている。

また、不用額は54億8,736万余円生じている。

### 特別会計決算額の推移

単位：億円

(億円未満四捨五入)



平成29年度

埼玉県公営企業会計決算審査意見書

埼玉県監査委員

## 第 1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成 29 年度埼玉県工業用水道事業会計決算  
平成 29 年度埼玉県水道用水供給事業会計決算  
平成 29 年度埼玉県地域整備事業会計決算

### 2 審査の期間

平成 30 年 8 月 6 日から平成 30 年 9 月 13 日まで

### 3 審査の方法

決算審査に当たっては、知事から審査に付された決算書が、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するとともに、経営の基本原則である経済性の発揮及び公共の福祉の増進が図られているかどうかの主眼をおき、会計帳票、証拠書類と照合し、既に実施した定期監査及び現金出納検査の結果をも参考にして慎重に審査を行った。

## 第 2 審査の結果

### 1 審査意見

平成 29 年度埼玉県工業用水道事業会計決算、平成 29 年度埼玉県水道用水供給事業会計決算及び平成 29 年度埼玉県地域整備事業会計決算については、決算書及び同附属書類並びに関係諸帳簿及び証拠書類等を照合審査した結果、符合していることを確認した。

また、事業の運営及び予算の執行に当たっては、関係法令及び予算議決の趣旨に沿って、おおむね適正に行われているものと認めた。

なお、次のとおり一部に留意又は改善を要する事項が認められた。

## 2 留意又は改善を要する事項

企業局職員の年齢構成は、50代のベテラン職員と30代前半までの若手職員に集中し、30代後半から40代前半の中堅職員が少ない偏った構成となっている。また、新規採用職員3年目までの、公務員として初めて仕事に就いた職員の割合は全体の約15%を占めている。

今後、10年程度で豊富なノウハウを有するベテラン職員の大量退職が見込まれることから、人材開発と次世代への技術継承に一層取り組んでいく必要がある。

平成29年3月、人材開発の指針となる新たな企業局人材開発計画を策定し、企業局経営5か年計画の中で次世代への技術継承のアクションプランに取り組んでいる。

具体的には、再任用職員を「技術継承アドバイザー」に認定し、アドバイザーが有する豊かな経験と知識、技術やノウハウを、日常業務や職場内研修を通して若手職員に継承している。技術継承に向けて、再任用職員のモチベーションが高まるようチューター研修の充実など局全体で取り組んでいく必要がある。

また、スキル評価制度の運用については、グループリーダーも関わり、自己判定する職員との意見交換や評価の判断基準を示してアドバイスを行っているが、今後ともスキル評価の客観性の確保に十分留意して人材育成を図っていく必要がある。

さらに、JICA事業を活用して、職員の課題解決能力や折衝・調整能力の向上を目指している。ラオスやタイへの職員派遣や研修員を受け入れ、相手国の浄水場の運転管理や水質管理能力向上の技術支援を行うことで、東南アジアの発展にも寄与している。

技術協力した相手国の水質改善の度合いなど、直ちに目に見えて効果が現れるものではないが、支援した相手国への貢献に関わる成果（アウトカム）を定量的又は定性的に評価した上で、企業局の強みを活かした水処理の技術支援を行うことも必要である。

### ※スキル評価制度

スキル指標（現場業務で求められる技術項目）を用いて職員の持つスキルを判定・集計して所属が有する技術力を把握⇒効果的な専門技術研修を実施

### 【説明】

#### （1）次世代への技術継承について

##### ア 企業局職員の構成

（平成30年4月1日時点、単位：人）

	～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳～	計
人数	32	67	55	37	36	56	55	59	19	416
構成比	7.7%	16.1%	13.2%	8.9%	8.6%	13.5%	13.2%	14.2%	4.6%	100.0%

（各年度4月1日時点、単位：人）

	企業局職員人数								
	新規採用職員			再任用職員					
	事務系	技術系	計	事務系	技術系	計	事務系	技術系	計
平成28年度	73	340	413	2	23	25	2	29	31
平成29年度	74	344	418	2	16	18	2	21	23
平成30年度	76	340	416	3	14	17	1	18	19

イ 企業局経営5か年計画（平成29～33年度）『次世代への技術継承』

アクションプラン	年度目標	平成29年度	
		目標値	実績
若手職員へのチューター制度やキャリアパスを重視した人材育成の実施	スキル評価制度における下半期充足率	80%	85.6%
職員能力の向上に寄与する国際技術協力の推進	技術者派遣・研修員受入人日	250人日	313人日

※チューター制度…若手職員の仕事の相談・指導役。ベテラン職員が相談にのるなど、きめ細かいフォローをさせることで、人材育成を図っていく制度

※スキル評価制度における下半期充足率…充足率は、各所属で判定項目ごとに、業務を遂行する上で確保すべきスキルを持つ人数を設定し、当該判定項目のスキルを持つ職員が実際何人いるかをパーセンテージで表したもの。前期のスキル評価結果を基に研修やOJT等を行い、後期に再度スキル評価を実施する。

ウ 職員能力向上に寄与する国際技術協力の推進

(ア) タイ王国における取組（支援対象：タイ地方水道公社）

①タイ・チョンブリ県における水処理技術の向上支援

事業期間：平成23年5月～平成26年3月

支援概要：技術者派遣及び研修員の受入れ（JICA草の根技術協力事業）

②タイ地方水道公社における浄水場維持管理能力の向上支援

事業期間：平成25年10月～平成28年3月

支援概要：技術者派遣及び研修員の受入れ（JICA草の根技術協力事業）

③タイ地方水道公社 研修員の受入れ

事業期間：平成29年2月

支援概要：研修員の受入れ

(イ) ラオス人民民主共和国における取組（支援対象：ラオス公共事業運輸省水道局）

①水道公社における浄水場運転・維持管理能力の向上支援

事業期間：平成28年1月～平成31年1月

支援概要：技術者派遣及び研修員の受入れ等（JICA草の根技術協力事業）

※JICA草の根技術協力事業

政府開発援助（ODA）の一環として、NGO、大学及び地方自治体等による、開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を目的に実施する事業。JICAと提案団体との間で委託契約等を締結し、共同で実施



### 第 3 決算の状況等

#### 1 埼玉県工業用水道事業会計

##### (1) 業務の概況

工業用水道事業は、産業基盤の整備と地盤沈下の防止を目的として、工業用水法に基づく地下水汲み上げ規制区域の6市（草加市、八潮市、蕨市、戸田市の全域、さいたま市及び川口市の一部）の事業所に工業用水を供給している。

柿木浄水場、大久保浄水場は、日量253,000m<sup>3</sup>の給水能力を有し、平成29年度の給水契約水量は184,544m<sup>3</sup>/日、配水量は114,566m<sup>3</sup>/日であった。

これを前年度と比較すると、平成29年度末現在の給水事業所数は151事業所で、増減はない。給水契約水量は4.5%の減少、配水量は0.6%の増加となった。

	29年度 A	28年度 B	対前年度比 A/B
浄水場	大久保浄水場 柿木浄水場	大久保浄水場 柿木浄水場	— —
給水事業所数(年度末)	151	151	100.0%
給水能力(m <sup>3</sup> /日) a	253,000	253,000	100.0%
給水契約水量(m <sup>3</sup> /日) b	184,544	193,317	95.5%
配水量(m <sup>3</sup> /日) c	114,566	113,895	100.6%
給水契約水量/給水能力 b/a×100	72.9	76.4	※ △3.5
配水量/給水能力 c/a×100	45.3	45.0	※ 0.3
給水収益(千円)	1,579,146	1,648,762	95.8%
年度末職員数(人)	30	30	※ 0
基本料金(/m <sup>3</sup> )	22円53銭	22円53銭	—
特別料金(/m <sup>3</sup> )	29円29銭	29円29銭	—
超過料金(/m <sup>3</sup> )	45円 5銭	45円 5銭	—

※ A-B

## (2) 決算報告書

予算額に対する決算額は、次のとおりである。

### ア 収益的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 事業収益	2,021,602,000	2,019,961,695	△1,640,305
第1項 営業収益	1,717,193,000	1,728,103,256	10,910,256
第2項 営業外収益	207,972,000	189,448,239	△18,523,761
第3項 特別利益	96,437,000	102,410,200	5,973,200

支出

(単位:円)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 事業費	1,939,346,000	1,632,933,612	0	306,412,388
第1項 営業費用	1,661,679,000	1,451,253,686	0	210,425,314
第2項 営業外費用	90,787,000	45,222,319	0	45,564,681
第3項 特別損失	182,880,000	136,457,607	0	46,422,393
第4項 予備費	4,000,000	0	0	4,000,000

事業収益の決算額は、2,019,961,695円で、予算額を1,640,305円下回っている。

これは、主に営業収益の給水収益が見込みを上回ったほか、特別利益に原子力発電所の事故による損害賠償の受入れがあったが、営業外収益の長期前受金戻入が工事の進捗により見込みを下回ったこと等によるものである。

事業費の決算額は、1,632,933,612円で、306,412,388円の不用額を生じた。これは、主に営業費用の委託料の契約差金、退職給付費や減価償却費の執行残、営業外費用の消費税の執行残等によるものである。

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 資本的収入	1,017,868,000	1,014,191,766	△3,676,234
第1項 建設補助金	190,300,000	189,247,800	△1,052,200
第2項 長期貸付金償還金	804,000,000	804,000,000	0
第3項 他会計補助金	792,000	650,000	△142,000
第4項 負担金	22,774,000	19,823,400	△2,950,600
第5項 固定資産売却代金	1,000	0	△1,000
第6項 雑収入	1,000	470,566	469,566

支出

(単位:円)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 資本的支出	1,208,482,687	1,102,885,002	119,299	105,478,386
第1項 建設改良費	1,067,154,687	961,557,548	119,299	105,477,840
第2項 企業債償還金	141,328,000	141,327,454	0	546

資本的収入の長期貸付金償還金804,000,000円は、水道用水供給事業会計への貸付金の償還金である。

資本的支出の建設改良費に係る翌年度繰越額119,299円は、利根導水路大規模地震対策事業費に係る継続費通次繰越額である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額88,693,236円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額53,192,831円及び減債積立金35,500,405円で補填されている。

### (3) 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比較	
	A	B	A-B	A/B
営業収益	1,600,145,630	1,688,374,408	△88,228,778	94.8
給水収益	1,579,145,810	1,648,762,093	△69,616,283	95.8
受託工事収益	19,091,000	37,736,879	△18,645,879	50.6
その他営業収益	1,908,820	1,875,436	33,384	101.8
営業費用	1,392,975,693	1,494,511,880	△101,536,187	93.2
原水及び浄水費	418,057,918	441,332,326	△23,274,408	94.7
配水及び給水費	293,713,880	322,713,178	△28,999,298	91.0
受託工事費	19,185,232	37,921,984	△18,736,752	50.6
総係費	79,579,840	71,569,623	8,010,217	111.2
減価償却費	567,976,702	543,623,061	24,353,641	104.5
資産減耗費	14,462,121	77,351,708	△62,889,587	18.7
営業利益	207,169,937	193,862,528	13,307,409	106.9
営業外収益	189,447,694	204,120,710	△14,673,016	92.8
受取利息及び配当金	9,571,495	19,931,038	△10,359,543	48.0
他会計補助金	1,458,000	1,572,000	△114,000	92.7
長期前受金戻入	176,458,772	182,222,488	△5,763,716	96.8
雑収益	1,959,427	395,184	1,564,243	495.8
営業外費用	28,954,206	33,441,680	△4,487,474	86.6
支払利息及び企業債取扱諸費	27,836,119	33,424,192	△5,588,073	83.3
雑支出	1,118,087	17,488	1,100,599	6,393.5
経常利益	367,663,425	364,541,558	3,121,867	100.9
特別利益	102,410,200	6,067,689	96,342,511	1,687.8
その他特別利益	102,410,200	6,067,689	96,342,511	1,687.8
特別損失	136,444,773		136,444,773	皆増
その他特別損失	136,444,773		136,444,773	皆増
当年度純利益(純損失)	333,628,852	370,609,247	△36,980,395	90.0
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	788,909,430	418,300,183	370,609,247	188.6
その他未処分利益剰余金変動額	141,327,454	140,597,330	730,124	100.5
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	1,263,865,736	929,506,760	334,358,976	136.0

ア 営業収益

営業収益の大部分を占める給水収益が、契約水量の減少により、前年度と比較して69,616,283円減少したことや受託工事収益の減少により、営業収益は前年度と比較して88,228,778円（5.2%）減少した。

イ 営業費用

主に工事費、委託料、資産減耗費等の減少により、営業費用は、前年度と比較して101,536,187円（6.8%）減少した。

ウ 営業外収益

主に水道用水供給事業会計への貸付金残高の減少により貸付金利息が減少したことや国庫補助金等を充当した資産の減価償却に伴い長期前受金戻入が減少したこと等により、営業外収益は前年度と比較して14,673,016円（7.2%）減少した。

エ 営業外費用

企業債残高の減少に伴い、企業債利息が減少している。

オ 特別利益

原子力発電所事故による損害賠償金の受入れ33,129,873円、固定資産の除却に伴う長期前受金の収益化69,280,327円を計上している。

カ 特別損失

固定資産の除却費や解体撤去費136,444,773円を計上している。

キ 当年度純利益

これらにより当年度純利益333,628,852円を計上し、前年度と比較して36,980,395円（10.0%）の減少となった。

#### （4）剰余金計算書

ア 資本金

資本金は、議会の議決により未処分利益剰余金を組み入れた結果、前年度に比べ140,597,330円増加している。

イ 資本剰余金

受贈財産評価額、国庫補助金及び他会計補助金のうち償却資産の財源となっているものを長期前受金に整理している。

ウ 利益剰余金

前年度処分後残高のうち、減債積立金に141,327,454円使用して、同額を未処分利益剰余金として増加させている。また、未処分利益剰余金として当年度純利益333,628,852円を増額させている。

(5) 剰余金処分計算書 (案)

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	13,262,231,327	378,404,579	1,263,865,736
議会の議決による処分類	141,327,454	0	△ 141,327,454
資本金の増加	141,327,454		△ 141,327,454
処分後残高	13,403,558,781	378,404,579	(繰越利益剰余金) 1,122,538,282

ア 資本金の増加

未処分利益剰余金から141,327,454円を資本金へ振り替える案としている。

## (6) 貸借対照表

当年度末における資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定資産	12,983,013,531	13,111,945,903	△128,932,372	99.0
有形固定資産	11,226,560,714	10,996,622,134	229,938,580	102.1
土地	437,820,277	437,820,277	0	100.0
建物	1,183,220,758	1,218,564,457	△35,343,699	97.1
構築物	5,419,556,897	5,770,963,197	△351,406,300	93.9
機械及び装置	3,768,770,830	2,099,072,871	1,669,697,959	179.5
車両運搬具	1,470,000	56,950	1,413,050	2,581.2
船舶	7,950	7,950	0	100.0
工具、器具及び備品	7,113,244	8,159,107	△1,045,863	87.2
リース資産	1,048,832	1,509,440	△460,608	69.5
建設仮勘定	407,551,926	1,460,467,885	△1,052,915,959	27.9
無形固定資産	799,452,817	853,323,769	△53,870,952	93.7
ダム使用权	30,026,928	36,792,149	△6,765,221	81.6
水利権	763,174,518	809,717,966	△46,543,448	94.3
電話加入権	942,236	942,236	0	100.0
ソフトウェア	5,309,135	5,871,418	△562,283	90.4
投資その他の資産	957,000,000	1,262,000,000	△305,000,000	75.8
長期貸付金	957,000,000	1,262,000,000	△305,000,000	75.8
流動資産	12,717,657,902	12,911,335,679	△193,677,777	98.5
現金預金	12,159,141,830	11,781,303,011	377,838,819	103.2
未収金	238,624,070	314,371,108	△75,747,038	75.9
貸倒引当金	△13,074	△1,346,406	1,333,332	1.0
貯蔵品	14,905,076	13,007,966	1,897,110	114.6
短期貸付金	305,000,000	804,000,000	△499,000,000	37.9
資産合計	25,700,671,433	26,023,281,582	△322,610,149	98.8

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定負債	1,119,172,430	1,394,695,194	△275,522,764	80.2
企業債	529,175,961	674,795,306	△145,619,345	78.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	529,175,961	674,795,306	△145,619,345	78.4
リース債務	635,268	1,132,728	△497,460	56.1
引当金	589,361,201	718,767,160	△129,405,959	82.0
退職給付引当金	208,134,631	201,827,030	6,307,601	103.1
修繕引当金	381,226,570	516,940,130	△135,713,560	73.7
流動負債	267,897,011	597,998,594	△330,101,583	44.8
企業債	145,619,345	141,327,454	4,291,891	103.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	145,619,345	141,327,454	4,291,891	103.0
リース債務	497,460	497,460	0	100.0
未払金	88,323,331	425,398,528	△337,075,197	20.8
引当金	17,535,400	14,747,022	2,788,378	118.9
賞与引当金	17,535,400	14,747,022	2,788,378	118.9
その他流動負債	15,921,475	16,028,130	△106,655	99.3
繰延収益	3,073,134,816	3,123,749,470	△50,614,654	98.4
受贈財産評価額長期前受金	179,319,275	185,220,893	△5,901,618	96.8
寄附金長期前受金	252,500	252,500	0	100.0
工事負担金長期前受金	22,929,384	4,806,227	18,123,157	477.1
国庫補助金長期前受金	2,534,859,952	2,545,008,441	△10,148,489	99.6
他会計補助金長期前受金	335,773,705	388,461,409	△52,687,704	86.4
負債合計	4,460,204,257	5,116,443,258	△656,239,001	87.2
資本金	13,262,231,327	13,121,633,997	140,597,330	101.1
剰余金	7,978,235,849	7,785,204,327	193,031,522	102.5
資本剰余金	378,404,579	378,404,579	0	100.0
受贈財産評価額	26,904,384	26,904,384	0	100.0
国庫補助金	45,492,371	45,492,371	0	100.0
他会計補助金	306,007,824	306,007,824	0	100.0
利益剰余金	7,599,831,270	7,406,799,748	193,031,522	102.6
減債積立金	674,795,306	816,122,760	△141,327,454	82.7
利益積立金	604,212,128	604,212,128	0	100.0
建設改良積立金	5,056,958,100	5,056,958,100	0	100.0
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	1,263,865,736	929,506,760	334,358,976	136.0
資本合計	21,240,467,176	20,906,838,324	333,628,852	101.6
負債資本合計	25,700,671,433	26,023,281,582	△322,610,149	98.8



ア 資産総額は、25,700,671,433円であり、前年度と比較して322,610,149円（1.2%）減少している。

固定資産は、12,983,013,531円であり、前年度と比較して128,932,372円（1.0%）減少している。これは主に、有形固定資産の機械及び装置が柿木浄水場排水処理施設等の更新により増加したが、他の有形固定資産が減価償却や除却等により減少したことや投資その他の資産において水道用水供給事業会計への長期貸付金残高が305,000,000円減少したこと等によるものである。

流動資産は、12,717,657,902円であり、前年度と比較して193,677,777円（1.5%）減少している。これは主に、現金預金が377,838,819円増加したが、短期貸付金が499,000,000円減少したこと等によるものである。

イ 負債総額は、4,460,204,257円であり、前年度と比較して656,239,001円（12.8%）減少している。これは主に、固定負債が275,522,764円（19.8%）、流動負債が330,101,583円（55.2%）、繰延収益が50,614,654円（1.6%）減少したことによるものである。

固定負債の減少は、建設改良費の財源に充てるための企業債償還額を流動負債へ振り替えたこと及び引当金の減少等によるものである。

流動負債の減少は、未払金の減少等によるものである。

繰延収益の減少は、固定資産の除却に伴い国庫補助金や他会計補助金の長期前受金を取り崩したこと等による。

ウ 資本総額は、21,240,467,176円であり、前年度と比較して333,628,852円（1.6%）増加している。これは、当年度純利益が計上されたことによるものである。

## (7) その他

### ア キャッシュ・フロー計算書

当年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

(単位:円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益(△は純損失)	333,628,852
減価償却費	567,976,702
資産減耗費	14,462,121
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,307,601
修繕引当金の増減額(△は減少)	△135,713,560
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,788,378
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,333,332
長期前受金戻入額	△176,458,772
受取利息及び受取配当金	△9,571,495
支払利息及び企業債取扱諸費	27,836,119
その他特別利益	△102,410,200
その他特別損失	136,284,348
未収金の増減額(△は増加)	75,747,038
未払金の増減額(△は減少)	△46,967,231
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,897,110
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△106,655
小計	690,572,804
利息及び配当金の受取額	9,571,495
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△27,836,119
損害賠償金の受取額	33,129,873
業務活動によるキャッシュ・フロー	705,438,053
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,157,333,798
無形固定資産の取得による支出	△8,319,967
貸付金の回収による収入	804,000,000
国庫補助金等による収入	175,229,445
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	650,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,774,320
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△141,327,454
リース債務の返済による支出	△497,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,824,914
資金増加額(又は減少額)	377,838,819
資金期首残高	11,781,303,011
資金期末残高	12,159,141,830

業務活動によるキャッシュ・フローは、705,438,053円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは、185,774,320円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは、141,824,914円の減少の結果、資金期末残高は期首に比べて377,838,819円の増加となっている。

イ 注記

地方公営企業法施行規則第35条に基づき次の事項について注記されている。

1 重要な会計方針	(1) 資産の評価基準及び評価方法 (2) 固定資産の減価償却の方法 (3) 引当金の計上方法 (4) 消費税等の会計処理方法
2 キャッシュ・フロー 計算書関連	(該当事項なし)
3 貸借対照表関連	(該当事項なし)
4 セグメント情報の 開示	(セグメント情報なし)
5 リース契約により 使用する固定資産	(1) リース取引の処理方法 (2) リース資産に係る経過措置 (3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額
6 その他	(1) 引当金の取崩し (2) 長期継続契約に係るリース債務

## 2 埼玉県水道用水供給事業会計

### (1) 業務の概況

水道用水供給事業は、水需要に対応するとともに地盤沈下防止のため、受水団体へ水道用水を卸供給している。平成29年度は、大久保、庄和、行田、新三郷及び吉見の5浄水場から、55団体に対し給水し、年間給水量は629,836千 $\text{m}^3$ であった。

年間給水量は、前年度に比し、456千 $\text{m}^3$ 、0.1%減少した。

(表1) 概要

	29年度 A	28年度 B	対前年度比 A/B
事業創設認可年月日	昭和39年3月3日		—
供用開始年月日	昭和43年4月2日		—
浄水場	大久保浄水場、庄和浄水場、行田浄水場、新三郷浄水場、吉見浄水場		—
行政区域内人口(人)	7,266,971	7,249,133	100.2%
計画給水人口(人)	6,489,660	6,489,660	100.0%
現在給水人口(人)	7,247,087	7,229,361	100.2%
給水団体数(年度末)	55	55	100.0%
施設能力( $\text{m}^3$ /日)	2,665,000	2,665,000	100.0%
検針水量( $\text{m}^3$ /日)	1,725,579	1,726,829	99.9%
検針水量( $\text{m}^3$ )	629,836,493	630,292,667	99.9%
給水収益(千円)	38,911,656	38,939,537	99.9%
基本料金(/ $\text{m}^3$ )	61円78銭	61円78銭	—
年度末職員数(人)	351	347	※ 4

※ A-B

## (2) 決算報告書

予算額に対する決算額は、次のとおりである。

### ア 収益的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 事業収益	47,439,025,000	47,410,736,186	△28,288,814
第1項 営業収益	42,232,761,000	42,103,224,087	△129,536,913
第2項 営業外収益	5,144,214,000	5,144,108,783	△105,217
第3項 特別利益	62,050,000	163,403,316	101,353,316

支出

(単位:円)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 事業費	44,042,200,480	41,763,831,392	0	2,278,369,088
第1項 営業費用	38,490,456,480	37,153,573,136	0	1,336,883,344
第2項 営業外費用	5,029,797,000	4,496,075,184	0	533,721,816
第3項 特別損失	481,947,000	114,183,072	0	367,763,928
第4項 予備費	40,000,000	0	0	40,000,000

事業収益の決算額は、47,410,736,186円で、予算額を28,288,814円下回っている。

これは、主に特別利益に原子力発電所事故による損害賠償金の受入れや退職給付引当金の戻入れ等があったが、営業収益の給水収益が水需要の減少により見込みを下回ったこと等による。

事業費の決算額は、41,763,831,392円で、2,278,369,088円の不用額を生じた。この不用額は、主に営業費用の動力費、退職給付費、修繕費、薬品費の執行残や委託料の契約差金、営業外費用の消費税の執行残及び特別損失の執行残である。

## イ 資本的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 資本的収入	20,470,649,000	19,898,431,624	△572,217,376
第1項 建設補助金	3,951,048,000	3,794,817,420	△156,230,580
第2項 企業債	9,300,000,000	8,835,000,000	△465,000,000
第3項 他会計出資金	7,006,569,000	7,006,568,552	△448
第4項 他会計補助金	212,906,000	211,684,226	△1,221,774
第5項 固定資産売却代金	1,000	0	△1,000
第6項 雑収入	125,000	50,361,426	50,236,426

支出

(単位:円)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 資本的支出	39,693,767,687	37,423,007,882	822,179,233	1,448,580,572
第1項 建設改良費	23,452,789,687	21,222,031,579	822,179,233	1,408,578,875
第2項 企業債償還金	10,317,881,000	10,317,880,385	0	615
第3項 他会計からの長期 借入金償還金	804,000,000	804,000,000	0	0
第4項 機構負担年賦金	5,054,922,000	5,054,921,567	0	433
第5項 予備費	40,000,000	0	0	40,000,000
第6項 過年度国庫補助金 返還金	24,175,000	24,174,351	0	649

資本的収入は、主に企業債の減少や国庫補助金の対象となった工事の進捗が見込みを下回ったこと等により予算額を572,217,376円下回っている。

翌年度繰越額は業務設備整備費の建設改良繰越額103,470,840円と水道水源開発施設整備事業費、水道施設耐震化事業費、吉見浄水場拡張関連整備事業費等に係る継続費繰越額718,708,393円である。

資本的支出の過年度国庫補助金返還金は、消費税相当分に係る返還である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額17,524,576,258円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,386,972,256円、減債積立金4,264,779,594円及び過年度分損益勘定留保資金11,872,824,408円で補填されている。

### (3) 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比較	
	A	B	A-B	A/B
営業収益	38,985,228,309	39,084,777,695	△99,549,386	99.7
給水収益	38,911,656,423	38,939,536,946	△27,880,523	99.9
受託工事収益	8,031,001	79,900,000	△71,868,999	10.1
その他営業収益	65,540,885	65,340,749	200,136	100.3
営業費用	36,109,453,634	36,285,804,337	△176,350,703	99.5
原水及び浄水費	9,223,457,606	8,801,876,522	421,581,084	104.8
配水及び給水費	4,727,757,323	4,558,632,341	169,124,982	103.7
受託工事費	8,072,026	80,273,176	△72,201,150	10.1
総係費	571,648,353	917,389,699	△345,741,346	62.3
減価償却費	21,268,683,783	21,299,787,736	△31,103,953	99.9
資産減耗費	309,834,543	627,844,863	△318,010,320	49.3
営業利益	2,875,774,675	2,798,973,358	76,801,317	102.7
営業外収益	5,143,954,158	5,336,807,823	△192,853,665	96.4
受取利息及び配当金	4,078,356	2,112,835	1,965,521	193.0
他会計補助金	562,283,568	626,575,376	△64,291,808	89.7
補助金	49,651,580	29,220,179	20,431,401	169.9
長期前受金戻入	4,522,933,165	4,674,984,295	△152,051,130	96.7
雑収益	5,007,489	3,915,138	1,092,351	127.9
営業外費用	3,809,892,545	4,219,410,040	△409,517,495	90.3
支払利息及び企業債取扱諸費	3,803,641,057	4,207,171,858	△403,530,801	90.4
雑支出	6,251,488	12,238,182	△5,986,694	51.1
経常利益	4,209,836,288	3,916,371,141	293,465,147	107.5
特別利益	163,403,316	348,408,453	△185,005,137	46.9
その他特別利益	163,403,316	348,408,453	△185,005,137	46.9
特別損失	113,781,906		113,781,906	皆増
その他特別損失	113,781,906		113,781,906	皆増
当年度純利益(純損失)	4,259,457,698	4,264,779,594	△5,321,896	99.9
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	0	0	0	—
その他未処分利益剰余金変動額	4,264,779,594	4,725,808,995	△461,029,401	90.2
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	8,524,237,292	8,990,588,589	△466,351,297	94.8

#### ア 営業収益

営業収益の大部分を占める給水収益38,911,656,423円は、水需要の減少等により前年度と比較して27,880,523円減少したほか、受託工事収益が前年度と比較して71,868,999円減少したことにより、営業収益は前年度と比較して99,549,386円（0.3%）減少した。

#### イ 営業費用

燃料費調整単価の見直しに伴う動力費や委託料が増加したが、受託工事費、退職給付引当金への繰入額、負担金、資産減耗費等の減少により、前年度と比較して176,350,703円（0.5%）の減少となった。

#### ウ 営業外収益

国庫補助金等を充当した資産の減価償却や除却に伴い長期前受金戻入が前年度と比較して152,051,130円減少したこと、支払利息等に係る一般会計からの繰入金である他会計補助金が64,291,808円減少したこと等により、営業外収益は前年度と比較して192,853,665円（3.6%）減少した。

#### エ 営業外費用

企業債利息、借入金利息、機構負担年賦金利息等の減少により、支払利息及び企業債取扱諸費が前年度に比べ403,530,801円減少したこと等により、営業外費用は前年度と比較して409,517,495円（9.7%）減少した。

#### オ 特別利益

原子力発電所事故による損害賠償金の受入れ96,664,762円、退職給付引当金の戻入れ53,405,751円及び固定資産の除却に伴う長期前受金の収益化13,332,803円を計上している。

#### カ 特別損失

固定資産の除却費や解体撤去費を計上している。

#### キ 当年度純利益

これらにより当年度純利益4,259,457,698円を計上し、前年度と比較して5,321,896円（0.1%）の減少となった。

### （４）剰余金計算書

#### ア 資本金

資本金は、議会の議決による未処分利益剰余金からの組入れで4,725,808,995円、他会計出資金の受入れで7,006,568,552円増加した結果、前年度に比べ11,732,377,547円増加した。

#### イ 資本剰余金

受贈財産評価額、寄附金、国庫補助金及び他会計補助金のうち償却資産の財源となっているものを長期前受金に整理している。国庫補助金が9,563,839円増加した。

#### ウ 利益剰余金

前年度処分後残高のうち、減債積立金に4,264,779,594円使用して、同額を未処分利益剰余金として増加させている。また、未処分利益剰余金として当年度純利益4,259,457,698円を増額させている。



## (5) 剰余金処分計算書 (案)

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	265,458,841,102	8,223,308,276	8,524,237,292
議会の議決による処分類	4,264,779,594	0	△ 8,524,237,292
資本金の増加	4,264,779,594		△ 4,264,779,594
減債積立金の積立			△ 4,259,457,698
処分後残高	269,723,620,696	8,223,308,276	(繰越利益剰余金) 0

### ア 資本金の増加

未処分利益剰余金から4,264,779,594円を資本金へ振り替える案としている。

### イ 減債積立金の積立

未処分利益剰余金から4,259,457,698円を減債積立金に積み立てる案としている。

## (6) 貸借対照表

当年度末における資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定資産	547,243,900,749	549,168,627,725	△1,924,726,976	99.6
有形固定資産	397,208,827,385	390,944,833,787	6,263,993,598	101.6
土地	35,779,406,652	35,732,867,540	46,539,112	100.1
建物	19,367,063,366	19,944,256,590	△577,193,224	97.1
構築物	189,657,018,787	188,679,019,298	977,999,489	100.5
機械及び装置	43,893,308,080	43,056,111,241	837,196,839	101.9
車両運搬具	16,348,249	17,816,717	△1,468,468	91.8
船舶	320,929	382,889	△61,960	83.8
工具、器具及び備品	436,331,983	470,449,548	△34,117,565	92.7
リース資産	17,137,976	24,144,920	△7,006,944	71.0
建設仮勘定	108,041,891,363	103,019,785,044	5,022,106,319	104.9
無形固定資産	149,914,705,364	158,103,425,938	△8,188,720,574	94.8
ダム使用权	128,354,750,714	131,988,033,802	△3,633,283,088	97.2
水利権	21,413,138,278	25,921,626,250	△4,508,487,972	82.6
地上権	1,562,185	1,718,653	△156,468	90.9
施設利用権	83,099,315	116,972,979	△33,873,664	71.0
電話加入権	10,477,339	10,477,339	0	100.0
ソフトウェア	51,677,533	64,596,915	△12,919,382	80.0
投資その他の資産	120,368,000	120,368,000	0	100.0
出資金	120,368,000	120,368,000	0	100.0
流動資産	57,624,141,294	49,818,851,704	7,805,289,590	115.7
現金預金	53,981,297,849	46,164,619,028	7,816,678,821	116.9
未収金	3,555,688,242	3,497,268,051	58,420,191	101.7
貯蔵品	87,155,203	156,964,625	△69,809,422	55.5
資産合計	604,868,042,043	598,987,479,429	5,880,562,614	101.0

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定負債	182,974,194,987	191,129,690,893	△8,155,495,906	95.7
企業債	121,666,967,878	122,994,755,711	△1,327,787,833	98.9
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	121,666,967,878	122,994,755,711	△1,327,787,833	98.9
他会計借入金	957,000,000	1,262,000,000	△305,000,000	75.8
建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	844,000,000	1,036,000,000	△192,000,000	81.5
その他の長期借入金	113,000,000	226,000,000	△113,000,000	50.0
リース債務	10,941,513	18,509,013	△7,567,500	59.1
引当金	2,591,855,936	4,082,326,518	△1,490,470,582	63.5
退職給付引当金	2,376,390,909	2,697,071,788	△320,680,879	88.1
修繕引当金	215,465,027	1,385,254,730	△1,169,789,703	15.6
年賦未払金	57,747,429,660	62,772,099,651	△5,024,669,991	92.0
機構負担年賦金	56,265,693,792	61,130,980,711	△4,865,286,919	92.0
施設購入年賦金	1,481,735,868	1,641,118,940	△159,383,072	90.3
流動負債	23,850,571,019	20,246,429,931	3,604,141,088	117.8
企業債	10,162,787,833	10,317,880,385	△155,092,552	98.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	10,162,787,833	10,317,880,385	△155,092,552	98.5
他会計借入金	305,000,000	804,000,000	△499,000,000	37.9
建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	192,000,000	691,000,000	△499,000,000	27.8
その他の長期借入金	113,000,000	113,000,000	0	100.0
リース債務	7,567,500	7,567,500	0	100.0
未払金	7,885,878,297	3,689,067,179	4,196,811,118	213.8
引当金	200,036,683	189,657,032	10,379,651	105.5
賞与引当金	200,036,683	189,657,032	10,379,651	105.5
年賦未払金	5,024,669,991	4,988,389,954	36,280,037	100.7
機構負担年賦金	4,865,286,919	4,818,939,112	46,347,807	101.0
施設購入年賦金	159,383,072	169,450,842	△10,067,770	94.1
その他流動負債	264,630,715	249,867,881	14,762,834	105.9
繰延収益	114,576,889,367	115,420,562,024	△843,672,657	99.3
受贈財産評価額長期前受金	12,009,270	13,311,480	△1,302,210	90.2
工事負担金長期前受金	65,043,263	77,279,405	△12,236,142	84.2
国庫補助金長期前受金	104,487,215,810	104,764,379,470	△277,163,660	99.7
他会計補助金長期前受金	10,012,621,024	10,565,591,669	△552,970,645	94.8
負債合計	321,401,655,373	326,796,682,848	△5,395,027,475	98.3
資本金	265,458,841,102	253,726,463,555	11,732,377,547	104.6
剰余金	18,007,545,568	18,464,333,026	△456,787,458	97.5
資本剰余金	8,223,308,276	8,213,744,437	9,563,839	100.1
受贈財産評価額	9,877,107	9,877,107	0	100.0
寄附金	7,964,000	7,964,000	0	100.0
国庫補助金	6,304,738,071	6,295,174,232	9,563,839	100.2
他会計補助金	1,900,729,098	1,900,729,098	0	100.0
利益剰余金	9,784,237,292	10,250,588,589	△466,351,297	95.5
利益積立金	1,260,000,000	1,260,000,000	0	100.0
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	8,524,237,292	8,990,588,589	△466,351,297	94.8
資本合計	283,466,386,670	272,190,796,581	11,275,590,089	104.1
負債資本合計	604,868,042,043	598,987,479,429	5,880,562,614	101.0

ア 資産総額は、604,868,042,043円であり、前年度と比較して5,880,562,614円（1.0%）増加している。

固定資産は、547,243,900,749円であり、前年度と比較して1,924,726,976円（0.4%）減少している。これは主に、有形固定資産が建設仮勘定の増加等により6,263,993,598円増加した一方で、無形固定資産が減価償却等により8,188,720,574円減少したことによるものである。

流動資産は、57,624,141,294円であり、前年度と比較して7,805,289,590円（15.7%）増加している。これは主に、貯蔵品は減少したが、現金預金が前年度と比較して7,816,678,821円増加したこと等によるものである。

イ 負債総額は、321,401,655,373円であり、前年度と比較して5,395,027,475円（1.7%）減少している。これは、流動負債が3,604,141,088円（17.8%）増加したが、固定負債が8,155,495,906円（4.3%）及び繰延収益が843,672,657円（0.7%）減少したことによるものである。

固定負債の減少は、主に水資源機構への機構負担年賦金を流動負債に振り替えたこと、流動負債の増加は、主に未払金の増加によるものである。繰延収益の減少は、補助金等の長期前受金が減少したことによるものである。

ウ 資本総額は、283,466,386,670円であり、前年度と比較して11,275,590,089円（4.1%）増加している。これは、資本金が11,732,377,547円（4.6%）増加し、剰余金が456,787,458円（2.5%）減少したことによるものである。

## (7) その他

### ア キャッシュ・フロー計算書

当年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

(単位:円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益(△は純損失)	4,259,457,698
減価償却費	21,268,683,783
資産減耗費	112,749,243
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△320,680,879
修繕引当金の増減額(△は減少)	△1,169,789,703
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,379,651
長期前受金戻入額	△4,522,933,165
受取利息及び受取配当金	△4,078,356
支払利息及び企業債取扱諸費	3,803,641,057
その他特別利益	△109,997,565
その他特別損失	108,767,331
未収金の増減額(△は増加)	△58,420,191
未払金の増減額(△は減少)	10,785,985
たな卸資産の増減額(△は増加)	69,809,422
その他の流動負債の増減額(△は減少)	14,762,834
小計	23,473,137,145
利息及び配当金の受取額	4,078,356
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△3,803,641,057
損害賠償金の受取額	96,664,762
業務活動によるキャッシュ・フロー	19,770,239,206
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,786,538,263
無形固定資産の取得による支出	△6,592,909,985
国庫補助金等による収入	3,514,647,275
国庫補助金等の返還による支出	△24,174,351
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	211,684,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,677,291,098
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	8,835,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△10,317,880,385
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△691,000,000
その他の他会計借入金の返済による支出	△113,000,000
リース債務の返済による支出	△7,567,500
割賦債務の返済による支出	△4,988,389,954
他会計からの出資による収入	7,006,568,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276,269,287
資金増加額(又は減少額)	7,816,678,821
資金期首残高	46,164,619,028
資金期末残高	53,981,297,849

業務活動によるキャッシュ・フローは、19,770,239,206円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは、11,677,291,098円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは、276,269,287円の減少の結果、資金期末残高は期首に比べて7,816,678,821円の増加となっている。

イ 注記

地方公営企業法施行規則第35条に基づき次の事項について注記されている。

1 重要な会計方針	(1) 資産の評価基準及び評価方法 (2) 固定資産の減価償却の方法 (3) 引当金の計上方法 (4) 消費税等の会計処理方法
2 キャッシュ・フロー 計算書関連	(該当事項なし)
3 貸借対照表関連	(1) 企業債の償還に係る他会計の負担
4 セグメント情報の 開示	(セグメント情報なし)
5 リース契約により 使用する固定資産	(1) リース取引の処理方法 (2) リース資産に係る経過措置 (3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額
6 その他	(1) 引当金の取崩し (2) 長期継続契約に係るリース債務 (3) 年賦未払金の償還に係る他会計の負担

### 3 埼玉県地域整備事業会計

#### (1) 業務の概況

地域整備事業は、業務用地、住宅用地その他の地域の振興に資する施設のための用地を造成し、及び供給する事業を実施している。

29年度は、杉戸屏風深輪地区産業団地11区画、幸手中央地区産業団地1区画及び羽生下川崎産業団地1区画の分譲を行っている。

秩父みどりが丘工業団地、本庄いまい台産業団地、加須下高柳工業団地、行田みなみ産業団地、妻沼西部工業団地、杉戸深輪産業団地及び羽生下川崎産業団地において、賃貸を行っている。

現在、加須IC東地区産業団地、寄居スマートIC西地区産業団地及び草加柿木地区産業団地の整備事業を実施している。

また、大麻生ゴルフ場、吉見ゴルフ場及び妻沼ゴルフ場施設の貸付事業を行っている。

(表1) 分譲

地区名	事業年度	分譲面積(㎡)		備考
		29年度	28年度	
児玉工業団地	昭和47～59年度		12,991.32	
羽生下川崎産業団地	平成9～18年度	226,630.46		
幸手中央地区産業団地	平成23～27年度	12,043.94	233,160.02	
杉戸屏風深輪地区産業団地	平成24～28年度	189,959.71		
合計		428,634.11	246,151.34	

(表2) 賃貸

地区名	賃貸面積(㎡)			
	29年度		28年度	
秩父みどりが丘工業団地	4月～3月	244,404.78	4月～3月	244,404.78
本庄いまい台産業団地	4月～3月	67,863.10	4月～3月	67,863.10
加須下高柳工業団地	4月～3月	158,738.63	4月～3月	158,738.63
行田みなみ産業団地	4月～3月	4,776.80	9月～3月	4,776.80
妻沼西部工業団地	4月～3月	10,206.14	4月～3月	10,206.14
杉戸深輪産業団地	4月～3月	762.68	9月～3月	762.68
羽生下川崎産業団地	4月～8月	226,630.46	4月～3月	226,630.46
合計		713,382.59		713,382.59

(表3) 施行中

地区名	事業年度	施行面積(㎡)
加須IC東地区産業団地	平成27～30年度	176,900
寄居スマートIC西地区産業団地	平成28～30年度	140,600
草加柿木地区産業団地	平成29～31年度	194,400
合計		511,900

## (2) 決算報告書

予算額に対する決算額は、次のとおりである。

### ア 収益的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 事業収益	11,919,150,000	20,672,542,235	8,753,392,235
第1項 営業収益	11,753,045,000	20,447,623,943	8,694,578,943
第2項 営業外収益	68,700,000	72,311,757	3,611,757
第3項 特別利益	97,405,000	152,606,535	55,201,535

支出

(単位:円)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 事業費	7,708,105,160	16,223,213,186	0	△8,515,108,026
第1項 営業費用	7,623,243,000	16,166,157,426	0	△8,542,914,426
第2項 営業外費用	24,431,000	16,625,600	0	7,805,400
第3項 特別損失	40,431,160	40,430,160	0	1,000
第4項 予備費	20,000,000	0	0	20,000,000

事業収益の決算額は、20,672,542,235円で、予算額を8,753,392,235円上回っている。

これは、主に営業収益に羽生下川崎産業団地の貸付資産の売却があったこと、営業外収益に新規に投資有価証券を取得したことにより有価証券利息が見込みを上回ったこと及び特別利益に退職給付引当金の戻入れを計上したこと等によるものである。

事業費の決算額は、16,223,213,186円で、予算額を8,515,108,026円上回っている。これは、主に営業費用に羽生下川崎産業団地の売却原価を計上したこと等による。また、営業外費用の不用額7,805,400円は消費税納付額が見込みを下回ったことによる。



イ 資本的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 資本的収入	1,519,911,000	1,518,804,756	△1,106,244
第1項 長期貸付金償還金	1,515,110,000	1,515,109,194	△806
第2項 他会計補助金	4,799,000	3,591,768	△1,207,232
第3項 固定資産売却代金	1,000	0	△1,000
第4項 雑収入	1,000	103,794	102,794

支出

(単位:円)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 資本的支出	14,707,622,481	10,220,432,071	4,053,983,546	433,206,864
第1項 建設改良費	12,332,931,481	8,054,782,235	4,053,983,546	224,165,700
第2項 建設準備費	174,691,000	165,649,836	0	9,041,164
第3項 投資有価証券	2,000,000,000	2,000,000,000	0	0
第4項 予備費	200,000,000	0	0	200,000,000

資本的収入のうち長期貸付金償還金1,515,109,194円は、一般会計への長期貸付金の償還金であり、他会計補助金3,591,768円は、児童手当や基礎年金拠出金に係る一般会計からの繰入金である。

資本的支出のうち建設改良費は、杉戸屏風深輪地区産業団地、加須 I C 東地区産業団地、寄居スマート I C 西地区産業団地、草加柿木地区産業団地の整備事業費及び大麻生ゴルフ場駐車場等工事費が計上されている。翌年度繰越額は、業務設備整備費に係る建設改良費の繰越額14,522,000円と加須 I C 東地区産業団地、寄居スマート I C 西地区産業団地及び草加柿木地区産業団地に係る継続費通次繰越額4,039,461,546円である。

建設準備費165,649,836円は新規事業に係る調査費等である。

なお、資本的収入が資本的支出額に不足する額8,701,627,315円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,382,537円及び過年度分損益勘定留保資金8,699,244,778円で補填されている。

### (3) 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比較	
	A	B	A-B	A/B
営業収益	20,412,933,279	9,266,328,120	11,146,605,159	220.3
産業団地売却収益	19,342,411,780	8,071,765,031	11,270,646,749	239.6
産業団地貸付収益	623,544,492	891,364,154	△267,819,662	70.0
ゴルフ場施設貸付収益	314,244,202	281,549,384	32,694,818	111.6
受託工事収益	109,008,926		109,008,926	皆増
その他営業収益	23,723,879	21,649,551	2,074,328	109.6
営業費用	16,150,147,451	8,342,134,928	7,808,012,523	193.6
産業団地売却原価	15,519,292,097	7,904,707,220	7,614,584,877	196.3
受託工事費	109,872,820		109,872,820	皆増
一般管理費	455,253,727	417,785,907	37,467,820	109.0
減価償却費	65,648,749	19,589,366	46,059,383	335.1
資産減耗費	80,058	52,435	27,623	152.7
営業利益	4,262,785,828	924,193,192	3,338,592,636	461.2
営業外収益	72,311,478	84,245,535	△11,934,057	85.8
受取利息及び配当金	65,488,614	76,516,639	△11,028,025	85.6
他会計補助金	6,721,821	5,791,999	929,822	116.1
長期前受金戻入	9,765		9,765	皆増
雑収益	91,278	1,936,897	△1,845,619	4.7
営業外費用	3,321,996	2,747,164	574,832	120.9
雑支出	3,321,996	2,747,164	574,832	120.9
経常利益	4,331,775,310	1,005,691,563	3,326,083,747	430.7
特別利益	152,606,535	142,780,660	9,825,875	106.9
その他特別利益	152,606,535	142,780,660	9,825,875	106.9
特別損失	37,435,333	88,580,062	△51,144,729	42.3
その他特別損失	37,435,333	88,580,062	△51,144,729	42.3
当年度純利益(純損失)	4,446,946,512	1,059,892,161	3,387,054,351	419.6
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	1,059,892,161	0	1,059,892,161	皆増
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	5,506,838,673	1,059,892,161	4,446,946,512	519.6

ア 営業収益

営業収益は前年度と比較して11,146,605,159円（120.3%）増加している。営業収益のうち産業団地売却収益19,342,411,780円は、（1）業務の概況で述べたとおり、前年度と比較して分譲実績が増加したことにより11,270,646,749円増加となった。

ゴルフ場施設貸付収益314,244,202円は、大麻生ゴルフ場施設、吉見ゴルフ場施設及び妻沼ゴルフ施設に係る貸付収入である。

受託工事収益は、農業大学校跡地開発に関する受託収入である。

イ 営業費用

営業費用は前年度と比較して7,808,012,523円（93.6%）増加している。営業費用のうち、産業団地売却原価15,519,292,097円は、分譲実績が増加したことにより前年度と比較して7,614,584,877円増加している。そのほか、前年度に比べ、受託工事費が109,872,820円、一般管理費が37,467,820円、減価償却費が46,059,383円それぞれ増加している。

ウ 営業外収益

主に受取利息の減少等により、前年度と比較して11,934,057円（14.2%）減少している。

エ 特別利益

産業団地整備事業に係る地元負担金収入97,405,000円及び退職給付引当金の戻入れ55,201,535円を計上している。

オ 特別損失

大麻生ゴルフ場クラブハウスの解体撤去費用を計上している。

カ 当年度純利益

これらにより当年度純利益4,446,946,512円を計上し、前年度と比較して3,387,054,351円（319.6%）の増加となった。

#### (4) 剰余金計算書

ア 資本金

資本金の額に変動はない。

イ 資本剰余金

資本剰余金の額に変動はない。

ウ 利益剰余金

未処分利益剰余金として当年度純利益4,446,946,512円を増額させている。

#### (5) 剰余金処分計算書 (案)

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	89,074,128,052	0	5,506,838,673
議会の議決による処分類	0	0	0
処分後残高	89,074,128,052	0	(繰越利益剰余金) 5,506,838,673

未処分利益剰余金5,506,838,673円を繰り越す案としている。

## (6) 貸借対照表

当年度末における資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定資産	30,301,775,706	38,367,439,918	△8,065,664,212	79.0
有形固定資産	17,345,354,080	25,880,828,017	△8,535,473,937	67.0
土地	14,377,468,757	22,877,041,344	△8,499,572,587	62.8
建物	1,277,778,444	1,317,544,813	△39,766,369	97.0
構築物	1,583,182,179	1,570,786,634	12,395,545	100.8
機械及び装置	864,448	865,810	△1,362	99.8
車両運搬具	90,000	90,000	0	100.0
工具、器具及び備品	33,603,244	39,528,578	△5,925,334	85.0
建設仮勘定	72,367,008	74,970,838	△2,603,830	96.5
無形固定資産	1,175,600	1,175,600	0	100.0
電話加入権	1,175,600	1,175,600	0	100.0
投資その他の資産	12,955,246,026	12,485,436,301	469,809,725	103.8
投資有価証券	4,005,652,118	2,015,618,313	1,990,033,805	198.7
長期貸付金	8,949,593,908	10,469,817,988	△1,520,224,080	85.5
事業資産	9,903,046,630	8,739,421,705	1,163,624,925	113.3
完成資産	0	386,128,716	△386,128,716	皆減
未成資産	9,903,046,630	8,353,292,989	1,549,753,641	118.6
流動資産	56,040,799,870	45,650,206,842	10,390,593,028	122.8
現金預金	54,400,030,876	44,066,616,957	10,333,413,919	123.4
未収金	117,729,640	66,466,787	51,262,853	177.1
短期貸付金	1,520,224,080	1,515,109,194	5,114,886	100.3
未収収益	2,815,274	2,013,904	801,370	139.8
資産合計	96,245,622,206	92,757,068,465	3,488,553,741	103.8

(単位:円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定負債	343,155,214	398,549,901	△55,394,687	86.1
リース債務	177,075	370,227	△193,152	47.8
引当金	342,978,139	398,179,674	△55,201,535	86.1
退職給付引当金	342,978,139	398,179,674	△55,201,535	86.1
流動負債	1,320,965,151	2,223,953,470	△902,988,319	59.4
リース債務	193,152	193,152	0	100.0
未払金	665,629,548	516,230,368	149,399,180	128.9
前受金	133,514,622	446,646,280	△313,131,658	29.9
引当金	22,685,835	23,469,230	△783,395	96.7
賞与引当金	22,685,835	23,469,230	△783,395	96.7
その他流動負債	498,941,994	1,237,414,440	△738,472,446	40.3
繰延収益	535,116	544,881	△9,765	98.2
受贈財産評価額長期前受金	14,990	14,990	0	100.0
他会計補助金長期前受金	520,126	529,891	△9,765	98.2
負債合計	1,664,655,481	2,623,048,252	△958,392,771	63.5
資本金	89,074,128,052	89,074,128,052	0	100.0
剰余金	5,506,838,673	1,059,892,161	4,446,946,512	519.6
利益剰余金	5,506,838,673	1,059,892,161	4,446,946,512	519.6
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	5,506,838,673	1,059,892,161	4,446,946,512	519.6
資本合計	94,580,966,725	90,134,020,213	4,446,946,512	104.9
負債資本合計	96,245,622,206	92,757,068,465	3,488,553,741	103.8

ア 資産総額は、96,245,622,206円であり、前年度と比較して3,488,553,741円（3.8%）増加している。

固定資産は、30,301,775,706円であり、前年度と比較して8,065,664,212円（21.0%）減少している。これは、主に、投資その他の資産において、投資有価証券を新規に取得したことにより増加したが、有形固定資産において、羽生下川崎産業団地の貸付資産を事業資産に振り替えたことにより土地が減少したこと等によるものである。

事業資産は、9,903,046,630円であり、前年度と比較して1,163,624,925円（13.3%）増加している。これは、主に、完成資産は、幸手中央地区産業団地の分譲により減少したが、未成資産が、加須 I C 東地区産業団地や寄居スマート I C 西地区産業団地の整備が進捗したこと及び草加柿木地区産業団地区の整備費用を計上したことによるものである。

流動資産は、56,040,799,870円であり、前年度と比較して10,390,593,028円（22.8%）増加している。これは、主に現金預金が10,333,413,919円増加したこと等によるものである。

イ 負債総額は、1,664,655,481円であり、前年度と比較して958,392,771円（36.5%）減少している。これは、主に、流動負債において、その他流動負債に計上した杉戸屏風深輪地区産業団地の分譲に伴う契約保証金や前受金に計上した手付金を収益に振り替えたことによるものである。

ウ 資本総額は、94,580,966,725円であり、前年度と比較して4,446,946,512円（4.9%）増加している。これは、当年度純利益が計上されたことによるものである。

## (7) その他

### ア キャッシュ・フロー計算書

当年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

(単位:円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益(△は純損失)	4,446,946,512
減価償却費	65,648,749
資産減耗費	80,058
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△55,201,535
賞与引当金の増減額(△は減少)	△783,395
長期前受金戻入額	△9,765
受取利息及び受取配当金	△65,488,614
未収金の増減額(△は増加)	△51,262,853
未払金の増減額(△は減少)	148,083,287
事業資産の増減額(△は増加)	△1,163,624,925
有形固定資産から事業資産への振替額	8,499,572,587
前受金の増減額(△は減少)	△313,131,658
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△738,472,446
小計	10,772,356,002
利息及び配当金の受取額	74,653,439
業務活動によるキャッシュ・フロー	10,847,009,441
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△28,511,564
投資有価証券の取得による支出	△2,000,000,000
貸付金の回収による収入	1,515,109,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△513,402,370
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△193,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,152
資金増加額(又は減少額)	10,333,413,919
資金期首残高	44,066,616,957
資金期末残高	54,400,030,876

業務活動によるキャッシュ・フローは、10,847,009,441円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは、513,402,370円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは、193,152円の減少の結果、資金期末残高は期首に比べて10,333,413,919円の増加となっている。



イ 注記

地方公営企業法施行規則第35条に基づき次の事項について注記されている。

1 重要な会計方針	(1) 資産の評価基準及び評価方法 (2) 固定資産の減価償却の方法 (3) 引当金の計上方法 (4) 消費税等の会計処理方法
2 キャッシュ・フロー 計算書関連	(該当事項なし)
3 貸借対照表関連	(該当事項なし)
4 セグメント情報の 開示	(土地造成事業とゴルフ場施設貸付事業)
5 リース契約により 使用する固定資産	(1) リース取引の処理方法 (2) リース資産に係る経過措置 (3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・ リース取引に係る未経過リース料相当額
6 その他	(1) 引当金の取崩し (2) 長期継続契約に係るリース債務

## 第 1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成 29 年度埼玉県病院事業会計決算

### 2 審査の期間

平成 30 年 8 月 6 日から平成 30 年 9 月 13 日まで

### 3 審査の方法

決算審査に当たっては、知事から審査に付された決算書が、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するとともに、経営の基本原則である経済性の発揮及び公共の福祉の増進が図られているかどうかを主眼をおき、会計帳票、証拠書類と照合し、既に実施した定期監査及び現金出納検査の結果をも参考にして慎重に審査を行った。

## 第 2 審査の結果

### 1 審査意見

平成 29 年度埼玉県病院事業会計決算については、決算書及び同附属書類並びに関係諸帳簿及び証拠書類を照合審査した結果、符合していることを確認した。

また、事業の運営及び予算の執行に当たっては、関係法令及び予算議決の趣旨に沿って、おおむね適正に行われているものと認めた。

なお、次のとおり一部に留意又は改善を要する事項が認められた。

## 2 留意又は改善を要する事項

埼玉県立病院経営改善アクションプラン（平成27～29年度）に掲げられた主な業績評価指標について県立4病院の平成29年度の実績値を見ると病床利用率は、平成29年度の目標に達したのは小児医療センターのみであったが、循環器・呼吸器病センター以外の3病院で平成28年度の実績を上回った。

医業収支比率は73.6%と平成28年度比で0.7ポイント悪化し、小児医療センター以外の3病院でアクションプランの目標値を下回っている。

当年度純損益額は4病院全体では約55億28百万円のマイナス（マイナスは平成25年度から5年連続）であるが、平成28年度に比べ約10億25百万円改善した。年度末の資金（現金預金）残高は80億5百万円と28年度比で約31億54百万円減少している。

また、企業債については、小児医療センター新病院建設関係などが5年間の据置期間を経過し償還が始まることから、今後、償還金の増加が見込まれる。

病院局は、平成29年度までの埼玉県立病院経営改善アクションプランの目標値未達成の主な原因の一つに医師の確保に課題があったとしている。

そのため、医師を確保し、病床利用率を上げることで、医業収益を確保し持続的な経営ができるよう経営改善に向け、新たな埼玉県立病院経営改善アクションプラン（平成30～32年度）を進めていくとしている。

今後、収支均衡を目指すためには、埼玉県立病院経営改善アクションプラン（平成30～32年度）の目標達成に向け継続的な経営が実現するよう経営改善に向けた取組を着実に進めていく必要がある。

特に、高度医療に必要な医師・看護師等の確保が重要であり、病院局全体で取り組む必要がある。

### 【説明】

#### (1) 病床利用率

(単位:%)

		循環器・呼吸器病センター	がんセンター	小児医療センター	精神医療センター	4病院計
平成29年度 (A)		69.1	73.6	81.1	81.1	75.2
平成28年度 (B)		72.4	70.6	71.1	78.0	72.2
アクションプラン目標値 (C)		83.5	83.0	78.0	83.8	—
増減	前年度比較(A)-(B)	△3.3	3.0	10.0	3.1	3.0
	目標値比較(A)-(C)	△14.4	△9.4	3.1	△2.7	—

#### (2) 医業収支比率

(単位:%)

		循環器・呼吸器病センター	がんセンター	小児医療センター	精神医療センター	4病院計
平成29年度 (A)		70.6	82.8	66.8	64.8	73.6
平成28年度 (B)		76.2	80.3	67.8	61.5	74.3
アクションプラン目標値(C)		82.7	85.9	56.4	66.4	—
増減	前年度比較(A)-(B)	△5.6	2.5	△1.0	3.3	△0.7
	目標値比較(A)-(C)	△12.1	△3.1	10.4	△1.6	—

**(3) 純損益額・現金預金の推移**

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
純損益額	△1,858	△4,898	△7,073	△6,552	△5,528
現金預金	17,024	17,607	14,742	11,159	8,005

**(4) 企業債償還額の推移**

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
企業債償還額	765	1,870	1,883	2,002	3,646

**(5) 病院別医師の増減**

(単位:人)

	区分	平成29年3月 31日現在員	平成30年3月 31日現在員	増減
循環器・呼吸器病センター	常勤	52	51	△1
	非常勤	41	22	△19
がんセンター	常勤	102	106	4
	非常勤	29	30	1
小児医療センター	常勤	103	114	11
	非常勤	47	71	24
精神医療センター	常勤	23	24	1
	非常勤	6	8	2
合計	常勤	280	295	15
	非常勤	123	131	8

※医師は、歯科医師を含む

**(6) 医師の確保**

埼玉県立病院経営改善アクションプラン（平成30年度～平成32年度）（抜粋）

## 第四章 病院局全体として取り組むべき課題

## 2 優れた人材の確保と資質の向上

## 【今後の取組】

- 最新の医療機器の積極的な導入による高度専門医療の提供、指導医や専門医など高度な技術を持った医師による指導体制の構築など、引き続き医師にとって魅力ある職場環境づくりを進める。
- 看護師の採用については、看護師養成校訪問や合同就職説明会への参加、インターンシップの実施などを継続する。

### 第 3 決算の状況等

#### 埼玉県病院事業会計

#### 1 業務の概況

##### (1) 事業の沿革及び概要

埼玉県の病院事業は、県民の健康保持に必要な医療を提供するため、昭和28年に埼玉県立寄居保養所を設置したことに始まる。その後、病院の新設や統廃合を経て、現在は、埼玉県立循環器・呼吸器病センター、埼玉県立がんセンター、埼玉県立小児医療センター及び埼玉県立精神医療センターの4病院で、それぞれ高度・専門医療を提供している。

各病院の概要は、(表1)のとおりである。

(表1) 各病院の概要

(平成29年度)

項目 \ 病院	循環器・呼吸器病センター	がんセンター	小児医療センター	精神医療センター
開設年	昭和29年	昭和50年	昭和58年	平成2年
所在地	熊谷市	伊奈町	さいたま市	伊奈町
敷地面積 (m <sup>2</sup> )	78,139	202,825	10,031	30,160
建物面積 (m <sup>2</sup> )	42,523	68,824	65,447	17,254
主要業務	循環器系及び呼吸器系の疾患に関する医療の提供	悪性新生物疾患に関する医療の提供	小児疾患に関する医療の提供	精神障害に関する医療の提供
診療科目数	17	22	19	6
医師定数	74	109	117	25
病床数	343	503	316	183

※ 循環器・呼吸器病センターの病床数は、一般病床292、結核病床30、感染症病床21である。

##### (2) 患者数の動向

入院患者数は、延べ369,360人で前年度に比較して24,159人、7.0%の増加であり、小児医療センターで18.5%、循環器・呼吸器病センターで2.4%、がんセンターで4.2%、精神医療センターで3.9%の増となっている。これは主として、4病院とも、述べ入院患者数が前年度を上回っているが、特に、小児医療センターが新都心への移転が完了し、入院制限を行わなくなったため入院患者数が増加している。

(表2、表3、表4)

(表2) 延べ入院患者数の推移

(単位：人)

病 院	年 度		対前年度比較	
	29年度	28年度	29-28	%
循環器・呼吸器病センター	86,570	84,546	2,024	2.4
がんセンター	135,077	129,602	5,475	4.2
小児医療センター	93,560	78,926	14,634	18.5
精神医療センター	54,153	52,127	2,026	3.9
合 計	369,360	345,201	24,159	7.0

(表3) 1日当たりの入院患者数の推移

(単位：人)

病 院	年 度		対前年度比較
	29年度	28年度	29-28
循環器・呼吸器病センター	237.2	231.6	5.6
がんセンター	370.1	355.1	15.0
小児医療センター	256.3	216.2	40.1
精神医療センター	148.4	142.8	5.6
合 計	1,011.9	945.8	66.1

(表4) 平均在院日数の推移

(単位：日)

病 院	年 度		対前年度比較
	29年度	28年度	29-28
循環器・呼吸器病センター	14.7	14.7	0.0
がんセンター	13.9	13.5	0.4
小児医療センター	12.6	12.1	0.5
精神医療センター	81.7	85.0	△3.3

平均在院日数：延入院患者数 / 入院実患者数

外来患者数は、延べ443,549人で前年度に比較して10,245人、2.3%の増であった。病院別では、循環器・呼吸器病センターで1.4%、精神医療センターで0.4%、小児医療センターで5.1%、がんセンターで1.2%の増となっている。これは主として、小児医療センターについて、移転が完了し、通常通りの患者受入が可能となったため増加している。(表5、表6)

(表5) 外来患者数の推移

(単位：人)

病 院	年 度		対前年度比較	
	29年度	28年度	29-28	%
循環器・呼吸器病センター	72,589	71,569	1,020	1.4
がんセンター	201,420	199,044	2,376	1.2
小児医療センター	139,520	132,794	6,726	5.1
精神医療センター	30,020	29,897	123	0.4
合 計	443,549	433,304	10,245	2.3

(表6) 1日当たりの外来患者数の推移

(単位：人)

病 院	年 度		対前年度比較
	29年度	28年度	29-28
循環器・呼吸器病センター	297.5	294.5	3.0
がんセンター	825.5	819.1	6.4
小児医療センター	571.8	555.6	16.2
精神医療センター	123.0	123.0	0.0
合 計	1,817.8	1,792.3	25.5

## 2 決算報告書

予算額に対する決算額は、次のとおりである。

### (1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 病院事業収益	55,125,385,000	50,621,502,286	△4,503,882,714
第1項 医業収益	43,196,614,000	39,112,900,786	△4,083,713,214
第2項 医業外収益	11,764,954,000	11,305,975,588	△458,978,412
第3項 特別利益	163,817,000	202,625,912	38,808,912

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
第1款 病院事業費用	60,428,758,000	56,202,078,480	0	4,226,679,520
第1項 医業費用	58,943,286,000	54,791,887,689	0	4,151,398,311
第2項 医業外費用	1,327,847,000	1,253,589,298	0	74,257,702
第3項 特別損失	137,625,000	156,601,493	0	△18,976,493
第4項 予備費	20,000,000	0	0	20,000,000

病院事業収益の決算額は、50,621,502,286円で、予算額を4,503,882,714円下回っている。これは主に、医業収益において、入院収益が見込みを下回ったことによるものである。

病院事業費用の決算額は、56,202,078,480円で、4,226,679,520円が不用額となっている。これは主として、委託料及び光熱水費等の経費が見込みを下回ったこと及び入院患者が見込みを下回ったことに伴う材料費の減等によるものである。

特別損失156,601,493円は、主として循環器・呼吸器病センター及び小児医療センターの移転及び解体に伴う費用等である。

## (2) 資本的収入及び支出

### 収入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減
第1款 資本的収入	6,102,678,000	4,519,872,032	△1,582,805,968
第1項 企業債	3,056,000,000	1,726,000,000	△1,330,000,000
第2項 他会計負担金	2,107,083,000	1,951,463,000	△155,620,000
第3項 固定資産売却代金	1,000	0	△1,000
第4項 補助金	885,157,000	840,078,252	△45,078,748
第5項 国庫補助金	52,070,000	0	△52,070,000
第6項 寄附金	1,000	0	△1,000
第7項 受託金	2,365,000	2,330,780	△34,220
第8項 その他収入	1,000	0	△1,000

### 支出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
第1款 資本的支出	8,475,800,393	6,342,831,389	312,343,020	1,820,625,984
第1項 建設改良費	4,533,517,393	2,697,151,300	312,343,020	1,524,023,073
第2項 企業債償還金	3,942,283,000	3,645,680,089	0	296,602,911

資本的収入の決算額は、4,519,872,032円で、建設改良に要する企業債と他会計負担金が主なものである。

資本的支出の決算額は、6,342,831,389円、繰越額が312,343,020円で、1,820,625,984円が不用額となっている。

資本的支出の建設改良費に係る翌年度繰越額312,343,020円は、小児医療センター新病院建設費に係る建設改良繰越額である。

なお、資本的収入額4,519,872,032円と資本的支出額6,342,831,389円との差額1,822,959,357円については、減債積立金7,500,753円及び過年度分損益勘定留保資金1,815,458,604円で補填されている。

## 3 損益計算書

当年度の経営成績は、比較損益計算書のとおりである。

### (1) 損 益

病院事業収益は、50,517,570,845円、病院事業費用は、56,045,080,638円で、一般会計からの繰入金9,202,487,000円を計上し、差引き5,527,509,793円の純損失が生じている。

### (2) 収 益



病院事業収益の50,517,570,845円を前年度と比較すると、4,086,825,941円（8.8%）の増加となっている。これは主として、医業収益が2,291,882,308円、医業外収益が1,745,179,196円、特別利益が49,764,437円増加したことによるものである。

### (3) 費用

病院事業費用の56,045,080,638円を前年度と比較すると、3,062,043,980円（5.8%）の増加となった。これは主に、医業費用が3,576,204,078円、医業外費用が394,723,940円増加したものの、特別損失が908,884,038円減少したことによるものである。

## 4 剰余金計算書

### (1) 資本金

資本金は前年度から増減はなかった。

### (2) 資本剰余金

資本剰余金は前年度から増減はなかった。

### (3) 利益剰余金

減債積立金7,500,453円を取り崩し、同額について未処分利益剰余金を増加させたが、当年度純損失5,527,509,793円を計上したため、当年度未処理欠損金が16,644,216,374円となっている。

## 5 欠損金処理計算書（案）

（単位：円）

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	29,886,286,582	5,055,436,528	△16,644,216,374
議会の議決による処分類	0	0	0
処分後残高	29,886,286,582	5,055,436,528	(繰越欠損金) △16,644,216,374

未処理欠損金16,644,216,374円をそのまま繰り越す案としている。

## 6 貸借対照表

当年度末における資産及び負債・資本の状況は、比較貸借対照表のとおりである。

- (1) 資産総額は、117,057,512,082円であり、前年度と比較して7,321,371,215円（5.9%）減少している。これは主に、小児医療センター新病院を含む病院資産を減価償却したことによるものである。
- (2) 負債総額は、98,760,005,346円であり、前年度と比較して1,793,861,422円（1.8%）減少している。これは主に、小児医療センター新病院建設に係るものを含む企業債の償還及び未払金の減少によるものである。
- (3) 資本総額は、18,297,506,736円であり、前年度と比較して5,527,509,793円（23.2%）減少している。これは、当年度純損失を5,527,509,793円計上した結果、繰越欠損金が増加したことによるものである。

# 比較貸借対照表

(単位：円)

	区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度増減	対前年度比
		A	B	A-B	A/B
資 産	1 固定資産	101,407,576,758	105,475,928,135	△4,068,351,377	96.1%
	(1) 有形固定資産	96,002,906,299	99,569,418,879	△3,566,512,580	96.4%
	イ 土地	15,136,732,737	15,136,732,737	0	100.0%
	ロ 建物	65,941,824,541	67,132,073,062	△1,190,248,521	98.2%
	ハ 構築物	3,600,057,388	3,888,665,000	△288,607,612	92.6%
	ニ 器械備品	10,867,320,994	12,931,337,722	△2,064,016,728	84.0%
	ホ 車両	16,972,018	21,698,665	△ 4,726,647	78.2%
	ヘ リース資産	412,615,491	397,891,417	14,724,074	103.7%
	ト 建設仮勘定	15,893,130	49,530,276	△ 33,637,146	32.1%
	チ その他有形固定資産	11,490,000	11,490,000	0	100.0%
	(2) 無形固定資産	1,045,366,585	1,154,970,502	△ 109,603,917	90.5%
	イ 電話加入権	8,492,402	8,492,402	0	100.0%
	ロ ソフトウェア	1,035,797,523	1,138,201,440	△ 102,403,917	91.0%
	ハ ソフトウェア仮勘定	0	7,200,000	△ 7,200,000	皆減
	ニ その他無形固定資産	1,076,660	1,076,660	0	100.0%
	(3) 投資その他の資産	4,359,303,874	4,751,538,754	△392,234,880	91.7%
	イ 長期前払消費税	4,359,303,874	4,751,538,754	△392,234,880	91.7%
	2 流動資産	15,649,935,324	18,902,955,162	△ 3,253,019,838	82.8%
	(1) 現金預金	8,005,343,199	11,158,942,113	△ 3,153,598,914	71.7%
	(2) 未収金	7,476,580,973	7,629,813,834	△ 153,232,861	98.0%
(3) 貯蔵品	156,784,352	102,664,047	54,120,305	152.7%	
(4) 前払費用	11,226,800	11,226,800	0	100.0%	
(5) 前払金	0	308,368	△308,368	皆減	
資 産 合 計	117,057,512,082	124,378,883,297	△7,321,371,215	94.1%	
負 債 及 び 資 本	1 固定負債	83,868,791,681	86,081,479,992	△2,212,688,311	97.4%
	(1) 企業債	79,449,106,205	82,025,030,682	△2,575,924,477	96.9%
	イ <small>建設改良費等の財源に充てるための企業債</small>	79,403,206,205	82,025,030,682	△2,621,824,477	96.8%
	ロ その他の企業債	45,900,000	0	45,900,000	皆増
	(2) リース債務	341,036,998	342,628,154	△1,591,156	99.5%
	(3) 引当金	4,078,648,478	3,713,821,156	364,827,322	109.8%
	イ 退職給付引当金	4,078,648,478	3,713,821,156	364,827,322	109.8%
	2 流動負債	9,702,145,671	10,471,810,276	△769,664,605	92.7%
	(1) 企業債	4,352,924,477	3,645,680,089	707,244,388	119.4%
	イ <small>建設改良費等の財源に充てるための企業債</small>	4,347,824,477	3,645,680,089	702,144,388	119.3%
	ロ その他の企業債	5,100,000	0	5,100,000	皆増
	(2) リース債務	104,587,716	87,094,576	17,493,140	120.1%
	(3) 未払金	3,495,347,219	5,124,791,674	△ 1,629,444,455	68.2%
	(4) 引当金	1,483,892,787	1,381,877,845	102,014,942	107.4%
	イ 賞与引当金	1,483,892,787	1,381,877,845	102,014,942	107.4%
	(5) その他流動負債	265,393,472	232,366,092	33,027,380	114.2%
	3 繰延収益	5,189,067,994	4,000,576,500	1,188,491,494	129.7%
	(1) 受贈財産評価額長期前受金	108,213,800	124,019,788	△ 15,805,988	87.3%
	(2) 補助金長期前受金	193,360,676	197,993,729	△ 4,633,053	97.7%
	(3) 国庫補助金長期前受金	1,598,590,548	1,677,672,939	△ 79,082,391	95.3%
(4) 他会計補助金長期前受金	855,025,742	19,457,540	835,568,202	4394.3%	
(5) 他会計負担金長期前受金	2,433,877,228	1,981,432,504	452,444,724	122.8%	
負 債 合 計	98,760,005,346	100,553,866,768	△ 1,793,861,422	98.2%	
本	1 資本金	29,886,286,582	29,886,286,582	0	100.0%
	2 剰余金	△ 11,588,779,846	△ 6,061,270,053	△ 5,527,509,793	191.2%
	(1) 資本剰余金	5,055,436,528	5,055,436,528	0	100.0%
	イ 受贈財産評価額	417,565,948	417,565,948	0	100.0%
	ロ 寄附金	750,000	750,000	0	100.0%
	ハ 国庫補助金	304,182,221	304,182,221	0	100.0%
	ニ その他資本剰余金	4,332,938,359	4,332,938,359	0	100.0%
	(2) 利益剰余金	△ 16,644,216,374	△ 11,116,706,581	△ 5,527,509,793	149.7%
	イ 減債積立金	0	7,500,753	△ 7,500,753	皆減
	ロ 当年度未処分利益剰余金	△ 16,644,216,374	△ 11,242,207,334	△ 5,520,009,040	149.6%
資 本 合 計	18,297,506,736	23,825,016,529	△ 5,527,509,793	76.8%	
負 債 資 本 合 計	117,057,512,082	124,378,883,297	△ 7,321,371,215	94.1%	

## 7 その他

### (1) キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	金 額
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
当年度純利益 (△は純損失)	△5,527,509,793
減価償却費	6,112,823,399
資産減耗費	43,334,399
長期前払消費税の増減額 (△は増加)	392,234,880
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	364,827,322
賞与引当金の増減額 (△は減少)	102,014,942
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	192,937,617
長期前受金戻入額	△1,438,677,024
その他特別利益	△157,536,654
その他特別損失	30,595,649
受取利息及び受取配当金	△74,776
支払利息及び企業債取扱諸費	612,270,142
未収金の増減額 (△は増加)	△410,190,978
未払金の増減額 (△は減少)	△904,587,532
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54,120,305
前払金の増減額 (△は増加)	308,368
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	33,027,380
小 計	△608,322,964
利息及び配当金の受取額	74,776
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△612,270,142
業務活動によるキャッシュ・フロー	△1,220,518,330
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,975,563,880
無形固定資産の取得による支出	△154,940,997
特定収入に係る控除対象外消費税等による支出	△2,057,230
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	1,946,684,150
受託金による収入	1,212,568,926
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,690,969
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,726,000,000
その他の企業債による収入	51,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△3,645,680,089
リース債務の返済による支出	△91,091,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,959,771,553
資金増加額 (又は減少額)	△3,153,598,914
資金期首残高	11,158,942,113
資金期末残高	8,005,343,199

業務活動によるキャッシュ・フローは 1,220,518,330円の減少、投資活動によるキャッシュ・フローは 26,690,969円の増加、財務活動によるキャッシュ・フローは 1,959,771,553円の減少の結果、資金期末残高は期首に比べて3,153,598,914円の減少となっている。

(2) 注記

地方公営企業法施行規則第35条に基づき次の事項について注記されている。

1 重要な会計方針	(1) 資産の評価基準及び評価方法 (2) 固定資産の減価償却の方法 (3) 引当金の計上方法 (4) 消費税等の会計処理方法 (5) 会計上の見積りの変更
2 キャッシュ・フロー計算書関連	新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額
3 貸借対照表関連	企業債の償還に係る他会計の負担
4 セグメント情報の開示	(1) 報告セグメントの概要 (2) 報告セグメントごとの営業収益等
5 リース契約により使用する固定資産	(1) リース取引の処理方法 (2) リース資産に係る経過措置 (3) 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額
6 その他	(1) 引当金の取崩し (2) 長期継続契約に係るリース債務

# 比較損益計算書

## 1 病院事業会計全体

(単位：円)

区 分	平成29年度 A	平成28年度 B	対前年度増減 A - B	対前年度比 A / B
病院事業収益				
1 医業収益	39,032,542,126	36,740,659,818	2,291,882,308	106.2%
(1) 入院収益	25,825,584,680	24,050,530,384	1,775,054,296	107.4%
(2) 外来収益	12,015,473,991	11,508,624,900	506,849,091	104.4%
(3) その他医業収益	1,191,483,455	1,181,504,534	9,978,921	100.8%
2 医業外収益	11,282,402,807	9,537,223,611	1,745,179,196	118.3%
(1) 受取利息配当金	74,776	408,143	△333,367	18.3%
(2) 補助金	137,546,877	97,640,415	39,906,462	140.9%
(3) 負担金交付金	9,202,487,000	8,472,293,000	730,194,000	108.6%
(4) 長期前受金戻入	1,438,677,024	718,023,114	720,653,910	200.4%
(5) その他医業外収益	503,617,130	248,858,939	254,758,191	202.4%
3 特別利益	202,625,912	152,861,475	49,764,437	132.6%
(1) 過年度損益修正益	28,773,980	0	28,773,980	皆増
(2) その他特別利益	173,851,932	152,861,475	20,990,457	113.7%
収益合計	50,517,570,845	46,430,744,904	4,086,825,941	108.8%
病院事業費用				
1 医業費用	53,024,400,154	49,448,196,076	3,576,204,078	107.2%
(1) 給与費	24,283,275,864	23,509,798,777	773,477,087	103.3%
(2) 材料費	13,542,414,449	13,479,483,510	62,930,939	100.5%
(3) 経費	8,642,706,413	8,025,916,664	616,789,749	107.7%
(4) 減価償却費	6,112,823,399	3,979,487,117	2,133,336,282	153.6%
(5) 資産減耗費	45,368,751	135,928,640	△90,559,889	33.4%
(6) 研究研修費	397,811,278	317,581,368	80,229,910	125.3%
2 医業外費用	2,871,281,848	2,476,557,908	394,723,940	115.9%
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	612,270,142	466,044,888	146,225,254	131.4%
(2) 長期前払消費税勘定償却	586,292,536	382,026,126	204,266,410	153.5%
(3) 雑損失	1,672,719,170	1,628,486,894	44,232,276	102.7%
3 特別損失	149,398,636	1,058,282,674	△908,884,038	14.1%
(1) 過年度損益修正損	28,767,240	0	28,767,240	皆増
(2) その他特別損失	120,631,396	1,058,282,674	△937,651,278	11.4%
費用合計	56,045,080,638	52,983,036,658	3,062,043,980	105.8%
当年度純利益(純損失)	△5,527,509,793	△6,552,291,754	1,024,781,961	84.4%
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	△11,124,207,334	△5,072,467,580	△6,051,739,754	219.3%
その他未処分利益剰余金変動額	7,500,753	500,552,000	△493,051,247	1.5%
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	△16,644,216,374	△11,124,207,334	△5,520,009,040	149.6%

2 循環器・呼吸器病センター

(単位：円)

区 分	平成29年度 A	平成28年度 B	対前年度増減 A - B	対前年度比 A / B
病院事業収益				
1 医業収益	8,472,744,266	8,536,007,026	△63,262,760	99.3%
(1) 入院収益	6,537,481,987	6,598,790,217	△61,308,230	99.1%
(2) 外来収益	1,754,673,134	1,813,233,516	△58,560,382	96.8%
(3) その他医業収益	180,589,145	123,983,293	56,605,852	145.7%
2 医業外収益	2,963,505,370	2,283,414,484	680,090,886	129.8%
(1) 受取利息配当金	23,863	95,873	△72,010	24.9%
(2) 補助金	2,979,000	1,463,000	1,516,000	203.6%
(3) 負担金交付金	2,661,256,660	2,123,849,590	537,407,070	125.3%
(4) 長期前受金戻入	253,863,810	122,320,240	131,543,570	207.5%
(5) その他医業外収益	45,382,037	35,685,781	9,696,256	127.2%
3 特別利益	68,215,028	49,700,180	18,514,848	137.3%
(1) その他特別利益	68,215,028	49,700,180	18,514,848	137.3%
収益合計	11,504,464,664	10,869,121,690	635,342,974	105.8%
病院事業費用				
1 医業費用	11,994,033,861	11,203,756,989	790,276,872	107.1%
(1) 給与費	5,800,508,337	5,415,486,841	385,021,496	107.1%
(2) 材料費	3,133,849,071	3,319,224,547	△185,375,476	94.4%
(3) 経費	1,902,609,527	1,702,736,407	199,873,120	111.7%
(4) 減価償却費	1,094,403,577	704,598,455	389,805,122	155.3%
(5) 資産減耗費	9,487,940	11,002,833	△1,514,893	86.2%
(6) 研究研修費	53,175,409	50,707,906	2,467,503	104.9%
2 医業外費用	626,377,314	555,392,894	70,984,420	112.8%
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	140,492,065	127,396,755	13,095,310	110.3%
(2) 長期前払消費税勘定償却	95,116,824	44,725,471	50,391,353	212.7%
(3) 雑損失	390,768,425	383,270,668	7,497,757	102.0%
3 特別損失	80,147,955	142,720,489	△62,572,534	56.2%
(1) その他特別損失	80,147,955	142,720,489	△62,572,534	56.2%
費用合計	12,700,559,130	11,901,870,372	798,688,758	106.7%
当年度純利益(純損失)	△1,196,094,466	△1,032,748,682	△163,345,784	115.8%
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	△187,023,659	845,725,023	△1,032,748,682	△22.1%
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	△1,383,118,125	△187,023,659	△1,196,094,466	739.5%

### 3 がんセンター

(単位：円)

区 分	平成29年度 A	平成28年度 B	対前年度増減 A-B	対前年度比 A/B
病院事業収益				
1 医業収益	16,583,005,920	16,032,439,988	550,565,932	103.4%
(1) 入院収益	8,634,145,595	8,215,713,208	418,432,387	105.1%
(2) 外来収益	7,247,700,984	7,080,409,899	167,291,085	102.4%
(3) その他医業収益	701,159,341	736,316,881	△35,157,540	95.2%
2 医業外収益	3,523,600,337	3,355,689,941	167,910,396	105.0%
(1) 受取利息配当金	30,516	177,508	△146,992	17.2%
(2) 補助金	31,527,000	23,261,000	8,266,000	135.5%
(3) 負担金交付金	2,762,910,340	2,805,342,410	△42,432,070	98.5%
(4) 長期前受金戻入	445,557,570	394,265,660	51,291,910	113.0%
(5) その他医業外収益	283,574,911	132,643,363	150,931,548	213.8%
3 特別利益	48,776,620	53,421,894	△4,645,274	91.3%
(1) その他特別利益	48,776,620	53,421,894	△4,645,274	91.3%
収益合計	20,155,382,877	19,441,551,823	713,831,054	103.7%
病院事業費用				
1 医業費用	20,016,778,200	19,976,909,831	39,868,369	100.2%
(1) 給与費	7,998,545,342	8,015,113,954	△16,568,612	99.8%
(2) 材料費	6,400,741,055	6,263,992,210	136,748,845	102.2%
(3) 経費	3,233,525,614	3,184,214,743	49,310,871	101.5%
(4) 減価償却費	2,128,753,711	2,311,023,518	△182,269,807	92.1%
(5) 資産減耗費	659,352	6,544,744	△5,885,392	10.1%
(6) 研究研修費	254,553,126	196,020,662	58,532,464	129.9%
2 医業外費用	1,119,108,588	1,098,291,410	20,817,178	101.9%
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	250,124,076	256,277,842	△6,153,766	97.6%
(2) 長期前払消費税勘定償却	153,665,873	154,719,597	△1,053,724	99.3%
(3) 雑損失	715,318,639	687,293,971	28,024,668	104.1%
3 特別損失	0	0	0	
費用合計	21,135,886,788	21,075,201,241	60,685,547	100.3%
当年度純利益(純損失)	△980,503,911	△1,633,649,418	653,145,507	60.0%
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	△5,580,267,428	△4,447,170,010	△1,133,097,418	125.5%
その他未処分利益剰余金変動額	7,500,753	500,552,000	△493,051,247	1.5%
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	△6,553,270,586	△5,580,267,428	△973,003,158	117.4%

4 小児医療センター

(単位：円)

区 分	平成29年度 A	平成28年度 B	対前年度増減 A-B	対前年度比 A/B
病院事業収益				
1 医業収益	11,841,729,476	10,087,036,775	1,754,692,701	117.4%
(1) 入院収益	8,792,524,021	7,414,751,783	1,377,772,238	118.6%
(2) 外来収益	2,793,421,221	2,405,522,426	387,898,795	116.1%
(3) その他医業収益	255,784,234	266,762,566	△10,978,332	95.9%
2 医業外収益	3,711,766,452	2,800,094,769	911,671,683	132.6%
(1) 受取利息配当金	17,053	112,013	△94,960	15.2%
(2) 補助金	100,071,880	70,778,000	29,293,880	141.4%
(3) 負担金交付金	2,836,616,000	2,577,710,000	258,906,000	110.0%
(4) 長期前受金戻入	624,131,007	90,833,128	533,297,879	687.1%
(5) その他医業外収益	150,930,512	60,661,628	90,268,884	248.8%
3 特別利益	82,519,374	49,739,401	32,779,973	165.9%
(1) 過年度損益修正益	28,773,980	0	28,773,980	皆増
(2) その他特別利益	53,745,394	49,739,401	4,005,993	108.1%
収益合計	15,636,015,302	12,936,870,945	2,699,144,357	120.9%
病院事業費用				
1 医業費用	17,717,664,131	14,878,647,283	2,839,016,848	119.1%
(1) 給与費	8,212,492,331	7,682,682,854	529,809,477	106.9%
(2) 材料費	3,865,576,709	3,760,210,727	105,365,982	102.8%
(3) 経費	2,942,455,709	2,606,508,798	335,946,911	112.9%
(4) 減価償却費	2,587,339,622	652,749,102	1,934,590,520	396.4%
(5) 資産減耗費	32,400,381	116,241,977	△83,841,596	27.9%
(6) 研究研修費	77,399,379	60,253,825	17,145,554	128.5%
2 医業外費用	1,054,986,549	754,105,428	300,881,121	139.9%
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	214,697,856	72,623,380	142,074,476	295.6%
(2) 長期前払消費税勘定償却	323,207,704	168,511,175	154,696,529	191.8%
(3) 雑損失	517,080,989	512,970,873	4,110,116	100.8%
3 特別損失	69,250,681	915,562,185	△846,311,504	7.6%
(1) 過年度損益修正損	28,767,240	0	28,767,240	皆増
(2) その他特別損失	40,483,441	915,562,185	△875,078,744	4.4%
費用合計	18,841,901,361	16,548,314,896	2,293,586,465	113.9%
当年度純利益(純損失)	△3,205,886,059	△3,611,443,951	405,557,892	88.8%
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	△5,309,948,771	△1,698,504,820	△3,611,443,951	312.6%
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	△8,515,834,830	△5,309,948,771	△3,205,886,059	160.4%



## 5 精神医療センター

(単位：円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度増減	対前年度比
	A	B	A - B	A / B
病院事業収益				
1 医業収益	2,135,062,464	2,085,176,029	49,886,435	102.4%
(1) 入院収益	1,861,433,077	1,821,275,176	40,157,901	102.2%
(2) 外来収益	219,678,652	209,459,059	10,219,593	104.9%
(3) その他医業収益	53,950,735	54,441,794	△491,059	99.1%
2 医業外収益	1,083,530,648	1,098,024,417	△14,493,769	98.7%
(1) 受取利息配当金	3,344	22,749	△19,405	14.7%
(2) 補助金	2,968,997	2,138,415	830,582	138.8%
(3) 負担金交付金	941,704,000	965,391,000	△23,687,000	97.5%
(4) 長期前受金戻入	115,124,637	110,604,086	4,520,551	104.1%
(5) その他医業外収益	23,729,670	19,868,167	3,861,503	119.4%
3 特別利益	3,114,890	0	3,114,890	皆増
(1) その他特別利益	3,114,890	0	3,114,890	皆増
収益合計	3,221,708,002	3,183,200,446	38,507,556	101.2%
病院事業費用				
1 医業費用	3,295,923,962	3,388,881,973	△92,958,011	97.3%
(1) 給与費	2,271,729,854	2,396,515,128	△124,785,274	94.8%
(2) 材料費	142,247,614	136,056,026	6,191,588	104.6%
(3) 経費	564,115,563	532,456,716	31,658,847	105.9%
(4) 減価償却費	302,326,489	311,116,042	△8,789,553	97.2%
(5) 資産減耗費	2,821,078	2,139,086	681,992	131.9%
(6) 研究研修費	12,683,364	10,598,975	2,084,389	119.7%
2 医業外費用	70,809,397	68,768,176	2,041,221	103.0%
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	6,956,145	9,746,911	△2,790,766	71.4%
(2) 長期前払消費税勘定償却	14,302,135	14,069,883	232,252	101.7%
(3) 雑損失	49,551,117	44,951,382	4,599,735	110.2%
3 特別損失	0	0	0	
費用合計	3,366,733,359	3,457,650,149	△90,916,790	97.4%
当年度純利益(純損失)	△145,025,357	△274,449,703	129,424,346	52.8%
前年度繰越利益剰余金(欠損金)	△46,967,476	227,482,227	△274,449,703	△20.6%
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	△191,992,833	△46,967,476	△145,025,357	408.8%

## 第 1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成29年度埼玉県流域下水道事業会計決算

### 2 審査の期間

平成30年8月6日から平成30年9月13日まで

### 3 審査の方法

決算審査に当たっては、知事から審査に付された決算書が、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するとともに、経営の基本原則である経済性の発揮及び公共の福祉の増進が図られているかどうかの主眼をおき、会計帳票、証拠書類と照合し、既に実施した定期監査及び現金出納検査の結果をも参考にして慎重に審査を行った。

## 第 2 審査の結果

### 1 審査意見

平成29年度埼玉県流域下水道事業会計決算については、決算書及び同附属書類並びに関係諸帳簿及び証拠書類等を照合審査した結果、符合していることを確認した。

また、事業の運営及び予算の執行に当たっては、関係法令及び予算議決の趣旨に沿って、おおむね適正に行われているものと認めた。

なお、次のとおり一部に留意又は改善を要する事項が認められた。

## 2 留意又は改善を要する事項

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、震度6弱を記録した高槻市内の水道管の破裂により大規模な断水が発生するなどの被害を受けた。

「埼玉県地震被害想定調査」では、東京湾北部地震の発生確率が今後30年以内に70%とされ、最大震度6強の地域に県南東部の3か所の処理場(水循環センター)が所在している。本県の流域下水道施設は、全国一の規模を誇る。

平成29年度末現在の耐震化率は、管理事務所等の建築物は100%であるものの、下水道管渠は57.7%(緊急輸送道路下50.5%)、以下、ポンプ場36%、処理場22%、マンホール浮上対策3.5%(緊急輸送道路下15.2%)にとどまっている。

県では下水道施設における地震対策を進めるため、「第1次流域下水道総合地震対策計画(計画年度:平成21年度~25年度)」及び「第2次計画(同26年度~30年度)」を策定し耐震化工事を実施してきた。

第2次計画では、汚水を処理場まで送る送水機能及び処理場において処理し放流する処理機能の確保を最優先事項として定めた。具体的には、管渠の破損により道路陥没が発生し送水機能が確保できなくなる事態を防ぐため、緊急輸送道路下の管渠を重点的に耐震化する。併せて、処理機能の確保として、各水循環センターの水処理施設において最低限の処理をして、公共水域に放流できるよう、1系列だけは確実に耐震化を行うことを重点的対策として進めている。

しかしながら、第2次計画に定めた事業費ベースの進捗率は、5か年計画の4年目にあたる平成29年度末現在で、18.5%にとどまっている。上記重点的対策である緊急輸送道路下の管渠及び各水循環センターの水処理施設における1系列の耐震化の整備完了目標は、8流域中6流域で平成35年度とされ、これらの対策は次期計画にも委ねる状況となっている。

流域下水道施設は県民生活に不可欠なライフラインであり、衛生環境の確保に重要な役割を果たしている。全国一の規模を誇る本県の流域下水道施設が東京湾北部地震等により稼働停止した場合、その影響は極めて甚大なものとなることが想定される。

下水道局では、平成28年度の建設改良費予算に対する翌年度への繰越額が高くなったことを踏まえ、同29年度から「繰越削減目標」を定め、計画的な予算執行に向けた対策を講じ始めたところである。

こういった取組を踏まえ、重点的対策である緊急輸送道路下の管渠及び各水循環センターの水処理施設の1系列の耐震化を早期に完了させる必要がある。

さらに、大規模地震発生時においても稼働停止となる事態を防ぐため、平成31年度を始期とする次期5か年計画の策定にあたっては、優先順位の高いものから早期に工事着手できるよう実効性のある計画にする必要がある。

**[説明]**

**1 全国の流域下水処理場における処理能力上位5場**

(単位：m<sup>3</sup>/日)

順位	都道府県	流域名	処理場名	現有処理能力
1	埼玉県	荒川左岸南部流域	荒川水循環センター	1,070,400
2	埼玉県	荒川右岸流域	新河岸川水循環センター	697,900
3	埼玉県	中川流域	中川水循環センター	613,200
4	神奈川県	相模川流域	柳島管理センター	539,100
5	千葉県	江戸川左岸流域	江戸川第二終末処理場	464,000

**2 本県の流域下水道施設における平成29年度末の耐震化率**

- (1) 建築物（管理事務所ほか）：100%
- (2) 管渠：57.7%（緊急輸送道路下50.5%）
- (3) ポンプ場：36%、処理場：22%
- (4) マンホール浮上対策：3.5%（緊急輸送道路下15.2%）

**3 下水道局の総合地震対策計画**

計画名	期間	項目	地震対策の内容
第1次流域下水道総合地震対策計画	平成21年度～25年度	管渠	マンホール（緊急輸送道路下の液状化地盤上にある56基）の浮上対策
		処理場	耐震化済の水処理施設を全流域で1系列以上確保
第2次流域下水道総合地震対策計画	平成26年度～30年度	管渠	被災時の緊急車両等の交通機能を確保するため緊急輸送道路下の管渠の耐震化を優先的に進める。中でも大口径の管渠は、過去の大規模地震でも被災が極めて少ないことなどを踏まえ、比較的小規模(φ1650以下)の管渠の耐震化を優先的に進める。
		マンホールの浮上対策	緊急輸送道路を優先的に進め、中でも液状化地盤にある56基については、先行的に対策を完了した。今後は、液状化地盤以外の緊急輸送道路対策を優先的に進める。
		ポンプ場	基本的には施設本体の耐震化を進めるが、施設の規模が大きく耐震化が困難な場合は「バイパス管」の整備で対応することで最低限「送る」機能を確保する。
		水処理施設	かなり大規模であるため、被災時においても流入から放流までの最低限1系列以上の耐震化を重点的に進める。 なお、重点的対策については平成35年度完了を目途に対策を進める。

#### 4 流域下水道施設耐震化の整備目標年度

##### (1) 緊急輸送道路下の管渠

緊急輸送道路下の小口径管渠（管径1650mm以下）の耐震化は平成35年度完了目標。

##### (2) 水循環センターにおける水処理施設の最低限1系列を耐震化

地域別	流域名	水循環センター名	整備完了目標年度
県南	荒川左岸南部	荒川水循環センター	平成35年度
	荒川右岸	新河岸川水循環センター	平成35年度
		新河岸川上流水循環センター	平成35年度
	中川	中川水循環センター	平成35年度
県北	荒川左岸北部	元荒川水循環センター	平成35年度
	古利根川	古利根川水循環センター	平成35年度
	荒川上流	荒川上流水循環センター	耐震化完了済
	市野川	市野川水循環センター	耐震化完了済
	利根川右岸	小山川水循環センター	平成35年度

### 第 3 決算の状況等

#### 埼玉県流域下水道事業会計

##### 1 業務の概況

流域下水道事業は、昭和41年度に事業に着手して以来、荒川左岸南部、荒川左岸北部、荒川右岸、中川、古利根川、荒川上流、市野川及び利根川右岸の8つの流域下水道の整備及び維持管理を実施し、関連する47市町の公共下水道で集められた下水を処理してきた。

平成22年度からは地方公営企業法の全部適用を実施し、事業の経営状況や財政状態を分かりやすい形で県民に提供するとともに、民間の経営感覚に基づいた効率的な業務運営を行ってきている。

平成29年度の年間総処理水量は、663,746千 $m^3$ で、前年度に比べ21,310千 $m^3$ 、3.3%増加した。

(表1) 流域の概要

(平成30年3月31日現在)

流域名	供用開始	処理能力 (日最大) $m^3$ /日	関連市町	ポンプ 場数	管渠 延長 km
荒川左岸南部	昭和47年	1,070,400	さいたま市 ほか4市	7	95
荒川左岸北部	昭和56年	223,750	熊谷市 ほか4市	2	54
荒川右岸	昭和56年	732,100	川越市 ほか12市町	4	99
中川	昭和58年	613,200	春日部市 ほか14市町	1	121
古利根川	昭和58年	74,400	久喜市 ほか1市	6	26
荒川上流	平成4年	10,152	深谷市 ほか1町	1	9
市野川	平成6年	17,600	滑川町 ほか2町	1	12
利根川右岸	平成21年	30,000	本庄市 ほか3町	—	22

(表2) 施設及び業務の概況

区 分	29年度	28年度	$\frac{29年度}{28年度} \times 100$
建設開始年月日	昭和41年12月29日		—
供用開始年月日	昭和47年10月 1日		—
法適用年月日	平成22年 4月 1日		—
処理能力[日最大](m <sup>3</sup> /日)	2,771,602	2,771,602	100.0%
管渠延長(km)	438	438	100.0%
流域数	8	8	100.0%
ポンプ場数	22	22	100.0%
処理場数	9	9	100.0%
年間総処理水量(km <sup>3</sup> )	663,746	642,436	103.3%

## 2 決算報告書

予算額に対する決算額は、次のとおりである。

### (1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減
第1款 事業収益	51,269,030,000	50,585,737,310	△683,292,690
第1項 営業収益	30,522,122,000	30,288,628,858	△233,493,142
第2項 営業外収益	20,746,907,000	20,297,108,452	△449,798,548
第3項 特別利益	1,000	0	△1,000

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
第1款 事業費	51,178,721,200	48,946,031,226	0	2,232,689,974
第1項 営業費用	49,584,412,200	47,472,121,511	0	2,112,290,689
第2項 営業外費用	1,533,308,000	1,473,909,715	0	59,398,285
第3項 特別損失	1,000	0	0	1,000
第4項 予 備 費	61,000,000	0	0	61,000,000

事業収益の決算額は50,585,737,310円で、予算額を683,292,690円下回っている。  
これは、主に長期前受金戻入が見込みを下回ったことによるものである。

事業費の決算額は48,946,031,226円で、2,232,689,974円の不用額を生じた。

この不用額は、主に委託料の執行残である。

## (2) 資本的収入及び支出

## 収入

(単位：円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 資本的収入	33,529,761,447	22,803,481,302	△10,726,280,145
第1項 建設補助金	18,772,454,000	10,822,133,000	△7,950,321,000
第2項 建設負担金	4,295,471,447	4,210,470,514	△85,000,933
第3項 企業債	9,743,000,000	6,876,000,000	△2,867,000,000
第4項 他会計出資金	630,870,000	807,244,679	176,374,679
第5項 他会計補助金	87,894,000	87,529,253	△364,747
第6項 固定資産売却代金	1,000	56,001	55,001
第7項 雑収入	71,000	47,855	△23,145

## 支出

(単位：円)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 資本的支出	42,546,702,230	28,890,594,621	13,291,007,947	365,099,662
第1項 建設改良費	35,093,175,230	21,437,068,002	13,291,007,947	365,099,281
第2項 企業債償還金	7,453,527,000	7,453,526,619	0	381

資本的収入の決算額は22,803,481,302円で、建設補助金、企業債等が主な収入である。

資本的支出の決算額は28,890,594,621円、翌年度繰越額は13,291,007,947円で、これは、主に荒川左岸北部流域の処理場濃縮機・脱水機設備工事や荒川右岸流域の新河岸川中継電気設備改築工事などである。また、不用額は主に補助対象事業費の変更に伴うものである。

なお、資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額2,340,415,921円を除く）が資本的支出額に不足する額8,427,529,240円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額434,834,833円、繰越工事資金3,372,318,757円、減債積立金298,035,689円、建設改良積立金21,037,100円、過年度分損益勘定留保資金683,551,141円及び当年度分損益勘定留保資金3,617,751,720円で補填されている。



### 3 損益計算書

当年度の経営成績は次のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
営業収益	28,413,622,934	27,181,791,310	1,231,831,624	104.5
維持管理負担金	23,167,797,004	21,906,912,306	1,260,884,698	105.8
他会計補助金	4,968,515,539	5,093,074,525	△124,558,986	97.6
その他営業収益	277,310,391	181,804,479	95,505,912	152.5
営業費用	45,743,702,431	44,880,671,345	863,031,086	101.9
管渠費	600,610,637	744,688,785	△144,078,148	80.7
ポンプ場費	2,113,615,350	2,117,781,562	△4,166,212	99.8
処理場費	18,410,973,473	16,484,257,291	1,926,716,182	111.7
雨水幹線管理費	57,742,547	50,066,883	7,675,664	115.3
再生水事業管理費	131,930,020	107,484,887	24,445,133	122.7
総係費	996,445,916	954,206,954	42,238,962	104.4
減価償却費	23,065,113,490	23,834,846,017	△769,732,527	96.8
資産減耗費	367,270,998	587,338,966	△220,067,968	62.5
営業利益(損失)	△17,330,079,497	△17,698,880,035	368,800,538	97.9
営業外収益	20,031,552,692	21,087,882,126	△1,056,329,434	95.0
受取利息及び配当金	2,056,156	484,025	1,572,131	424.8
他会計補助金	1,264,797,334	1,445,105,652	△180,308,318	87.5
受託工事収益	0	74,762,000	△74,762,000	—
長期前受金戻入	18,756,868,636	19,567,164,611	△810,295,975	95.9
雑収益	7,830,566	365,838	7,464,728	2,140.4
営業外費用	1,496,601,944	1,774,992,938	△278,390,994	84.3
支払利息及び企業債取扱諸費	1,473,423,322	1,656,372,811	△182,949,489	89.0
受託工事費	0	74,762,000	△74,762,000	—
雑支出	23,178,622	43,858,127	△20,679,505	52.8
経常利益	1,204,871,251	1,614,009,153	△409,137,902	74.7
特別利益	0	339,909,475	△339,909,475	—
その他特別利益	0	339,909,475	△339,909,475	—
当年度純利益(純損失)	1,204,871,251	1,953,918,628	△749,047,377	61.7
前年度繰越利益剰余金	7,611,018,465	5,976,172,626	1,634,845,839	127.4
その他未処分利益剰余金変動額	319,072,789	293,343,316	25,729,473	108.8
当年度未処分利益剰余金	9,134,962,505	8,223,434,570	911,527,935	111.1

#### (1) 営業収益

営業収益の大部分を占める維持管理負担金が前年度に比べ1,260,884,698円増加した一方、他会計補助金が前年度に比べ124,558,986円減少したため、営業収益全体では前年度と比較して1,231,831,624円（4.5%）増加した。

#### (2) 営業費用

主に減価償却費が前年度に比べ769,732,527円減少した一方、処理場費が1,926,716,182円増加するなどしたため、営業費用全体では、前年度と比較して863,031,086円（1.9%）増加した。

#### (3) 営業外収益

営業外収益の大部分を占める長期前受金戻入が810,295,975円減少するなどしたため、営業外収益全体では前年度と比較して1,056,329,434円（5.0%）減少した。

#### (4) 営業外費用

主に支払利息及び企業債取扱諸費が、前年度に比べ182,949,489円減少したため、営業外費用全体では前年度と比較して278,390,994円（15.7%）減少した。

#### (5) 当年度純利益

当年度純利益1,204,871,251円を計上し、その結果、当年度未処分利益剰余金が、9,134,962,505円となった。

### 4 剰余金計算書

#### (1) 資本金

資本金は未処分利益剰余金から293,343,316円を組み入れ、また、他会計出資金の受入で807,244,679円増加した結果、前年度と比べ1,100,587,995円増加した。

#### (2) 資本剰余金

資本剰余金に変動はなかった。

#### (3) 利益剰余金

未処分利益剰余金から資本金へ293,343,316円組み入れている。また、減債積立金298,035,689円、建設改良積立金21,037,100円を取崩し、同額を未処分利益剰余金として、増加させている。さらに、未処分利益剰余金として当期純利益である1,204,871,251円を増加させている。これらにより利益剰余金は911,527,935円増加した。

## 5 剰余金処分計算書（案）

（単位：円）

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	7,435,299,254	67,700,463,749	9,134,962,505
議会の議決による処分類	319,072,789	0	△696,706,534
資本金の増加	319,072,789		△319,072,789
減債積立金の積立			△332,539,145
建設改良積立金の積立			△45,094,600
処分後残高	7,754,372,043	67,700,463,749	(繰越利益剰余金) 8,438,255,971

### （1）資本金の増加

当年度未処分利益剰余金から319,072,789円を資本金に振り替える案としている。

### （2）減債積立金、建設改良積立金の積立

当年度未処分利益剰余金から減債積立金に332,539,145円、建設改良積立金に45,094,600円を積み立てる案としている。

## 6 貸借対照表

当年度末における資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定資産	515,051,370,625	518,594,098,368	△3,542,727,743	99.3
有形固定資産	514,960,293,590	518,501,361,221	△3,541,067,631	99.3
土地	65,730,738,028	65,730,738,028	0	100.0
建物	31,253,761,353	33,037,825,808	△1,784,064,455	94.6
構築物	299,091,909,446	308,135,565,141	△9,043,655,695	97.1
機械及び装置	83,812,513,197	87,832,972,571	△4,020,459,374	95.4
車両運搬具	24,189,943	21,089,283	3,100,660	114.7
工具、器具及び備品	84,793,740	70,915,218	13,878,522	119.6
建設仮勘定	34,962,387,883	23,672,255,172	11,290,132,711	147.7
無形固定資産	6,707,035	8,367,147	△1,660,112	80.2
地上権	4,980,335	6,640,447	△1,660,112	75.0
電話加入権	1,726,700	1,726,700	0	100.0
投資その他の資産	84,370,000	84,370,000	0	100.0
出資金	84,370,000	84,370,000	0	100.0
流動資産	24,387,717,209	23,068,551,443	1,319,165,766	105.7
現金預金	17,977,681,142	17,069,176,309	908,504,833	105.3
未収金	6,410,036,067	5,999,375,134	410,660,933	106.8
資産合計	539,439,087,834	541,662,649,811	△2,223,561,977	99.6

(単位:円・%)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比	
	A	B	A-B	A/B
固定負債	79,221,170,974	79,540,694,472	△319,523,498	99.6
企業債	78,554,396,899	78,959,047,202	△404,650,303	99.5
引当金	666,774,075	581,647,270	85,126,805	114.6
退職給付引当金	666,774,075	581,647,270	85,126,805	114.6
流動負債	18,811,566,081	17,976,817,450	834,748,631	104.6
企業債	7,280,650,303	7,453,526,619	△172,876,316	97.7
未払金	6,945,138,850	5,941,660,183	1,003,478,667	116.9
維持管理負担金繰越金	642,050,196	642,050,196	0	100.0
引当金	3,838,513,591	3,831,527,948	6,985,643	100.2
賞与引当金	84,088,491	77,102,848	6,985,643	109.1
修繕引当金	3,754,425,100	3,754,425,100	0	100.0
その他流動負債	105,213,141	108,052,504	△2,839,363	97.4
繰延収益	357,135,625,271	361,886,528,311	△4,750,903,040	98.7
国庫補助金長期前受金	256,234,185,663	259,955,210,527	△3,721,024,864	98.6
工事負担金長期前受金	95,848,620,525	96,591,390,663	△742,770,138	99.2
受贈財産評価額長期前受金	3,989,732,094	4,297,989,943	△308,257,849	92.8
他会計補助金長期前受金	1,063,086,989	1,041,937,178	21,149,811	102.0
負債合計	455,168,362,326	459,404,040,233	△4,235,677,907	99.1
資本金	7,435,299,254	6,334,711,259	1,100,587,995	117.4
剰余金	76,835,426,254	75,923,898,319	911,527,935	101.2
資本剰余金	67,700,463,749	67,700,463,749	0	100.0
国庫補助金	36,923,757,602	36,923,757,602	0	100.0
工事負担金	12,650,033,146	12,650,033,146	0	100.0
受贈財産評価額	2,889,661,354	2,889,661,354	0	100.0
その他資本剰余金	15,237,011,647	15,237,011,647	0	100.0
利益剰余金	9,134,962,505	8,223,434,570	911,527,935	111.1
当年度未処分利益剰余金	9,134,962,505	8,223,434,570	911,527,935	111.1
資本合計	84,270,725,508	82,258,609,578	2,012,115,930	102.4
負債資本合計	539,439,087,834	541,662,649,811	△2,223,561,977	99.6

- (1) 資産総額は539,439,087,834円であり、前年度と比較して2,223,561,977円(0.4%)減少している。これは主に現金預金が908,504,833円増加したものの、有形固定資産について主に減価償却費等により全体として3,541,067,631円減少したことによるものである。
- (2) 負債総額は455,168,362,326円であり、前年度と比較して4,235,677,907円(0.9%)減少している。これは主に国庫補助金長期前受金等の繰延収益が4,750,903,040円減少したためである。
- (3) 資本総額は84,270,725,508円であり、前年度と比較して2,012,115,930円(2.4%)増加している。

## 7 その他

### (1) キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益(△は純損失)	1,204,871,251
減価償却費	23,065,113,490
資産減耗費	367,270,998
退職給付引当金の増減額(△は減少)	85,126,805
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,115,951
長期前受金戻入額	△18,756,868,636
受取利息及び受取配当金	△2,056,156
支払利息及び企業債取扱諸費	1,473,423,322
雑支出	175,089
未収金の増減額(△は増加)	△458,893,419
未払金の増減額(△は減少)	215,848,203
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,839,363
小計	7,196,287,535
利息及び配当金の受取額	2,056,156
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△1,473,423,322
業務活動によるキャッシュ・フロー	5,724,920,369
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19,052,151,046
有形固定資産の売却による収入	51,854
国庫補助金等による収入	13,919,077,423
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	86,888,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,046,133,596
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	6,876,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△7,453,526,619
他会計からの出資による収入	807,244,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,718,060
資金増加額(又は減少額)	908,504,833
資金期首残高	17,069,176,309
資金期末残高	17,977,681,142

業務活動によるキャッシュ・フローは5,724,920,369円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは5,046,133,596円減少した一方、財務活動によるキャッシュ・フローは229,718,060円増加した結果、資金期末残高は期首に比べて908,504,833円の増加となった。

(2) 注記

地方公営企業法施行規則第35条の規定に基づき次の事項について注記されている。

1 重要な会計方針	(1) 固定資産の減価償却の方法 (2) 引当金の計上方法 (3) 消費税等の会計処理方法
2 キャッシュ・フロー 計算書関連	(該当事項なし)
3 貸借対照表関連	(1) 企業債の償還に係る他会計の負担
4 セグメント情報の 開示	(セグメント情報なし)
5 リース契約により 使用する固定資産	(1) リース会計に係る特例措置 (2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過 リース料相当額
6 その他	(1) 引当金の取崩し

## 告 示

### 埼玉県告示第三号

日高市から川越都市計画生産緑地地区の変更に係る図書の写しの送付を受けたので、都市計画法（昭和四十三年法律第百号）第二十一条第二項において準用する同法第二十条第二項の規定により、当該図書の写しを埼玉県環境部みどり自然課において縦覧に供する。

平成三十一年一月四日

埼玉県知事 上 田 清 司



# 告 示

## 埼玉県告示第四号

測量計画機関である東松山市から次のとおり公共測量を実施する旨の通知を受けたので、測量法（昭和二十四年法律第百八十八号）第三十九条において準用する同法第十四条第三項の規定により公示する。

平成三十一年一月四日

埼玉県知事 上 田 清 司

### 一 測量計画機関

東松山市

### 二 作業種類

公共測量（基準点測量）

### 三 作業地域

東松山市大字新郷及び大字高坂

### 四 作業期間

平成三十年十一月二十八日から平成三十一年二月二十八日まで

# 告 示

## 埼玉県告示第五号

測量計画機関である蓮田市から次のとおり公共測量を実施する旨の通知を受けたので、測量法（昭和二十四年法律第百八十八号）第三十九条において準用する同法第十四条第三項の規定により公示する。

平成三十一年一月四日

埼玉県知事 上 田 清 司

### 一 測量計画機関

蓮田市

### 二 作業種類

公共測量（基準点測量、水準測量）

### 三 作業地域

埼玉県蓮田市大字高虫地内

### 四 作業期間

平成三十年十二月十七日から平成三十一年三月二十二日まで

# 告 示

## 埼玉県教委告示第一号

埼玉県教育委員会定例会を次のとおり招集する。

平成三十一年一月四日

埼玉県教育委員会教育長 小松 弥生

### 一 日時

平成三十一年一月九日 午前九時三十分

### 二 場所

さいたま市浦和区高砂三丁目十五番一号

埼玉県教育局教育委員会室

### 三 議題

当面する教育関係諸問題について

# 告示

## 埼玉県選管告示第一号

公職選挙法施行令（昭和二十五年政令第八十九号）第五十五条第二項及び第四項第二号（他の政令において準用し、又は例による場合を含む。）の規定による不在者投票を行うことができる次の施設につき、その指定を解除した。

平成三十一年一月四日

埼玉県選挙管理委員会委員長 細田 徳治

種別	施設の開設主体及び名称	所在地
病院	埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院	埼玉県羽生市大字上岩瀬五五一番地
病院	医療法人財団石心会 狭山病院	埼玉県狭山市鶴ノ木一番三三号

# 告 示

## 埼玉県選管告示第二号

公職選挙法施行令（昭和二十五年政令第八十九号）第五十五条第二項及び第四項第二号（他の政令において準用し、又は例による場合を含む。）の規定による不在者投票を行うことができる施設を次のとおり指定した。

平成三十一年一月四日

埼玉県選挙管理委員会委員長 細 田 徳 治

種 別	施設の開設主体及び名称	所 在 地
老人ホーム	社会福祉法人 きらめき会 特別養護老人ホーム 八潮いこいの里	埼玉県八潮市坊五百二十六番地 一
病院	医療法人社団 春明会 介護老人保健施設 ちとせ	埼玉県春日部市下大増新田八十一番一号
病院	埼玉医療協同組合 羽生総合病院	埼玉県羽生市大字下岩瀬四百四十六番地
病院	社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	埼玉県狭山市入間川二丁目三十 七番二十号